

米に関するマンスリーレポート (令和5年10月号)



うちの郷土料理 京都府 栗ごはん
次世代に伝えたい大切な味

出典: 農林水産省「うちの郷土料理」
詳細情報を裏面で紹介

「米に関するマンスリーレポート（マンレポ）」とは

⇒ 米に関する価格や需給の動向に関するデータを集約・整理し、毎月定期的に公表しています。需要に応じた生産・円滑な米取引に役立てていただくことを目的としています。

【利用上の注意】

1. 原則として毎月中旬公表。公表日の2営業日前までに入手可能なデータを反映しています。
2. 内容については、必要に応じて項目の追加・削除などの変更を行うことがあり得ます。

データはどう読み解けばいいの？

そんなときは、「ここが分からない！マンレポ」をチェック！

https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/manrepo_kaisetu.html

うちの郷土料理

次世代に伝えたい大切な味

京都府 栗ごはん

主な伝承地域

中丹地域、南丹地域

主な使用食材

栗、米

歴史・由来・関連行事

京都の名産の一つに、丹波地域でとれる「丹波くり」がある。「丹波くり」は品種ではなく、丹波地域でとれる栗のことを指す。非常に大ぶりで甘みがある「丹波くり」の歴史は古く、「延喜式」に「丹波くり」の名が登場し、平安時代ごろから貴族の間で食べられていた。江戸時代になっても、幕府や朝廷への献上品として重宝されていたという。

「丹波くり」は現在もブランド栗として全国にその名を知らしめている。丹波地域は山々が地域を囲うように連なり、盆地を形成していることから、昼夜間の寒暖差が大きい。また、山の間を大小の河川が流れ、肥沃な土壌にも恵まれるなど、農作物に甘みが増す条件がそろっていることから、栗も質の良いものが育つと考えられている。

丹波地域では、古くからゆで栗や焼き栗、甘露煮など、さまざまな調理法で栗を楽しんできた。「栗ごはん」も数ある栗の味わい方として親しまれている。少し塩をきかせたごはんに「丹波くり」を入れて、栗の甘さをより引き立たせて食べる「栗ごはん」は、秋に欠かせない一品である。

食習の機会や時季

秋になり、店頭に栗が並び始めると各家庭でつくられる。栗は鮮度が短く、落下後から劣化がはじまり風味が落ちてしまうため、すぐに調理することが重要。そのため、生の栗を使った「栗ごはん」は、秋限定のごちそうといえる。

飲食方法

炊飯器に米、塩、栗を入れて炊いて食べる。お米1合に対し、塩は小さじ1杯程度が目安。少し塩をきかせることで、栗の甘さがより引き立つ。もち米を入れて、栗おこわ風にするアレンジもある。

栗は、鬼皮、渋皮をむいたらすぐ水につけ、濁らなくなるまで水を変える。この下処理をしっかりおこなっておくと、「栗ごはん」の仕上がりが変わってくる。

材料（1人分）

・米	3カップ	・塩	小さじ1・1/2
・むき栗	15個	・水	3・1/3カップ
・昆布	5cm角	・黒ごま	少々
・酒	酒		

作り方

- 1 栗は鬼皮、渋皮をむいたら、すぐに水につけ、濁らなくなるまで水を変える。
- 2 米は炊く30分前に洗ってざるに上げ、水を切っておく。
- 3 米、水、出汁昆布、塩、酒を合わせ、むいた栗を加えて炊く。
- 4 できあがったら、器に盛り、黒ごまを振りかける。

※レシピは地域・家庭によって違いがあります。

目次 (令和5年10月号)

特集

- 1 令和5年産水稲の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量 **特集-1**
農林水産省(統計情報)HP https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/#y3
- 2 令和5年産の水田における作付状況 **特集-7**
農林水産省(農産)HP <https://www.maff.go.jp/j/svouan/keikaku/soukatu/sakudou.html>
- 3 令和5年産米の事前契約(播種前契約)の取組状況について **特集-9**
- 4 酒造好適米の全体需給の推計 **特集-11**
農林水産省(農産)HP https://www.maff.go.jp/j/seisaku_tokatu/kikaku/sake.html

1 米の民間在庫情報

各産地の米の民間在庫数量は、年間玄米仕入量500トン以上の出荷段階（全農、JA等の出荷業者）の在庫量と年間玄米仕入数量4,000トン以上の販売段階（米卸等の販売業者の在庫量）を対象に調査し、その合計（出荷段階＋販売段階）の数値も合わせて公表しています。

集荷数量が概ね確定する1月以降の在庫数量は、販売に伴って減少していくので、その変化を見ることにより、販売状況を読み取ることができます。

- 1 民間在庫の推移
農林水産省(農産)HP <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html>

(1)全国段階の民間在庫の推移(うるち米)(速報)	在庫-1	Excel
(2)産地別民間在庫の状況	在庫-4	Excel
(3)令和4・5年産の産地別民間在庫の推移(うるち米)(速報)	在庫-5	Excel

2 米の価格情報

相対(あいたい)取引価格

米については、全農等の出荷業者と卸売業者等との間で、年間を通じて「相対取引」が行われています。

このため、農林水産省では、年間の玄米仕入量5,000トン以上の全国出荷団体等を対象に、指標となる各産地の上位2～3銘柄（令和4年産米：118産地品種銘柄）について、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格・数量を毎月調査し、米の取引価格の代表となる指標の一つとして公表しています。

- 1 相対取引価格・数量
農林水産省(農産)HP <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html>

(1)年産別の相対取引価格	価格-1	
(2)相対取引契約数量の推移	価格-2	
(3)相対取引価格・数量(令和4年産米、産地品種銘柄別、令和5年8月分)(速報)	価格-3	Excel
(4)相対取引価格(月別・年産平均価格)(令和3・4年産米、産地品種銘柄別)(速報)	価格-5	Excel
- 2 米取引関係者の判断(米穀機構による調査、令和5年9月分)
米穀安定供給確保支援機構HP <https://www.komenet.jp/>

	価格-7	
--	------	--

3 米の契約・販売情報

産地別事前契約数量は、米の播種が始まる前に、契約書や確認書等によりあらかじめ取引されることが決定している数量で、年間玄米仕入量500トン以上の出荷段階（全農、JA等の出荷業者）からの報告を産地別に取りまとめたものです。例えば、仕入（集荷）計画数量に占める事前契約数量の比率が高い産地では、取引数量の多くを播種前に契約し、需要に応じた生産に向けた取組が進められていることがうかがえます。

- 事前契約の取組状況
- (1)近年の事前契約(播種前契約)数量の推移(令和3年産～令和5年産) **特集-9**
 - (2)令和4・5年産米の産地別事前契約(播種前契約)の取組状況(速報) **特集-10** Excel
- 1 令和4年産米の産地別契約・販売状況 **契約-1** Excel
(累計、うるち米、令和5年8月末現在)(速報)
 - 2 政府備蓄米の都道府県別買入数量、優先枠及び買入入札の結果(令和5年産) **契約-4**
農林水産省(農産)HP <http://www.maff.go.jp/j/seisan/syoryu/kaiire/index.html>

4 消費の動向

- | | |
|--|------|
| 1 米の消費動向(米穀機構による調査) | 消費-1 |
| 米穀安定供給確保支援機構HP https://www.komenet.jp/ | |
| 2 購入数量・支出金額の推移(家計調査) | 消費-4 |
| 総務省統計局HP https://www.stat.go.jp/data/index.html | |
| 3 消費者物価指数の推移 | 消費-6 |
| 4 小売物価統計の推移 | 消費-7 |
| 5 米穀販売事業者における販売数量及び販売価格の動向(速報) | 消費-8 |
| 6 小売価格の推移(POSデータ) | 消費-9 |

5 輸出入の動向

- | | |
|---|--------|
| 1 コメ・コメ加工品の輸出実績 | |
| (1) コメ・コメ加工品の輸出実績の推移 | 輸出入-1 |
| (2) 商業用の米の輸出数量及び金額の推移 | 輸出入-2 |
| (3) コメの輸出数量の2022年の主な増加要因 | 輸出入-3 |
| (4) 米菓の輸出数量及び金額の推移 | 輸出入-4 |
| (5) 日本酒(清酒)の輸出数量及び金額の推移 | 輸出入-5 |
| (6) 包装米飯(パックご飯)等の輸出数量及び金額の推移 | 輸出入-6 |
| (7) 米粉の輸出数量及び金額の推移 | 輸出入-7 |
| (8) 米粉麺等の輸出数量及び金額の推移 | 輸出入-8 |
| 2 コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について | 輸出入-9 |
| 3 MA米の輸入数量(輸入先国別及び輸入方式別) | 輸出入-10 |
| 農林水産省(農産)HP https://www.maff.go.jp/j/seisan/boueki/nyusatu/index.html | |
| 4 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合せ結果(令和5年度) | 輸出入-11 |
| 5 SBS輸入米の見積合せ結果(令和5年度) | 輸出入-12 |
| 6 CPTPP・国別枠の見積合せ結果(令和5年度) | 輸出入-13 |

6 主食用米以外の情報

- | | |
|----------------------------------|-------|
| 1 加工用米及び新規需要米等の生産状況 | |
| (1) 加工用米の生産量 | 主食外-1 |
| (2) 新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移 | 主食外-1 |
| (3) 令和4年産 都道府県別の生産状況 | 主食外-2 |
| (4) 加工用米及び新規需要米における多収性品種 | 主食外-3 |
| (5) 新規需要米における米粉用向け専用品種 | 主食外-3 |
| 2 米加工品の状況 | |
| (1) 主な米加工品の生産状況 | 主食外-4 |
| (2) 令和2米穀年度における加工原材料用米穀の使用状況(推計) | 主食外-5 |
| (3) 加工原材料用米穀の使用状況(推計)の推移 | 主食外-6 |
| 3 酒造好適米の需給状況 | |
| (1) 日本酒の出荷状況 | 主食外-7 |
| (2) 日本酒原料米の使用状況 | 主食外-7 |
| (3) 酒造好適米の生産量 | 主食外-8 |
| (4) 酒造好適米の需要量 | 主食外-8 |

「米に関するマンスリーレポート」では、米に関する価格や需給の動向に係るデータ・情報をより多くの方に、かつ、より有効に活用していただけるよう、情報の整理方法、提供方法等を見直しました。また、当省ホームページでの公表に際しては、本編・資料編に加え、カテゴリ別にも整理して掲載するとともに一部データ資料については、エクセルによる提供も開始しましたので、ぜひご活用ください。

作物統計調査

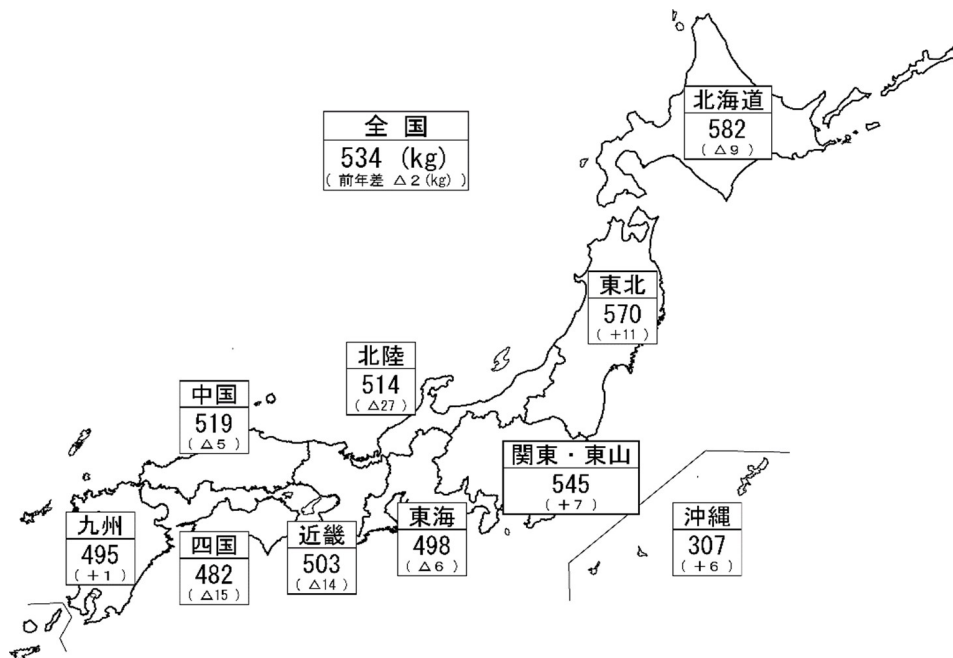
令和5年産水稲の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量

— 全国の10a当たり予想収量は534kgの見込み —

【調査結果の概要】

- 1 令和5年産水稲の作付面積（青刈り面積を含む。）は153万1,000ha（前年産に比べ1万4,000ha減少）と見込まれる。うち主食用作付面積は124万2,000ha（前年産に比べ9,000ha減少）と見込まれる。
- 2 9月25日現在における全国の10a当たり予想収量は534kgと見込まれる。また、農家等が使用しているふりい目幅ベースの全国の作況指数は100と見込まれる。
これは、田植期以降、全国的に5月下旬から6月上旬にかけて日照不足で推移したものの、その後おおむね高温、多照で推移し天候に恵まれた地域がある一方で、6月から7月にかけての梅雨前線等による大雨や断続的な日照不足、7月から8月にかけての記録的な高温や少雨の影響が見込まれる地域があるためである。
- 3 主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は662万4,000t（前年産に比べ7万7,000t減少）と見込まれる。

図1 全国農業地域別 10a当たり予想収量(9月25日現在)
(1.70mmのふりい目幅ベース)



- 主食用作付面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積（9月15日現在）を除いた面積である。
- 10a当たり予想収量及び予想収穫量は、1.70mmのふりい目幅で選別された玄米の重量である。
- 予想収穫量調査は、収穫を終えた地域では刈取り実測により行ったが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定する方法により行った。したがって、今後の気象条件等により作柄は変動することがある。

○ 本資料は、農林水産省ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。
【 https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/#y3 】

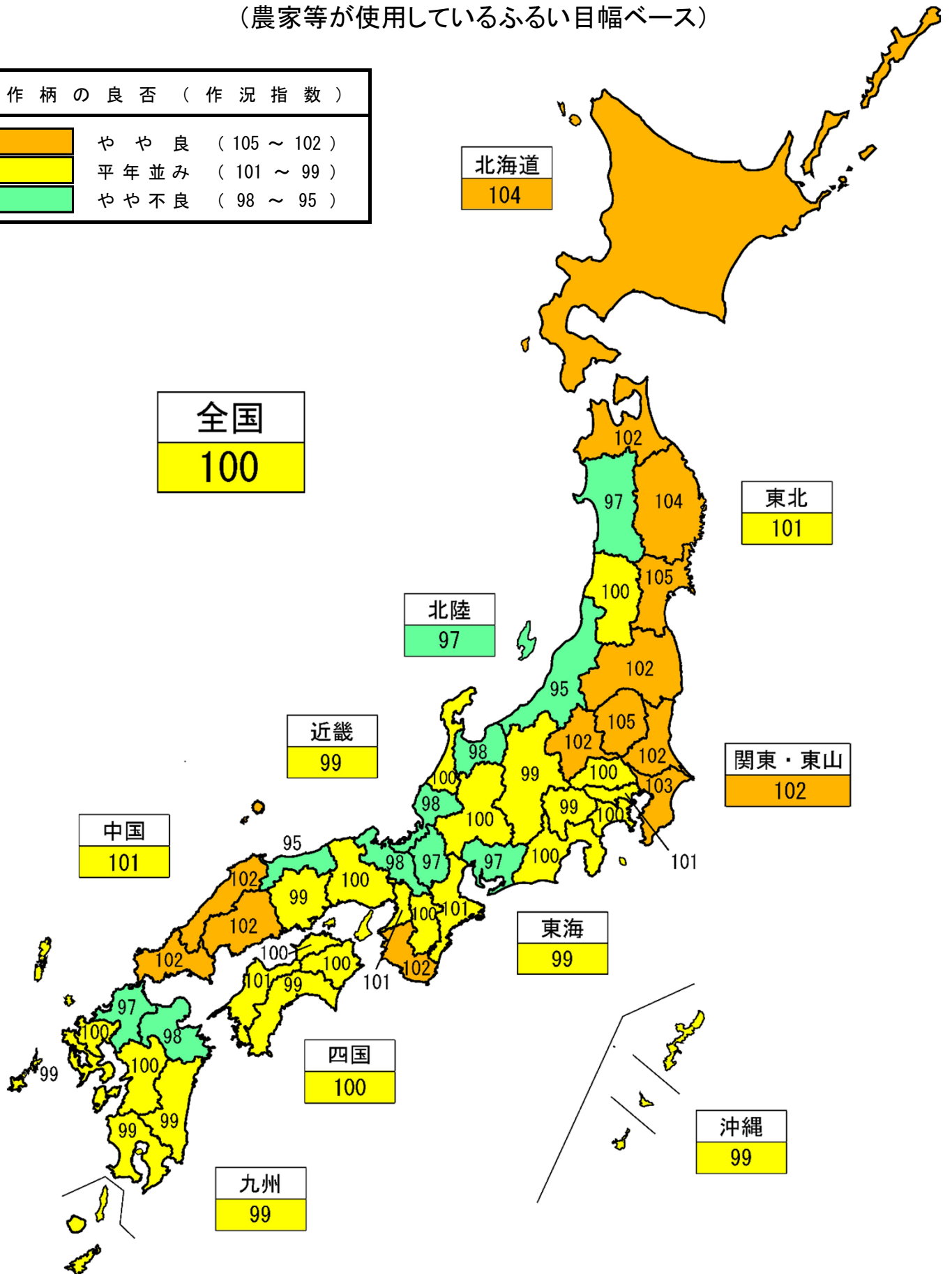
表 令和5年産水稲の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量(全国農業地域別)

全国農業地域	作付面積（青刈り面積を含む。）			10 a 当たり予想収量			主食用 作付面積 ②	予想収穫量 （主食用） ③=①×②
	実 数	前年産との比較		実 数 ①	平年との比較			
		対 差	対 比		対 差	対 差		
	ha	ha	%	kg	kg	kg	ha	t
全 国	1,531,000	△ 14,000	99	534	△ 2	△ 2	1,242,000	6,624,000
北 海 道	101,700	200	100	582	21	△ 9	82,200	478,400
東 北	403,200	△ 2,600	99	570	2	11	309,200	1,761,000
北 陸	208,300	△ 1,600	99	514	△ 26	△ 27	174,000	895,000
関 東・東 山	289,500	△ 2,100	99	545	6	7	227,500	1,242,000
東 海	96,900	△ 1,100	99	498	△ 4	△ 6	84,300	419,600
近 畿	99,300	△ 1,600	98	503	△ 5	△ 14	91,200	457,900
中 国	101,700	△ 1,800	98	519	1	△ 5	90,900	472,300
四 国	46,900	△ 1,100	98	482	0	△ 15	42,700	205,500
九 州	183,200	△ 2,300	99	495	△ 6	1	139,500	690,900
沖 縄	602	△ 50	92	307	△ 2	6	545	1,670

- 注：1 10 a 当たり予想収量及び予想収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
 2 予想収穫量(主食用)については都道府県ごとの積み上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。
 3 10a当たり予想収量の平年との比較は、10 a 当たり平年収量との比較である。
 4 沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから、沖縄県計の10 a 当たり予想収量及び予想収穫量（主食用）の算出は、第一期稲の10 a 当たり収量と第二期稲の10 a 当たり平年収量の加重平均を用いた。

図2 全国農業地域・都道府県別作況指数(9月25日現在)
(農家等が使用しているふるい目幅ベース)

作柄の良否 (作況指数)	
	やや良 (105 ~ 102)
	平年並み (101 ~ 99)
	やや不良 (98 ~ 95)



注：1 作況指数は、10a当たり平年収量に対する10a当たり予想収量の比率であり、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。
2 徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県の作況指数は早期栽培、普通栽培を合算したものである。また、沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから、沖縄県計の作況指数の算出は、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平年収量の加重平均を用いた。

1 令和5年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量

全 国 都道府県	作付面積（青刈り面積を含む。）			10a 当たり 予想収量	農家等が使用している ふるい目幅で選別				
	実 数	前年産との比較			①	最も多い 使用割合 の目幅 ②	10a 当たり 予想収量 ③	10a 当たり 平年収量 ④	作 況 指 数 ⑤=③/④
		対 差	対 比						
	ha	ha	%	kg	mm	kg	kg		
全 国 (1)	1,531,000	△ 14,000	99	534	...	514	512	100	
北 海 道 (2)	101,700	200	100	582	1.90	559	535	104	
青 森 (3)	49,300	△ 200	100	614	1.90	587	574	102	
岩 手 (4)	53,300	△ 900	98	552	1.90	534	514	104	
宮 城 (5)	73,500	△ 300	100	568	1.90	535	511	105	
秋 田 (6)	88,500	△ 400	100	552	1.90	524	542	97	
山 形 (7)	67,400	△ 500	99	589	1.90	564	566	100	
福 島 (8)	71,300	△ 200	100	561	1.85	542	532	102	
茨 城 (9)	74,300	△ 700	99	532	1.85	515	506	102	
栃 木 (10)	68,600	0	100	556	1.85	540	515	105	
群 馬 (11)	16,200	△ 300	98	506	1.80	491	482	102	
埼 玉 (12)	32,200	△ 300	99	489	1.80	478	479	100	
千 葉 (13)	59,200	△ 400	99	557	1.80	550	533	103	
東 京 (14)	111	△ 4	97	419	1.80	409	404	101	
神 奈 川 (15)	2,870	△ 20	99	496	1.80	474	475	100	
新 潟 (16)	120,400	△ 700	99	512	1.85	503	527	95	
富 山 (17)	37,800	△ 300	99	528	1.90	511	519	98	
石 川 (18)	24,600	△ 300	99	518	1.85	508	509	100	
福 井 (19)	25,500	△ 200	99	500	1.90	476	484	98	
山 梨 (20)	4,790	△ 30	99	542	1.80	527	532	99	
長 野 (21)	31,300	△ 300	99	613	1.85	594	599	99	
岐 阜 (22)	24,500	△ 100	100	486	1.80	476	475	100	
静 岡 (23)	16,500	△ 100	99	521	1.80	510	511	100	
愛 知 (24)	28,000	△ 500	98	490	1.85	472	489	97	
三 重 (25)	28,000	△ 300	99	501	1.85	483	478	101	
滋 賀 (26)	30,600	△ 800	97	504	1.90	470	483	97	
京 都 (27)	14,100	△ 200	99	498	1.85	482	492	98	
大 阪 (28)	4,450	△ 100	98	502	1.80	485	478	101	
兵 庫 (29)	36,000	△ 200	99	500	1.85	477	477	100	
奈 良 (30)	8,350	△ 160	98	515	1.80	502	500	100	
和 歌 山 (31)	5,790	△ 200	97	505	1.80	497	485	102	
鳥 取 (32)	13,100	△ 200	98	489	1.85	471	495	95	
鳥 根 (33)	17,700	△ 200	99	523	1.90	494	482	102	
岡 山 (34)	30,100	△ 400	99	522	1.85	497	500	99	
広 島 (35)	22,200	△ 600	97	533	1.85	520	508	102	
山 口 (36)	18,600	△ 500	97	514	1.85	489	480	102	
徳 島 (37)	11,000	△ 200	98	470	1.80	460	462	100	
早期栽培 (38)	4,400	△ 30	99	450	1.80	439	453	97	
普通栽培 (39)	6,610	△ 110	98	482	1.80	472	467	101	
香 川 (40)	10,700	△ 500	96	497	1.80	480	479	100	
愛 媛 (41)	13,400	△ 100	99	503	1.85	473	468	101	
高 知 (42)	11,800	△ 300	98	454	1.80	442	446	99	
早期栽培 (43)	6,870	△ 150	98	485	1.80	475	471	101	
普通栽培 (44)	4,900	△ 200	96	415	1.80	401	413	97	
福 岡 (45)	37,400	△ 300	99	483	1.85	444	456	97	
佐 賀 (46)	25,300	△ 300	99	518	1.85	486	487	100	
長 崎 (47)	11,700	△ 200	98	480	1.80	461	466	99	
熊 本 (48)	40,800	△ 700	98	512	1.85	478	479	100	
大 分 (49)	23,000	△ 300	99	489	1.80	466	475	98	
宮 崎 (50)	22,800	△ 200	99	490	1.80	476	482	99	
早期栽培 (51)	7,980	60	101	487	1.80	479	470	102	
普通栽培 (52)	14,900	△ 200	99	492	1.80	474	489	97	
鹿 児 島 (53)	22,200	△ 300	99	480	1.80	466	470	99	
早期栽培 (54)	6,460	△ 80	99	469	1.80	459	449	102	
普通栽培 (55)	15,700	△ 300	98	483	1.80	468	477	98	
沖 縄 (56)	602	△ 50	92	307	1.80	300	302	99	
第一期稲 (57)	451	△ 20	96	350	1.80	345	355	97	
第二期稲 (58)	151	△ 30	83	...	1.80	...	155	...	

- 注：1 ①10a 当たり予想収量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
2 ③10a 当たり予想収量、④10a 当たり平年収量及び⑤作況指数については、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。
3 沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから「…」で示しており、沖縄県計の10a 当たり予想収量及び予想収穫量（主食用）の算出は、第一期稲の10a 当たり収量と第二期稲の10a 当たり平年収量の加重平均を用いた。

全 国 都道府県	主食用作付面積 ⑥	予想収穫量（主食用） ⑦=①×⑥	作柄概況（平年比較）			
			穂数の多少	1 穂 当 た り の も み 数 多 少	全 も み 数 の 多 少	登熟の良否
全 国 (1)	1,242,000	6,624,000	…	…	…	…
北 海 道 (2)	82,200	478,400	やや多い	平年並み	やや多い	やや良
青 森 (3)	33,800	207,500	やや少ない	平年並み	やや少ない	やや良
岩 手 (4)	42,800	236,300	少ない	多い	やや少ない	良
宮 城 (5)	57,200	324,900	やや少ない	多い	やや多い	やや良
秋 田 (6)	69,900	385,800	少ない	やや多い	やや少ない	やや良
山 形 (7)	52,400	308,600	やや少ない	やや多い	やや少ない	やや良
福 島 (8)	53,100	297,900	平年並み	やや多い	やや多い	平年並み
茨 城 (9)	57,800	307,500	少ない	やや多い	やや少ない	やや良
栃 木 (10)	47,200	262,400	やや少ない	平年並み	平年並み	良
群 馬 (11)	12,400	62,700	やや多い	平年並み	やや多い	平年並み
埼 玉 (12)	27,500	134,500	平年並み	平年並み	やや少ない	やや良
千 葉 (13)	45,800	255,100	少ない	やや多い	やや少ない	良
東 京 (14)	111	465	平年並み	やや多い	やや多い	平年並み
神 奈 川 (15)	2,850	14,100	平年並み	やや多い	平年並み	平年並み
新 潟 (16)	100,600	515,100	やや少ない	やや多い	やや少ない	やや良
富 山 (17)	31,200	164,700	平年並み	やや少ない	やや少ない	やや良
石 川 (18)	20,800	107,700	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み
福 井 (19)	21,500	107,500	やや少ない	平年並み	やや少ない	やや良
山 梨 (20)	4,660	25,300	やや少ない	やや多い	やや少ない	やや良
長 野 (21)	29,300	179,600	少ない	やや多い	やや少ない	やや良
岐 阜 (22)	19,700	95,700	やや少ない	やや多い	平年並み	やや不良
静 岡 (23)	15,000	78,200	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み
愛 知 (24)	24,700	121,000	やや少ない	平年並み	やや少ない	平年並み
三 重 (25)	24,900	124,700	やや少ない	多い	やや多い	平年並み
滋 賀 (26)	27,000	136,100	やや少ない	やや多い	やや多い	やや不良
京 都 (27)	13,200	65,700	やや少ない	平年並み	やや少ない	やや良
大 阪 (28)	4,430	22,200	やや少ない	やや多い	平年並み	やや良
兵 庫 (29)	32,500	162,500	少ない	やや多い	やや少ない	やや良
奈 良 (30)	8,200	42,200	平年並み	平年並み	平年並み	やや良
和 歌 山 (31)	5,780	29,200	少ない	やや多い	やや少ない	やや良
鳥 取 (32)	11,700	57,200	少ない	やや多い	少ない	やや良
島 根 (33)	15,900	83,200	やや少ない	多い	平年並み	やや良
岡 山 (34)	26,900	140,400	少ない	多い	やや少ない	やや良
広 島 (35)	20,500	109,300	やや少ない	やや多い	平年並み	やや良
山 口 (36)	16,000	82,200	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み
徳 島 (37)	9,480	44,600	…	…	…	…
早期栽培 (38)	…	…	少ない	やや多い	やや少ない	やや良
普通栽培 (39)	…	…	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み
香 川 (40)	10,100	50,200	やや少ない	やや多い	平年並み	やや良
愛 媛 (41)	12,800	64,400	やや少ない	平年並み	少ない	良
高 知 (42)	10,200	46,300	…	…	…	…
早期栽培 (43)	…	…	やや多い	多い	多い	不良
普通栽培 (44)	…	…	やや少ない	やや少ない	やや少ない	平年並み
福 岡 (45)	32,300	156,000	少ない	平年並み	少ない	やや良
佐 賀 (46)	21,700	112,400	少ない	平年並み	やや少ない	やや良
長 崎 (47)	10,000	48,000	少ない	多い	やや少ない	やや良
熊 本 (48)	28,900	148,000	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み
大 分 (49)	18,100	88,500	少ない	やや多い	少ない	やや良
宮 崎 (50)	12,700	62,200	…	…	…	…
早期栽培 (51)	…	…	平年並み	やや多い	やや多い	平年並み
普通栽培 (52)	…	…	平年並み	少ない	少ない	やや良
鹿 児 島 (53)	15,800	75,800	…	…	…	…
早期栽培 (54)	…	…	やや少ない	やや多い	やや少ない	良
普通栽培 (55)	…	…	少ない	平年並み	少ない	やや良
沖 縄 (56)	545	1,670	…	…	…	…
第一期稲 (57)	…	…	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み
第二期稲 (58)	…	…	…	…	…	…

- 4 主食用作付面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積（9月15日現在）を除いた面積である。
- 5 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作期別の主食用作付面積は、作期別の備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。
- 6 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県における県平均の「穂数の多少」以降の指標は、調査を作期別に行っており県平均を取りまとめているため、「…」で示している。

2 令和5年産水稻の出穂期及び刈取済面積割合(9月25日現在)

都道府県	出穂期					刈取済面積割合
	始期	最盛期	終期	最盛期の比較		
				対平年差	対前年差	
月 日	月 日	月 日			%	
全 国	61
北海道	7. 20	7. 24	7. 31	6日早	4日早	75
青森	7. 27	7. 30	8. 3	5日早	4日早	53
岩手	7. 28	8. 1	8. 6	3日早	4日早	46
宮城	7. 26	7. 30	8. 5	3日早	4日早	60
秋田	7. 26	8. 1	8. 8	2日早	2日早	48
山形	7. 30	8. 3	8. 11	1日早	2日早	56
福島	7. 29	8. 5	8. 13	3日早	5日早	16
茨城	7. 16	7. 26	8. 7	4日早	2日早	96
栃木	7. 22	7. 27	8. 16	4日早	4日早	70
群馬	8. 3	8. 17	8. 30	3日早	2日早	11
埼玉	7. 19	8. 6	8. 27	4日早	2日早	56
千葉	7. 8	7. 18	7. 31	4日早	2日早	99
東京都	8. 1	8. 10	8. 22	3日早	3日早	27
神奈川県	8. 1	8. 8	8. 17	3日早	2日早	39
新潟	7. 22	8. 3	8. 12	1日早	1日早	89
富山	7. 13	7. 30	8. 8	3日早	2日早	95
石川	7. 14	7. 25	8. 4	3日早	1日早	94
福井	7. 9	7. 30	8. 10	2日早	並み	95
山梨	7. 30	8. 4	8. 26	5日早	2日早	42
長野	7. 27	8. 3	8. 13	4日早	2日早	59
岐阜	7. 20	8. 19	8. 31	2日早	1日早	47
静岡	7. 15	8. 6	8. 28	1日早	1日遅	63
愛知	7. 22	8. 18	9. 5	1日早	並み	39
三重	7. 13	7. 21	8. 9	2日早	1日早	97
滋賀	7. 22	7. 29	8. 14	2日早	並み	89
京都	7. 19	7. 28	8. 18	4日早	3日早	60
大阪	8. 2	8. 22	8. 28	1日早	並み	21
兵庫	7. 26	8. 8	8. 29	2日早	1日早	51
奈良	7. 31	8. 23	8. 28	1日早	並み	25
和歌山	7. 19	8. 4	8. 22	2日早	1日早	78
鳥取	7. 25	8. 5	8. 22	3日早	1日早	49
島根	7. 19	7. 29	8. 19	2日早	並み	58
岡山	7. 30	8. 20	9. 4	1日早	並み	33
広島	7. 23	8. 4	8. 23	3日早	並み	62
山口	7. 26	8. 8	8. 28	2日早	1日遅	61
徳島 早期栽培	7. 6	7. 15	7. 23	並み	1日遅	100
普通栽培	7. 16	7. 31	8. 28	並み	2日遅	84
香川	7. 21	8. 22	9. 2	並み	1日遅	41
愛媛	7. 17	8. 13	9. 2	1日早	1日遅	56
高知 早期栽培	6. 21	7. 1	7. 15	1日早	並み	100
普通栽培	8. 11	8. 17	9. 2	1日早	1日遅	25
福岡	7. 31	8. 19	9. 1	3日早	1日早	40
佐賀	8. 2	8. 27	9. 9	2日早	並み	25
長崎	7. 16	8. 24	9. 1	1日早	1日遅	19
熊本	7. 13	8. 18	9. 4	4日早	2日早	15
大分	7. 30	8. 23	9. 3	3日早	2日早	17
宮崎 早期栽培	6. 18	6. 24	7. 1	並み	1日遅	100
普通栽培	8. 16	8. 21	8. 31	3日早	並み	4
鹿児島 早期栽培	6. 17	6. 25	7. 10	並み	2日遅	100
普通栽培	8. 17	8. 23	9. 6	3日早	並み	0
沖縄 第一期稲	5. 7	5. 16	6. 5	4日早	3日早	100

注：出穂期の始期、最盛期、終期とは、出穂済みの面積割合がそれぞれ5%、50%、95%に達した期日である。

令和5年産の水田における作付状況 (令和5年9月15日時点)

- ・ 全国の主食用米の作付面積については、前年実績（125.1万ha）から0.9万ha減少（▲0.7%）し、124.2万haとなった。
- ・ また、戦略作物等の作付面積については、新市場開拓用米（輸出用米等）、WCS用稲（稲発酵粗飼料用稲）が前年より増加した。

【主食用米及び戦略作物等の作付状況】

	主食用米	戦略作物等									備蓄米
		加工用米	新規需要米				麦	大豆	その他	戦略作物等 合計面積	
			新市場 開拓用米 (輸出用米等)	米粉用米	飼料用米	WCS用稲 (稲発酵 粗飼料用稲)					
H29年産	137.0	5.2	0.1	0.5	9.2	4.3	9.8	9.0	10.2	48.3	3.5
H30年産	138.6	5.1	0.4	0.5	8.0	4.3	9.7	8.8	10.2	47.0	2.2
R元年産	137.9	4.7	0.4	0.5	7.3	4.2	9.7	8.6	10.2	45.6	3.3
R2年産	136.6	4.5	0.6	0.6	7.1	4.3	9.8	8.5	10.2	45.6	3.7
R3年産	130.3	4.8	0.7	0.8	11.6	4.4	10.2	8.5	10.2	51.2	3.6
R4年産	125.1	5.0	0.7	0.8	14.2	4.8	10.6	8.9	9.9	54.9	3.6
R5年産	124.2	4.9	0.9	0.8	13.4	5.3	10.3	8.7	7.9	52.2	3.5

※R5年産の麦、大豆及びその他については畑地化面積を含まない。

注1：加工用米及び新規需要米（米粉用米、飼料用米、WCS用稲、新市場開拓用米）は取組計画の認定面積。

注2：備蓄米は、地域農業再生協議会が把握した面積。

注3：麦、大豆、その他（飼料作物、そば、なたね）は、地方農政局等が都道府県再生協議会等に聞き取った面積（基幹作）。

令和5年産の水田における都道府県別の作付状況 (令和5年9月15日時点)

都道府県	主食用米			戦略作物等											備蓄米
	①	【参考】		加工用米	新規需要米					麦	大豆	飼料作物	そば	なたね	
		前年産 (4年産) ②	増減 ①-②		新市場 開拓用米 (輸出用米等)	米粉用米	飼料用米	WCS用稲 稲発酵 粗飼料用稲	その他						
全国計	124.2万	125.1万	▲0.9万	48,797	9,091	7,587	133,925	53,055	71	103,449	87,398	53,224	24,708	643	35,359
北海道	82,200	82,500	▲300	6,920	1,974	143	6,788	1,594	-	33,236	17,609	10,436	6,038	408	2,089
青森	33,800	33,900	▲100	787	321	12	7,930	788	-	550	4,769	3,260	1,010	22	5,661
岩手	42,800	43,700	▲900	1,283	417	30	5,739	2,396	1	3,263	4,018	5,999	633	16	663
宮城	57,200	57,000	200	626	894	103	9,801	2,757	1	2,185	9,472	5,162	434	0	2,144
秋田	69,900	69,100	800	8,264	500	329	4,265	1,235	2	181	8,683	1,933	3,045	0	3,955
山形	52,400	52,700	▲300	4,516	440	112	5,138	1,239	4	72	4,645	2,359	4,274	1	3,484
福島	53,100	51,900	1,200	448	142	12	11,722	1,079	1	333	907	1,598	1,500	84	4,753
茨城	57,800	58,300	▲500	947	762	55	13,886	653	3	4,013	770	491	311	1	217
栃木	47,200	46,100	1,100	1,513	70	1,418	15,069	2,177	4	7,278	414	2,907	1,196	6	1,149
群馬	12,400	12,400	0	1,389	0	168	1,661	621	-	2,184	118	172	32	0	-
埼玉	27,500	27,400	100	144	52	769	3,605	124	-	1,877	381	154	50	6	43
千葉	45,800	45,500	300	1,672	35	135	10,154	1,316	-	440	262	312	2	1	122
東京	111	115	▲4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川	2,850	2,880	▲30	-	-	-	13	2	-	4	6	3	0	-	-
新潟	100,600	99,900	700	7,093	1,586	1,784	4,032	533	1	189	3,995	294	834	-	4,559
富山	31,200	31,300	▲100	1,220	342	266	2,096	480	-	2,834	4,165	321	250	22	2,202
石川	20,800	20,700	100	481	65	371	1,131	127	-	1,198	981	27	141	-	1,629
福井	21,500	21,600	▲100	322	132	213	1,976	160	-	5,210	76	43	464	-	1,218
山梨	4,660	4,690	▲30	62	-	29	21	18	-	62	99	23	103	0	-
長野	29,300	29,800	▲500	733	245	24	429	265	-	2,542	670	587	2,192	0	257
岐阜	19,700	20,000	▲300	741	78	65	3,496	303	-	3,689	359	521	259	6	94
静岡	15,000	15,000	0	105	1	8	1,011	330	-	244	38	40	26	-	4
愛知	24,700	25,200	▲500	573	44	278	2,040	182	-	5,646	70	133	7	11	176
三重	24,900	25,200	▲300	168	54	95	2,426	303	-	7,050	188	169	19	9	53
滋賀	27,000	27,700	▲700	608	205	58	2,033	310	-	8,222	591	158	110	11	282
京都	13,200	13,400	▲200	551	25	10	133	158	-	290	266	47	134	-	-
大阪	4,430	4,540	▲110	0	-	5	6	4	-	2	8	1	-	-	-
兵庫	32,500	32,800	▲300	674	185	48	819	972	6	1,931	1,655	783	117	12	-
奈良	8,200	8,350	▲150	19	-	36	50	43	-	68	22	5	1	0	-
和歌山	5,780	5,980	▲200	-	-	1	3	4	-	4	11	3	2	-	-
鳥取	11,700	12,000	▲300	25	33	0	821	392	0	68	619	845	330	1	79
島根	15,900	16,100	▲200	252	2	7	804	745	1	281	614	457	299	4	26
岡山	26,900	27,100	▲200	295	189	120	1,824	475	-	1,269	1,114	902	128	1	152
広島	20,500	21,100	▲600	351	44	96	443	708	0	326	228	928	252	0	10
山口	16,000	16,600	▲600	976	86	43	1,108	410	0	711	816	864	43	1	-
徳島	9,480	9,640	▲160	20	40	11	1,007	247	-	55	7	99	2	-	198
香川	10,100	10,800	▲700	48	28	7	195	269	-	1,322	39	210	9	1	-
愛媛	12,800	13,000	▲200	34	-	6	344	217	-	430	313	241	2	-	-
高知	10,200	10,600	▲400	84	-	18	1,135	321	-	5	54	110	0	-	2
福岡	32,300	32,800	▲500	224	12	322	2,475	2,068	-	1,138	7,753	448	43	0	11
佐賀	21,700	22,300	▲600	406	8	19	829	2,246	-	1,411	6,235	428	12	2	42
長崎	10,000	10,400	▲400	6	10	4	117	1,549	1	76	298	1,825	34	2	-
熊本	28,900	30,200	▲1,300	672	41	309	1,646	9,167	24	793	2,236	1,891	178	12	66
大分	18,100	18,800	▲700	148	2	13	1,932	2,758	-	678	1,310	935	89	2	19
宮崎	12,700	13,400	▲700	1,978	22	22	887	7,207	23	17	206	3,105	62	-	-
鹿児島	15,800	16,600	▲800	1,389	1	12	880	4,081	1	75	310	1,975	40	2	-
沖縄	545	604	▲59	30	-	2	3	22	-	-	-	20	-	-	-

※R5年産の麦、大豆、飼料作物、そば及びなたねについては畑地化面積を含まない。

注1：主食用米は統計部公表の都道府県別の主食用米面積。

注2：加工用米及び新規需要米は取組計画の認定面積で、備蓄米は地域農業再生協議会が把握した面積。

注3：麦、大豆、飼料作物、そば、なたねは地方農政局等が都道府県農業再生協議会等に聞き取った面積（基幹作）。

令和5年産米の事前契約（播種前契約）の取組状況について

米の事前契約について、農林水産省では需要に応じた生産・販売に繋げていく観点から、「米取引の事前契約研究会」での議論等も踏まえ、「収穫前契約から播種前契約への転換」、「実需と結びついた契約の拡大」を推進しています。

これに伴い、今後の事前契約の取組状況については、従来の「収穫前契約」に代えて、「播種前契約」に関する取組状況を掲載することとします。

【米取引の事前契約研究会ページ】

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/jizenn.html>

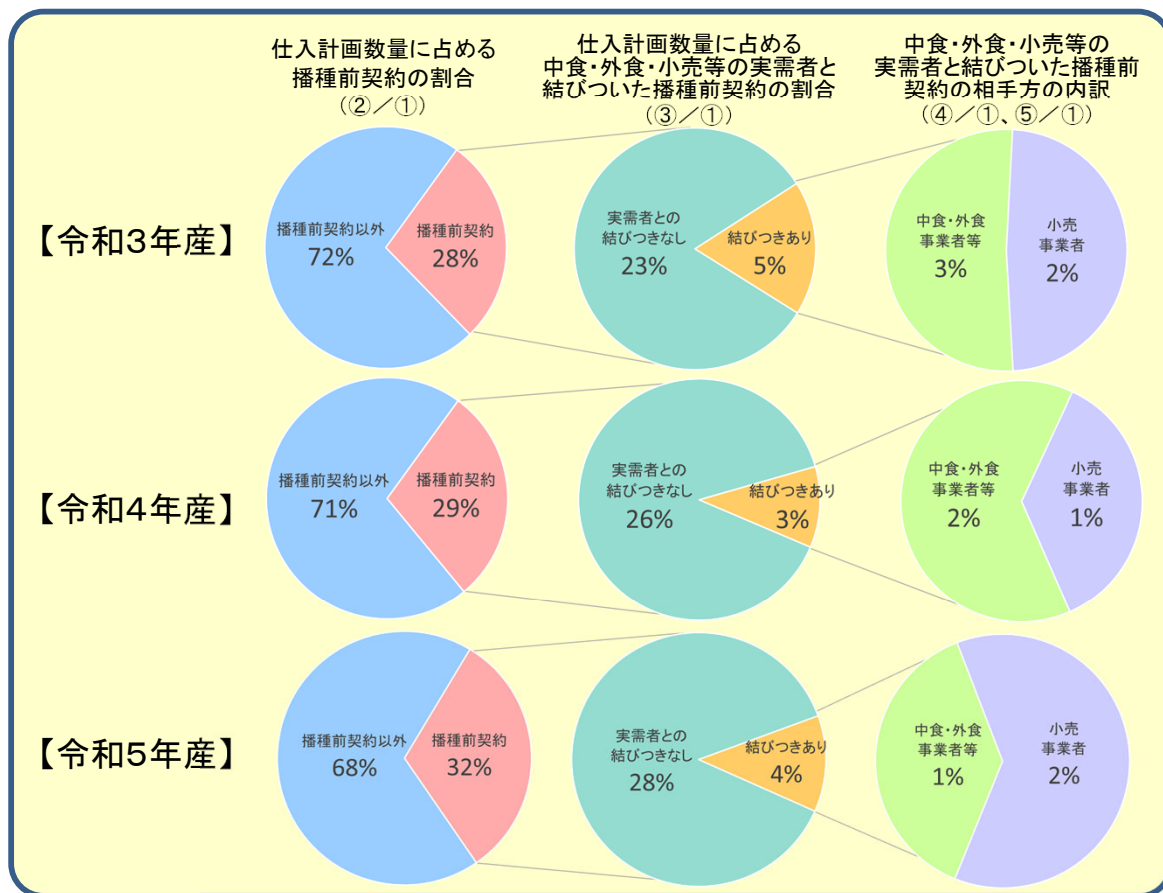
(1) 近年の事前契約（播種前契約）数量の推移（令和3年産～令和5年産）

- 事前契約（播種前契約）の取組状況について、一定規模以上の集出荷業者を対象に調査を実施。
- 5年産の仕入計画数量に占める播種前契約（複数年契約を含む）の割合は32%。5年産の仕入計画数量に占める実需者と結びついた播種前契約の割合は4%。

○ 近年の播種前契約の状況

(単位:千トン)

年産	仕入計画数量 ①	播種前契約数量 ②	うち実需者との結びつき		
			計 ③	中食・外食等 ④	小売 ⑤
3年産	3,699	1,026 (28%)	184 (5%)	95 (3%)	89 (2%)
4年産	3,451	1,001 (29%)	108 (3%)	69 (2%)	40 (1%)
5年産	3,504	1,115 (32%)	127 (4%)	42 (1%)	85 (2%)



- 注：1 調査対象は、年間取扱数量500トン以上の集出荷業者。
 2 仕入計画数量は、卸売業者や小売事業者等へ独自に販売を行う米穀の生産年の3月末時点の仕入(集荷)計画数量(見込含む)として調査。
 3 播種前契約数量は、生産年の3月末までに締結した事前契約(確認書等により販売数量が決定しているもの)の数量をいう。
 4 中食・外食等には、小売以外の実需者(学校給食や事業所給食など)との契約を含む。
 5 ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

(2) 令和4・5年産米の産地別事前契約（播種前契約）の取組状況（速報）

(単位：千玄米トン)

	4年産				5年産			
	仕入(集荷) 計画数量 ①	うち事前(播種前)契約		うち 複数年契約	仕入(集荷) 計画数量 ④	うち事前(播種前)契約		うち複数年契約
		契約数量 ②	契約比率 ②/①	契約数量 ③		契約数量 (前年差) ⑤	契約比率 (前年差) ⑤/④	契約数量 (前年差) ⑥
北海道	345	160	46%	157	369	164 (+4)	44% (▲2%)	162 (+5)
青森	154	14	9%	5	171	36 (+21)	21% (+12%)	29 (+24)
岩手	137	52	38%	50	157	65 (+13)	41% (+4%)	65 (+15)
宮城	192	106	55%	106	184	143 (+37)	78% (+23%)	93 (▲12)
秋田	276	134	48%	113	299	142 (+8)	47% (▲1%)	109 (▲4)
山形	239	46	19%	39	242	60 (+15)	25% (+6%)	45 (+6)
福島	171	43	25%	41	172	31 (▲12)	18% (▲7%)	31 (▲10)
茨城	151	5	3%	1	131	33 (+28)	25% (+22%)	3 (+2)
栃木	129	64	49%	61	136	72 (+8)	53% (+3%)	59 (▲2)
群馬	25	5	20%	1	27	7 (+2)	24% (+4%)	-
埼玉	42	8	18%	1	53	8 (+0)	15% (▲3%)	1 (+0)
千葉	108	10	9%	9	111	15 (+5)	13% (+4%)	8 (▲2)
東京	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川	3	-	-	-	3	-	-	-
山梨	6	-	-	-	5	-	-	-
長野	87	38	44%	34	87	38 (▲1)	43% (▲1%)	37 (+3)
静岡	12	-	-	-	13	-	-	-
新潟	366	113	31%	84	369	109 (▲4)	30% (▲1%)	73 (▲11)
富山	97	1	1%	1	100	-	-	-
石川	58	8	13%	-	65	11 (+4)	17% (+4%)	-
福井	55	8	14%	8	51	7 (▲1)	13% (▲1%)	5 (▲3)
岐阜	33	7	21%	5	18	11 (+4)	63% (+42%)	5 (▲1)
愛知	44	3	7%	2	43	2 (▲1)	4% (▲3%)	1 (▲1)
三重	46	32	69%	-	45	30 (▲2)	67% (▲2%)	-
滋賀	66	38	58%	8	46	28 (▲10)	61% (+4%)	5 (▲4)
京都	15	6	42%	1	18	5 (▲1)	28% (▲14%)	1 (+0)
大阪	3	-	-	-	3	-	-	-
兵庫	60	18	30%	-	60	17 (▲1)	29% (▲1%)	-
奈良	11	-	-	-	10	-	-	-
和歌山	2	0	1%	-	2	-	-	-
鳥取	25	16	66%	-	26	2 (▲14)	8% (▲58%)	-
島根	35	-	-	-	33	-	-	-
岡山	55	6	10%	-	39	-	-	-
広島	35	0	1%	-	36	22 (+22)	61% (+60%)	-
山口	38	0	1%	0	41	19 (+19)	47% (+46%)	0 (▲0)
徳島	16	2	14%	-	16	4 (+1)	23% (+9%)	-
香川	20	19	99%	7	20	-	-	-
愛媛	16	-	-	-	16	7	44%	-
高知	10	-	-	-	12	-	-	-
福岡	59	1	2%	-	63	1 (▲0)	2% (▲1%)	-
佐賀	37	28	77%	-	35	14 (▲15)	39% (▲38%)	12
長崎	11	7	64%	-	10	7 (+0)	76% (+12%)	-
熊本	58	-	-	-	57	-	-	-
大分	18	2	10%	0	20	4 (+3)	23% (+13%)	1 (+1)
宮崎	26	-	-	-	26	-	-	-
鹿児島	21	-	-	-	21	-	-	-
沖縄	1	-	-	-	1	-	-	-
全国	3,451	1,001	29%	736	3,504	1,115 (+114)	32% (+3%)	745 (+8)

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、年間の玄米仕入数量が500トン以上の出荷業者。

2 仕入計画数量は、卸売業者や小売業者等へ独自に販売を行う米穀の生産年の3月末時点の仕入(集荷)計画数量(見込含む)として調査。

3 播種前契約は、生産年の3月末までに締結した事前契約(確認書等により販売数量が決定しているもの。)をいう。

4 複数年契約は、播種前契約のうち、複数年にわたる契約をいう。

5 ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

6 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

【酒造好適米の全体需給の推計】

農林水産省が本年7月に行った「酒造好適米等の需要量調査」の結果をまとめました。より詳細な調査結果の内容は、下記URLよりご参照ください。

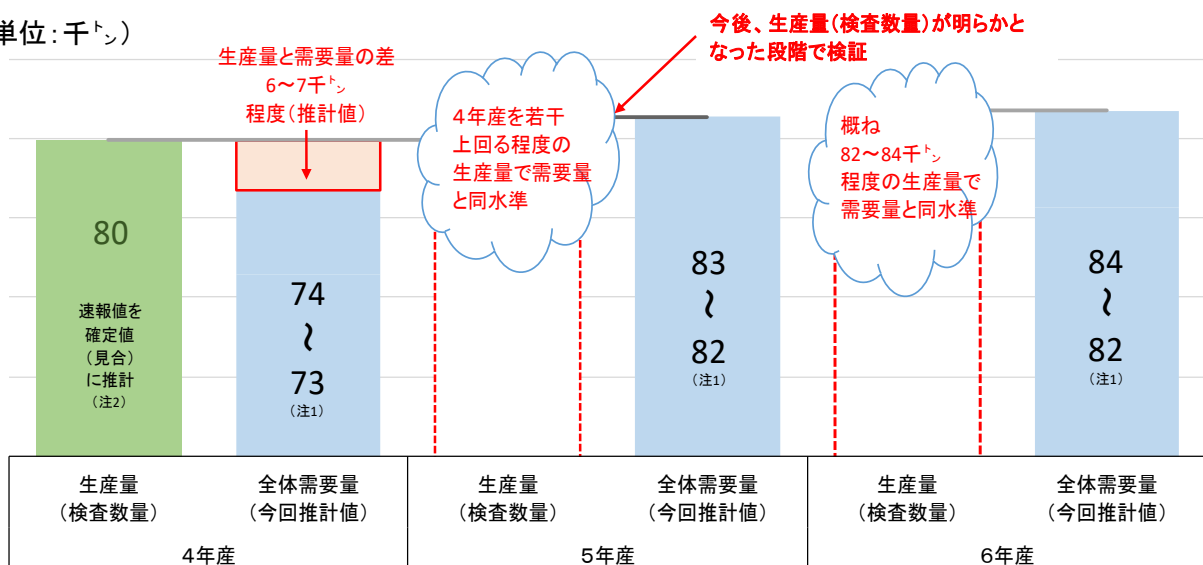
また、令和5年9月28日に「日本酒原料米の安定取引に向けた情報交換会」を開催したところであり、その概要については、同URLに追って掲載します。

【 https://www.maff.go.jp/j/seisaku_tokatu/kikaku/sake.html 】

- ・ **令和4年産**については、全体需要量（推計値）と生産量を比較すると、**生産量が需要量を6～7千ト**程度上回っているものと推計されます。
- ・ **令和5年産**については、全体需要量が令和4年産の生産量の**+3千ト**程度と増加しています。
- ・ **令和6年産**については、全体需要量が82～84千ト程度と見込まれる中、各産地においては、**自らの在庫状況、令和5年産の生産及び需要動向等を踏まえ、需要に応じた生産に取り組むことが重要**です。
- ・ なお、**令和5年産の需給**については、酒造好適米の検査数量（生産量）が概ね明らかとなる**来年2月に検証し、3月号のマンスリーレポートでお知らせ**します。

酒造好適米(醸造用玄米)の全体需給の状況

(単位:千ト)



注1：各年産の全体需要量（今回推計値）は、今回の需要量調査の数量ベース回答率が、令和3年産酒造好適米の全体需要量（66～68千ト）と今回調査の令和3年産の需要量（約57千ト）から約85～86%と推計されるため、各年産の今回調査結果の需要量を当該割合で除することにより算出。

注2：生産量は、農産物検査数量（醸造用玄米）の値。ただし、令和4年産は、令和5年3月31日現在の速報値を直近3カ年の3月31日現在の農産物検査の進捗率により確定値見合いに推計。

酒造好適米の需要に応じた生産に向けて

- ・ 今後とも**日本酒の国内外での円滑な出荷・販売**のためには、原料となる酒造好適米についても**需給均衡を図り、産地と実需者間で安定取引を図っていくことが重要**です。
- ・ 令和6年産の酒造好適米の作付けに当たっては、産地品種銘柄ごとの需要動向等を踏まえ、**需要に応じた生産・販売**を行うほか、**複数年契約の取組の拡大**や**日本酒の輸出拡大**といった**新たな需要動向を踏まえ生産に取り組むことも重要**です。このため、**今後もさらなる生産者と実需者の相互協力、連携が求められます**。

令和5年度酒造好適米等の需要量調査結果の概要

- ・ 昨年に引き続き、酒造好適米の需要量を把握するため、日本酒の酒造メーカーを対象として本年7月に需要量調査を実施。

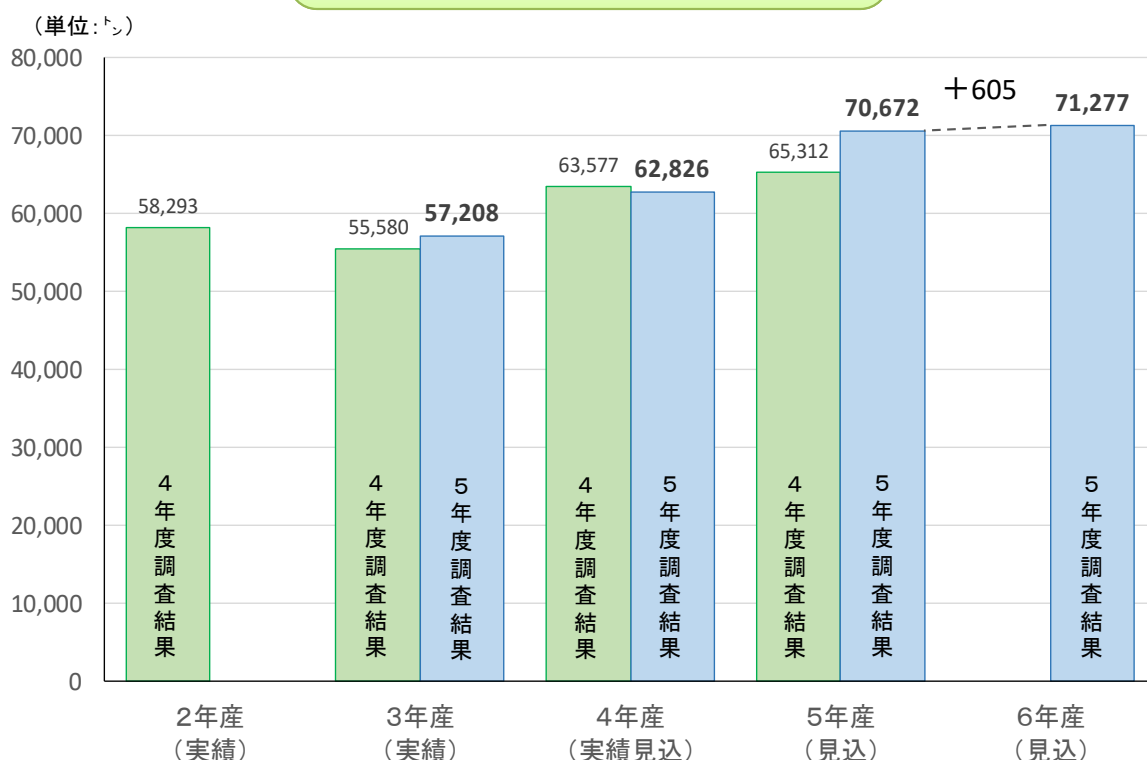
調査の概要

	令和4年度	令和5年度
調査期間	令和4年7月	令和5年7月
調査対象メーカー数	1,389社	1,248社
回答酒造メーカー数	694社	765社
回答率(数量ベース)	82~84%	85~86%

酒造好適米の需要量調査結果

- ・ 今年度の酒造好適米等の需要量調査で回答のあった酒造メーカーの令和6年産酒造好適米の需要見込みは、合計で71千トと令和5年産に比べてやや増加するという結果になりました。
- ・ 令和5年産の需要量は、昨年度の需要量調査においては、令和4年産に比べて+3%でしたが、今年度の需要量調査においては、令和4年産に比べて+12%となっています。
- ・ 令和6年産の生産に当たって、各産地においては、自らの在庫状況、令和5年産の生産及び需要動向等を踏まえ、生産者と実需者が連携し、令和6年産の作付計画に反映する必要があります。

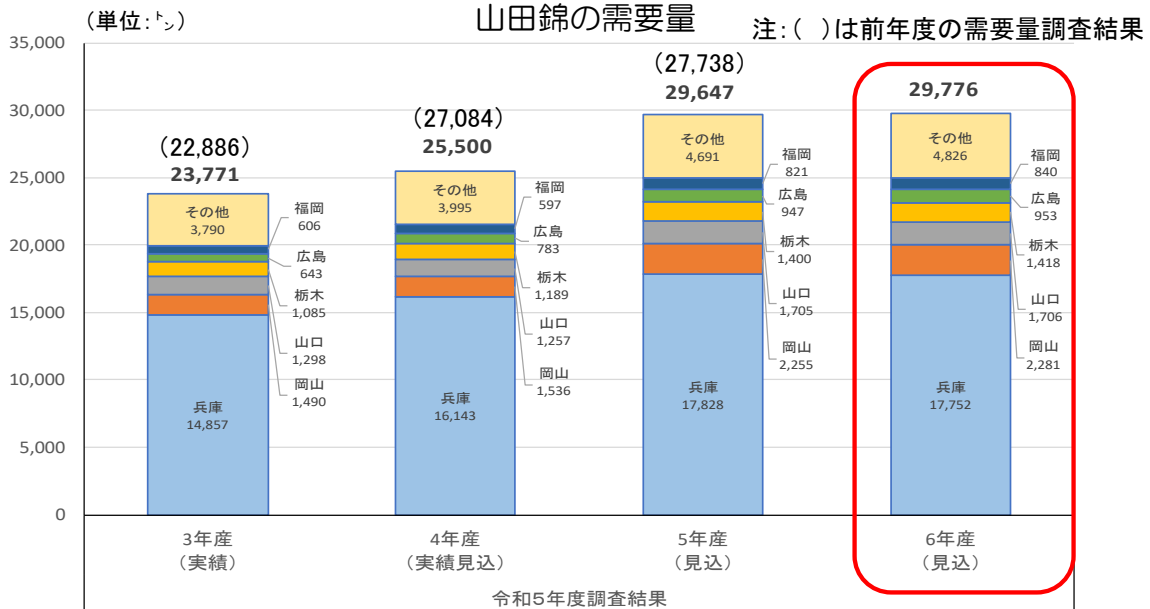
酒造好適米の需要量調査結果



主な酒造好適米の需要量(酒造メーカーからの回答分)

山田錦

- 令和6年産の山田錦の需要量は、令和5年産に比べて±0%と同程度となっています。
- 令和5年産の山田錦の需要量は、昨年度の需要量調査においては、令和4年産に比べて+2%でしたが、今年度の需要量調査においては、令和4年産に比べて+16%となっています。

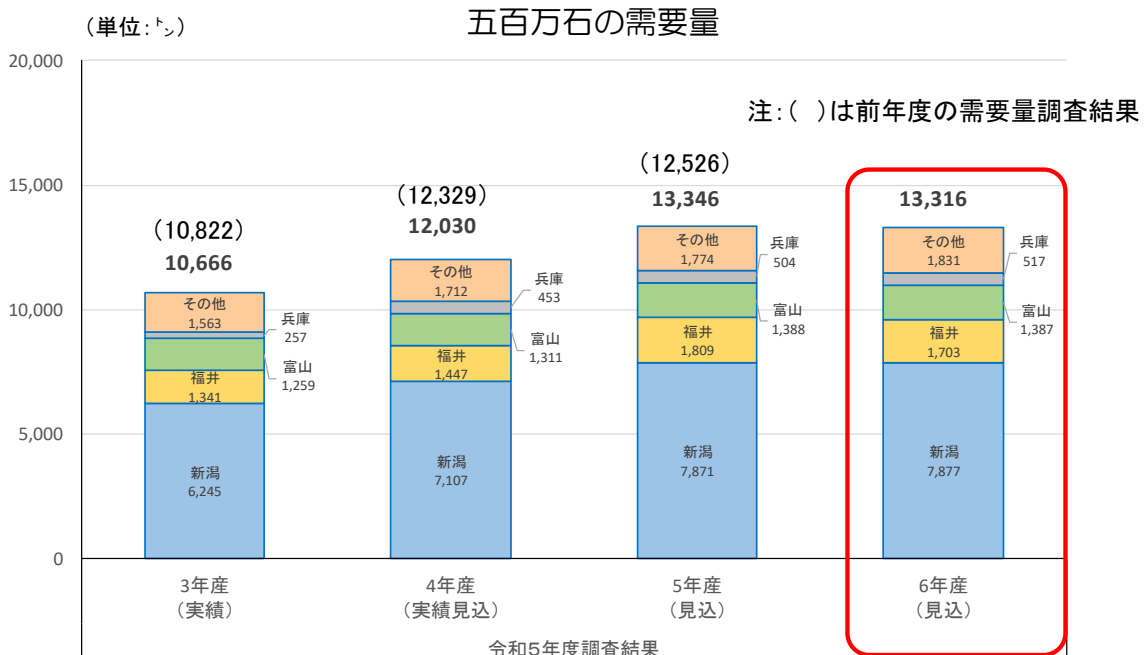


【参考】山田錦の生産量(検査数量)

3年産 27,609 4年産(推計値) 27,948

五百万石

- 令和6年産の五百万石の需要量は、令和5年産に比べて±0%と同程度となっています。
- 令和5年産の五百万石の需要量は、昨年度の需要量調査においては、令和4年産に比べて+2%でしたが、今年度の需要量調査においては、令和4年産に比べて+11%となっています。



【参考】五百万石の生産量(検査数量)

3年産 13,612 4年産(推計値) 15,271

日本酒の国内出荷状況

- 日本酒の国内出荷量については、近年、減少傾向で推移しているところですが、平成30年以降は減少幅が大きくなり、これまで堅調に推移していた特定名称酒についても減少に転じたところですが。
- 令和4年は、日本酒全体としては、前年と同水準で推移しており、一般酒が対前年比▲3%と減少する中、特定名称酒は対前年比+5%と増加しました。また、令和5年1～7月においても、前年と同様の傾向が続いています。

日本酒の国内出荷量の推移

(千kl)

	平成	15年	20年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和	3年	4年	5年		
	10年									元年			2年	(1～7月)	対前年同期比
日本酒国内出荷量	1,133	871	659	580	566	555	540	533	495	467	419	404	404	201	98%
特定名称酒	291	221	174	164	167	173	178	179	171	165	142	138	145	74	103%
吟醸酒	34	30	20	21	24	25	24	24	23	22	20	19	20	9	96%
純米吟醸酒	25	26	24	29	32	37	42	45	45	45	40	42	46	25	107%
純米酒	62	54	57	58	59	62	65	67	64	62	55	53	55	29	102%
本醸造酒	169	111	73	56	52	49	46	43	38	35	27	24	25	12	102%
一般酒	842	650	485	416	399	382	362	353	324	302	276	266	259	127	96%

資料：日本酒造組合中央会調べ。年は暦年。令和5年は概算値。

注1：日本酒は、一般酒のほか、原料米及び製造方法などの諸条件（原料、精米歩留）により、吟醸酒、純米酒、本醸造酒等に分類され、これらを総称して「特定名称酒」という。一般酒は日本酒国内出荷量から特定名称酒の数量を差し引いて算出。

2：国内出荷量には輸出量は含まれていない。

日本酒の輸出状況

- 日本酒の国内出荷量が減少傾向にある中、輸出量については、海外での日本食ブーム等を背景に増加傾向で推移しており、令和2年は新型コロナウイルス感染症の世界的なまん延等の影響により減少したものの、令和3年には大幅に回復しました。
- 令和4年においても、輸出量は対前年比+12%と堅調に推移しましたが、令和5年1～7月においては、対前年同期比▲18%と減少しています。

日本酒の輸出量の推移

(千kl)

	平成	15年	20年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和	3年	4年	5年		
	10年									元年			2年	(1～7月)	対前年同期比
日本酒輸出量	8	8	12	16	16	18	20	23	26	25	22	32	36	17.2	82%
アメリカ合衆国	1	2	4	4	4	5	5	6	6	6	5	9	9	3.7	64%
中華人民共和国	0	0	0	1	1	2	2	3	4	5	5	7	7	3.9	97%
香港	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	1.5	90%
台湾	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	1.6	92%
大韓民国	0	0	2	4	3	3	4	5	5	3	2	2	4	2.6	119%
その他	2	2	3	4	4	5	5	6	6	6	5	8	10	4.0	72%

資料：「貿易統計」（財務省）。年は暦年。

以上のほか、詳細な情報は、以下URLにより「日本酒をめぐる状況」及び「酒造好適米の需要量調査結果」を参照ください。

URL：https://www.maff.go.jp/j/seisaku_tokatu/kikaku/sake.html

1 米の民間在庫情報

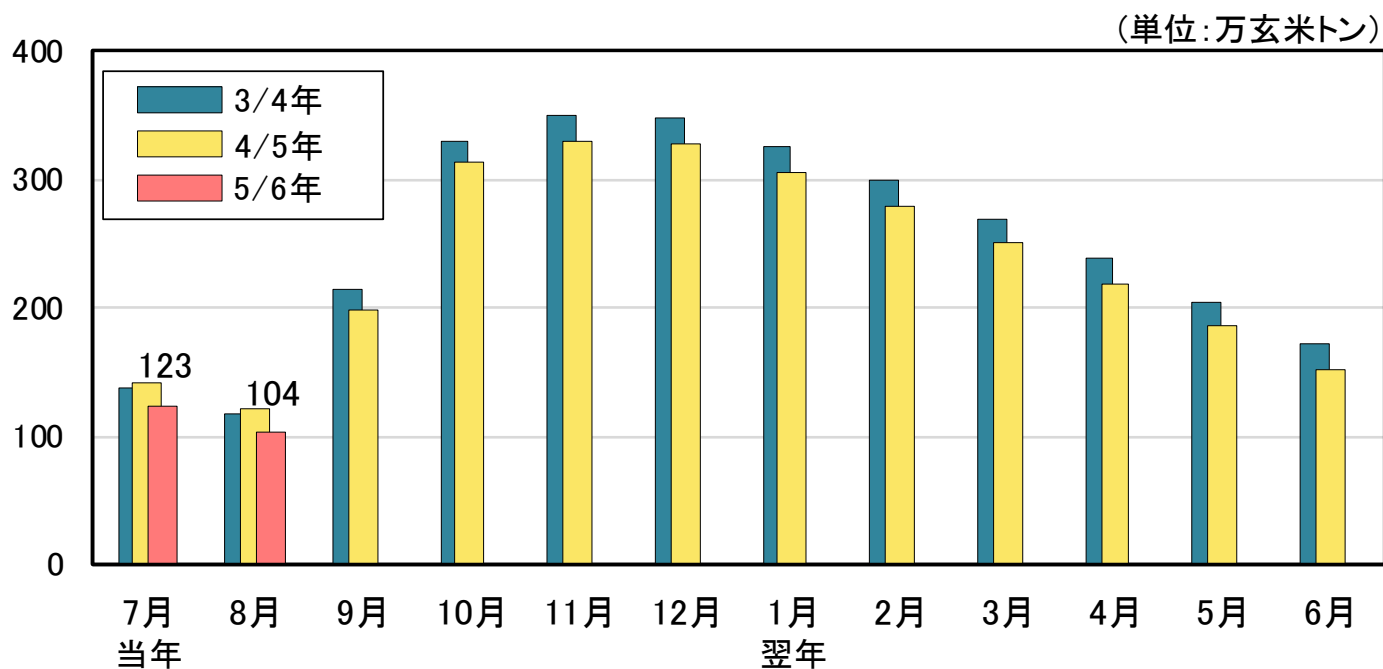
1 民間在庫の推移

(1) 全国段階の民間在庫の推移（うるち米）（速報）

民間在庫の累年データについては、農林水産省ホームページの「農産」の分野別分類「米(稲)・麦・大豆」、品目別分類「米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等」から御覧いただけます。
【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html> 】

- 令和5年8月末の出荷及び販売段階における民間在庫は、対前年同月差▲18万トンの104万トンとなっている。また、流通段階別でみると出荷段階で対前年同月差▲19万トンの78万トン、販売段階で+2万トンの26万トンとなっている。

※ 産地別の在庫量は、「在庫-5」以降を参照。



【全国段階の民間在庫の推移(うるち米)】

【出荷＋販売段階】

(単位:万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
29/30年	108	88	155	283	315	311	288	263	234	201	167	134
対前年差	▲6	▲5	▲22	▲30	▲22	▲18	▲18	▲18	▲13	▲11	▲10	▲6
29年産米	1	15	104	241	282	287	270	249	223	192	160	129
1年古米(28年産)	103	71	48	38	29	20	14	11	8	6	5	4
30/元年	102	87	151	288	305	301	282	258	227	192	161	131
対前年差	▲6	▲1	▲4	+5	▲10	▲10	▲6	▲5	▲7	▲9	▲5	▲3
30年産米	1	18	103	248	273	277	263	244	216	184	155	126
1年古米(29年産)	97	67	45	37	28	20	16	12	9	7	5	4
元/2年	99	79	161	294	315	318	295	266	233	204	178	154
対前年差	▲3	▲9	+10	+6	+10	+17	+13	+7	+6	+11	+16	+23
元年産米	0	10	115	255	283	294	276	250	221	193	169	146
1年古米(30年産)	95	66	43	34	25	16	12	9	7	5	4	3
2/3年	119	101	190	324	344	342	321	293	265	230	199	173
対前年差	+20	+21	+29	+30	+29	+24	+26	+27	+31	+27	+21	+19
2年産米	0	12	124	266	297	304	291	269	245	214	185	162
1年古米(元年産)	112	84	61	51	40	31	23	17	13	11	9	7
3/4年	138	118	214	330	351	349	326	299	270	238	204	172
対前年差	+19	+17	+24	+6	+6	+7	+5	+6	+6	+7	+5	▲1
3年産米	0	11	129	253	285	293	278	258	236	208	179	149
1年古米(2年産)	129	99	77	68	57	47	39	33	28	23	19	17
4/5年	142	122	199	313	330	328	306	280	251	219	186	153
対前年差	+4	+4	▲15	▲18	▲21	▲21	▲20	▲19	▲20	▲18	▲19	▲18
4年産米	1	12	112	236	263	273	259	240	217	191	163	134
1年古米(3年産)	124	94	71	59	49	40	33	26	21	17	14	11
5/6年	123	104										
対前年差	▲20	▲18										
5年産米	1	14										
1年古米(4年産)	106	78										

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。
 4 期間については、5/6年であれば、令和5年7月～6年6月である。
 5 年産の特定できない未検査米等を含んでいるため、当該年産米と1年古米の計と一致しない。

【出荷段階】

(単位: 万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
29/30年	84	66	124	231	262	257	240	218	186	158	130	103
対前年差	▲4	▲4	▲21	▲30	▲23	▲19	▲20	▲18	▲14	▲13	▲12	▲9
29年産米	0	11	89	211	247	248	233	213	183	155	128	102
1年古米(28年産)	83	54	34	19	13	9	6	4	3	2	2	1
30/元年	76	63	120	236	252	249	235	215	183	150	127	101
対前年差	▲8	▲3	▲4	+5	▲10	▲8	▲5	▲3	▲4	▲7	▲4	▲2
30年産米	1	14	90	219	240	240	228	211	180	148	125	100
1年古米(29年産)	74	48	30	15	11	7	5	4	3	2	2	1
元/2年	74	55	128	238	257	261	244	219	184	157	138	109
対前年差	▲2	▲8	+8	+2	+5	+13	+9	+4	+1	+7	+11	+8
元年産米	0	7	99	222	246	254	238	214	181	155	136	108
1年古米(30年産)	73	47	28	14	9	6	4	3	2	2	1	1
2/3年	84	70	151	265	285	284	269	245	217	186	162	132
対前年差	+10	+15	+23	+27	+27	+22	+26	+27	+33	+29	+24	+23
2年産米	0	9	108	236	263	268	258	237	211	182	158	129
1年古米(元年産)	82	60	42	28	20	14	10	7	5	4	3	3
3/4年	106	90	178	277	298	296	279	256	226	196	169	139
対前年差	+22	+20	+27	+12	+13	+12	+10	+11	+9	+10	+7	+7
3年産米	0	8	115	227	255	261	249	231	206	179	154	126
1年古米(2年産)	103	80	61	47	40	33	28	24	19	16	14	13
4/5年	116	98	166	262	277	276	259	236	204	176	149	121
対前年差	+10	+8	▲12	▲15	▲21	▲20	▲20	▲20	▲22	▲20	▲20	▲18
4年産米	0	9	97	208	231	239	228	210	185	160	136	110
1年古米(3年産)	103	78	58	44	36	29	24	19	14	11	9	7
5/6年	95	78										
対前年差	▲21	▲19										
5年産米	0	10										
1年古米(4年産)	86	61										

※本表の注意点は前頁の出荷+販売段階の脚注を参照

【販売段階】

(単位: 万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
29/30年	23	22	31	52	54	54	48	45	48	44	37	31
対前年差	▲2	▲1	▲1	±0	+1	+1	+3	±0	+1	+2	+2	+2
29年産米	0	4	15	30	35	39	37	36	40	37	32	28
1年古米(28年産)	20	16	13	20	16	12	8	7	5	4	3	2
30/元年	26	25	31	53	53	53	47	43	44	42	35	30
対前年差	+3	+2	±0	±0	±0	▲1	▲1	▲2	▲4	▲2	▲2	▲1
30年産米	0	4	13	29	33	37	34	33	36	36	30	27
1年古米(29年産)	23	19	16	21	17	13	10	8	6	5	4	3
元/2年	26	24	33	56	58	57	51	47	49	46	40	45
対前年差	±0	▲1	+2	+3	+4	+4	+4	+4	+5	+4	+5	+14
元年産米	0	3	16	32	37	40	38	36	40	38	33	38
1年古米(30年産)	22	18	15	20	15	10	8	6	5	4	3	2
2/3年	35	31	39	59	60	58	52	48	48	44	37	41
対前年差	+10	+7	+6	+3	+2	+1	+1	+1	▲2	▲2	▲3	▲4
2年産米	0	3	15	30	34	36	33	32	34	33	27	33
1年古米(元年産)	30	24	19	23	20	16	13	10	9	7	6	4
3/4年	32	28	36	53	53	53	46	43	44	42	35	32
対前年差	▲3	▲2	▲3	▲5	▲7	▲5	▲6	▲4	▲3	▲2	▲2	▲8
3年産米	0	3	14	26	30	32	29	28	30	30	25	24
1年古米(2年産)	25	20	16	20	16	14	11	9	9	7	5	4
4/5年	26	25	33	50	52	52	47	44	46	43	36	33
対前年差	▲6	▲4	▲3	▲3	▲1	▲1	+1	+1	+2	+2	+1	±0
4年産米	0	3	15	28	32	34	31	31	32	31	26	24
1年古米(3年産)	20	17	13	15	13	11	8	7	8	7	5	4
5/6年	27	26										
対前年差	+1	+2										
5年産米	0	4										
1年古米(4年産)	20	17										

※本表の注意点は前頁の出荷+販売段階の脚注を参照

(2) 産地別民間在庫の状況

単位：千玄米トン

	4年	4年	5年	対前年	対前年	5年	対前月	対前年	対前年
	7月	8月	7月	同月差	同月比	8月	差	同月差	同月比
	①	②	③	④=③-①	⑤=③/①	⑥	⑦=⑥-③	⑧=⑥-②	⑨=⑥/②
	(千玄米トン)	(千玄米トン)	(千玄米トン)	(千玄米トン)	(%)	(千玄米トン)	(千玄米トン)	(千玄米トン)	(%)
北海道	158.7	125.1	126.6	▲ 32.2	▲ 20.3%	91.0	▲ 35.6	▲ 34.1	▲ 27.3%
青森	63.7	48.9	62.5	▲ 1.2	▲ 1.9%	46.6	▲ 15.9	▲ 2.3	▲ 4.7%
岩手	80.5	66.5	62.0	▲ 18.5	▲ 23.0%	46.2	▲ 15.8	▲ 20.3	▲ 30.5%
宮城	112.7	92.5	85.5	▲ 27.2	▲ 24.1%	69.7	▲ 15.8	▲ 22.8	▲ 24.7%
秋田	108.2	79.7	73.3	▲ 34.9	▲ 32.3%	48.8	▲ 24.5	▲ 30.9	▲ 38.8%
山形	92.2	70.8	79.4	▲ 12.9	▲ 14.0%	61.0	▲ 18.3	▲ 9.8	▲ 13.8%
福島	81.0	63.6	73.5	▲ 7.4	▲ 9.2%	55.9	▲ 17.6	▲ 7.7	▲ 12.1%
茨城	48.2	54.8	46.3	▲ 2.0	▲ 4.1%	54.8	8.5	+ 0.0	+ 0.1%
栃木	100.2	82.8	73.1	▲ 27.2	▲ 27.1%	58.2	▲ 14.9	▲ 24.6	▲ 29.7%
群馬	10.9	10.7	11.4	+ 0.5	+ 4.7%	9.0	▲ 2.4	▲ 1.7	▲ 15.8%
埼玉	16.5	14.2	16.4	▲ 0.1	▲ 0.5%	13.2	▲ 3.2	▲ 1.0	▲ 6.9%
千葉	21.4	48.6	13.4	▲ 8.0	▲ 37.4%	51.6	38.2	+ 3.0	+ 6.2%
東京	0.0	0.0	0.0	+ 0.0	-	0.0	0.0	+ 0.0	-
神奈川	0.7	0.5	0.7	+ 0.1	+ 7.3%	0.5	▲ 0.3	+ 0.0	▲ 5.1%
山梨	1.7	1.3	2.2	+ 0.5	+ 30.0%	1.6	▲ 0.6	+ 0.3	+ 26.5%
長野	32.6	26.2	32.3	▲ 0.3	▲ 0.8%	27.0	▲ 5.4	+ 0.7	+ 2.9%
静岡	4.0	6.0	4.2	+ 0.2	+ 4.5%	6.8	2.6	+ 0.8	+ 12.7%
新潟	81.7	55.1	88.0	+ 6.4	+ 7.8%	65.0	▲ 23.1	+ 9.9	+ 18.0%
富山	33.1	27.0	33.9	+ 0.8	+ 2.3%	28.6	▲ 5.3	+ 1.6	+ 5.9%
石川	32.2	29.5	25.3	▲ 7.0	▲ 21.6%	25.3	0.0	▲ 4.2	▲ 14.2%
福井	22.0	24.0	16.2	▲ 5.8	▲ 26.4%	20.4	4.2	▲ 3.6	▲ 15.1%
岐阜	15.1	13.5	17.0	+ 1.9	+ 12.3%	15.4	▲ 1.5	+ 1.9	+ 14.2%
愛知	14.0	12.8	12.5	▲ 1.5	▲ 11.0%	11.3	▲ 1.2	▲ 1.5	▲ 11.8%
三重	11.0	16.9	8.0	▲ 3.0	▲ 27.1%	15.8	7.8	▲ 1.1	▲ 6.5%
滋賀	26.4	21.9	19.7	▲ 6.6	▲ 25.2%	16.8	▲ 3.0	▲ 5.1	▲ 23.3%
京都	3.5	2.2	4.0	+ 0.5	+ 15.9%	2.4	▲ 1.6	+ 0.1	+ 5.1%
大阪	0.6	0.5	0.8	+ 0.2	+ 39.4%	0.6	▲ 0.2	+ 0.2	+ 34.0%
兵庫	19.8	15.4	18.2	▲ 1.6	▲ 7.9%	14.2	▲ 4.0	▲ 1.2	▲ 7.7%
奈良	4.4	3.6	5.8	+ 1.4	+ 31.4%	4.7	▲ 1.1	+ 1.2	+ 33.3%
和歌山	0.8	0.7	1.3	+ 0.5	+ 69.1%	1.1	▲ 0.2	+ 0.4	+ 50.3%
鳥取	14.0	11.0	9.6	▲ 4.4	▲ 31.4%	6.3	▲ 3.3	▲ 4.7	▲ 42.7%
島根	11.8	9.4	11.6	▲ 0.3	▲ 2.2%	9.1	▲ 2.5	▲ 0.3	▲ 2.9%
岡山	20.7	14.0	18.2	▲ 2.5	▲ 12.1%	13.1	▲ 5.1	▲ 0.9	▲ 6.7%
広島	17.6	14.3	14.2	▲ 3.3	▲ 19.0%	10.2	▲ 4.0	▲ 4.1	▲ 28.7%
山口	16.6	14.8	18.0	+ 1.4	+ 8.5%	14.5	▲ 3.5	▲ 0.3	▲ 1.9%
徳島	2.8	10.1	1.8	▲ 1.0	▲ 35.7%	7.8	6.0	▲ 2.4	▲ 23.2%
香川	8.6	6.9	6.3	▲ 2.4	▲ 27.6%	4.1	▲ 2.2	▲ 2.8	▲ 41.0%
愛媛	5.0	6.4	7.2	+ 2.2	+ 43.1%	7.4	0.2	+ 1.0	+ 15.7%
高知	3.6	10.7	3.4	▲ 0.3	▲ 7.9%	9.6	6.2	▲ 1.1	▲ 10.7%
福岡	28.7	22.4	25.7	▲ 3.0	▲ 10.6%	17.2	▲ 8.5	▲ 5.3	▲ 23.4%
佐賀	18.1	15.3	15.5	▲ 2.6	▲ 14.4%	12.2	▲ 3.3	▲ 3.1	▲ 20.2%
長崎	5.5	5.1	3.4	▲ 2.1	▲ 38.3%	3.0	▲ 0.4	▲ 2.2	▲ 42.2%
熊本	20.9	17.9	15.3	▲ 5.6	▲ 26.8%	12.5	▲ 2.8	▲ 5.4	▲ 30.2%
大分	9.8	8.4	7.5	▲ 2.3	▲ 23.1%	6.0	▲ 1.5	▲ 2.4	▲ 28.1%
宮崎	10.7	12.5	8.3	▲ 2.3	▲ 21.9%	7.4	▲ 1.0	▲ 5.2	▲ 41.2%
鹿児島	12.8	14.1	12.6	▲ 0.3	▲ 2.0%	12.0	▲ 0.5	▲ 2.1	▲ 15.0%
沖縄	0.7	0.5	0.6	+ 0.0	▲ 6.8%	0.4	▲ 0.2	▲ 0.1	▲ 20.0%
全国	142万ト	122万ト	123万ト	▲ 20万ト	▲ 13.7%	104万ト	▲ 18万ト	▲ 18万ト	▲ 14.6%

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。
 4 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

(3) 令和4・5年産の産地別民間在庫の推移（うるち米）（速報）

		(北海道から秋田)											
		(単位:千玄米トン)											
		5年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
北海道	出荷+販売段階	126.6	91.0										
	5年産米												
	1年古米(4年産)	112.6	79.8										
	出荷段階	96.4	66.9										
	5年産米												
	1年古米(4年産)	87.0	59.5										
	販売段階	30.2	24.1										
	5年産米												
	1年古米(4年産)	25.7	20.3										
青森	出荷+販売段階	62.5	46.6										
	5年産米												
	1年古米(4年産)	58.6	43.4										
	出荷段階	48.4	34.7										
	5年産米												
	1年古米(4年産)	46.0	32.8										
	販売段階	14.1	11.9										
	5年産米												
	1年古米(4年産)	12.6	10.6										
岩手	出荷+販売段階	62.0	46.2										
	5年産米												
	1年古米(4年産)	57.4	42.7										
	出荷段階	55.6	40.5										
	5年産米												
	1年古米(4年産)	51.7	37.3										
	販売段階	6.4	5.7										
	5年産米												
	1年古米(4年産)	5.7	5.4										
宮城	出荷+販売段階	85.5	69.7										
	5年産米		0.0										
	1年古米(4年産)	79.5	64.6										
	出荷段階	75.2	60.5										
	5年産米		0.0										
	1年古米(4年産)	71.2	57.1										
	販売段階	10.4	9.2										
	5年産米		0.0										
	1年古米(4年産)	8.4	7.5										
秋田	出荷+販売段階	73.3	48.8										
	5年産米												
	1年古米(4年産)	62.7	40.0										
	出荷段階	62.1	39.6										
	5年産米												
	1年古米(4年産)	53.1	31.8										
	販売段階	11.1	9.2										
	5年産米												
	1年古米(4年産)	9.6	8.2										

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

(山形から埼玉)

(単位:千玄米トン)

		5年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
山形	出荷+販売段階	79.4	61.0										
	5年産米		0.0										
	1年古米(4年産)	73.9	56.6										
	出荷段階	67.8	50.4										
	5年産米												
	1年古米(4年産)	64.8	48.0										
	販売段階	11.6	10.7										
	5年産米		0.0										
	1年古米(4年産)	9.1	8.6										
福島	出荷+販売段階	73.5	55.9										
	5年産米		0.0										
	1年古米(4年産)	71.0	53.9										
	出荷段階	56.4	40.5										
	5年産米												
	1年古米(4年産)	55.3	39.8										
	販売段階	17.1	15.4										
	5年産米		0.0										
	1年古米(4年産)	15.7	14.2										
茨城	出荷+販売段階	46.3	54.8										
	5年産米		21.1										
	1年古米(4年産)	35.6	24.6										
	出荷段階	32.1	37.1										
	5年産米		14.4										
	1年古米(4年産)	22.9	14.9										
	販売段階	14.2	17.7										
	5年産米		6.8										
	1年古米(4年産)	12.6	9.7										
栃木	出荷+販売段階	73.1	58.2										
	5年産米		0.1										
	1年古米(4年産)	57.4	45.2										
	出荷段階	58.4	46.8										
	5年産米		0.1										
	1年古米(4年産)	45.2	35.8										
	販売段階	14.7	11.4										
	5年産米		0.0										
	1年古米(4年産)	12.2	9.5										
群馬	出荷+販売段階	11.4	9.0										
	5年産米												
	1年古米(4年産)	9.6	7.6										
	出荷段階	8.8	6.9										
	5年産米												
	1年古米(4年産)	7.6	6.1										
	販売段階	2.5	2.1										
	5年産米												
	1年古米(4年産)	1.9	1.6										
埼玉	出荷+販売段階	16.4	13.2										
	5年産米		0.6										
	1年古米(4年産)	12.0	8.6										
	出荷段階	12.8	9.7										
	5年産米		0.1										
	1年古米(4年産)	8.4	5.7										
	販売段階	3.7	3.5										
	5年産米		0.4										
	1年古米(4年産)	3.6	2.9										

※本表の注意点は「在庫-5」の脚注を参照。

(千葉から静岡)

(単位:千玄米トン)

		5年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
千葉	出荷+販売段階	13.4	51.6										
	5年産米	0.0	43.8										
	1年古米(4年産)	10.9	5.8										
	出荷段階	6.7	41.4										
	5年産米		39.1										
	1年古米(4年産)	4.9	0.9										
	販売段階	6.7	10.3										
	5年産米	0.0	4.7										
	1年古米(4年産)	5.9	4.9										
	東京	出荷+販売段階	0.0	0.0									
5年産米													
1年古米(4年産)		0.0	0.0										
出荷段階													
5年産米													
1年古米(4年産)													
販売段階		0.0	0.0										
5年産米													
1年古米(4年産)		0.0	0.0										
神奈川		出荷+販売段階	0.7	0.5									
	5年産米												
	1年古米(4年産)	0.7	0.5										
	出荷段階	0.7	0.4										
	5年産米												
	1年古米(4年産)	0.7	0.4										
	販売段階	0.1	0.1										
	5年産米												
	1年古米(4年産)	0.1	0.1										
	山梨	出荷+販売段階	2.2	1.6									
5年産米													
1年古米(4年産)		2.1	1.6										
出荷段階		1.9	1.3										
5年産米													
1年古米(4年産)		1.9	1.3										
販売段階		0.3	0.3										
5年産米													
1年古米(4年産)		0.2	0.3										
長野		出荷+販売段階	32.3	27.0									
	5年産米		0.0										
	1年古米(4年産)	31.8	26.5										
	出荷段階	28.9	24.0										
	5年産米												
	1年古米(4年産)	28.7	23.8										
	販売段階	3.5	3.0										
	5年産米		0.0										
	1年古米(4年産)	3.0	2.7										
	静岡	出荷+販売段階	4.2	6.8									
5年産米			4.0										
1年古米(4年産)		4.2	2.8										
出荷段階		1.0	2.6										
5年産米			2.1										
1年古米(4年産)		1.0	0.5										
販売段階		3.2	4.2										
5年産米			1.9										
1年古米(4年産)		3.2	2.3										

※本表の注意点は「在庫-5」の脚注を参照。

(新潟から愛知)

(単位:千玄米トン)

		5年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
新潟	出荷+販売段階	88.0	65.0										
	5年産米		1.8										
	1年古米(4年産)	82.5	58.5										
	出荷段階	73.8	53.2										
	5年産米		1.6										
	1年古米(4年産)	69.4	47.9										
	販売段階	14.2	11.8										
	5年産米		0.2										
	1年古米(4年産)	13.0	10.6										
富山	出荷+販売段階	33.9	28.6										
	5年産米		2.1										
	1年古米(4年産)	32.9	25.9										
	出荷段階	28.7	22.8										
	5年産米		1.2										
	1年古米(4年産)	28.7	21.6										
	販売段階	5.2	5.7										
	5年産米		1.0										
	1年古米(4年産)	4.2	4.2										
石川	出荷+販売段階	25.3	25.3										
	5年産米		6.4										
	1年古米(4年産)	18.5	13.2										
	出荷段階	20.5	19.3										
	5年産米		3.9										
	1年古米(4年産)	14.7	10.6										
	販売段階	4.8	6.0										
	5年産米		2.5										
	1年古米(4年産)	3.8	2.7										
福井	出荷+販売段階	16.2	20.4										
	5年産米		9.7										
	1年古米(4年産)	15.5	10.3										
	出荷段階	12.2	12.1										
	5年産米		3.9										
	1年古米(4年産)	11.8	8.0										
	販売段階	4.0	8.2										
	5年産米		5.7										
	1年古米(4年産)	3.7	2.3										
岐阜	出荷+販売段階	17.0	15.4										
	5年産米		1.1										
	1年古米(4年産)	15.1	12.9										
	出荷段階	13.6	11.2										
	5年産米		0.8										
	1年古米(4年産)	12.5	9.6										
	販売段階	3.4	4.3										
	5年産米		0.4										
	1年古米(4年産)	2.6	3.3										
愛知	出荷+販売段階	12.5	11.3										
	5年産米		2.1										
	1年古米(4年産)	12.1	8.9										
	出荷段階	10.2	9.0										
	5年産米		1.5										
	1年古米(4年産)	10.2	7.4										
	販売段階	2.3	2.3										
	5年産米		0.6										
	1年古米(4年産)	1.9	1.4										

※本表の注意点は「在庫-5」の脚注を参照。

		5年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
三重	出荷+販売段階	8.0	15.8										
	5年産米		11.0										
	1年古米(4年産)	6.7	3.7										
	出荷段階	4.6	11.4										
	5年産米		9.1										
	1年古米(4年産)	4.1	2.0										
	販売段階	3.4	4.4										
	5年産米		1.9										
	1年古米(4年産)	2.6	1.8										
滋賀	出荷+販売段階	19.7	16.8										
	5年産米		2.8										
	1年古米(4年産)	18.6	13.2										
	出荷段階	14.7	12.6										
	5年産米		2.4										
	1年古米(4年産)	14.5	10.0										
	販売段階	5.0	4.2										
	5年産米		0.4										
	1年古米(4年産)	4.1	3.1										
京都	出荷+販売段階	4.0	2.4										
	5年産米		0.1										
	1年古米(4年産)	4.0	2.3										
	出荷段階	3.2	1.6										
	5年産米		0.1										
	1年古米(4年産)	3.2	1.6										
	販売段階	0.8	0.7										
	5年産米		0.0										
	1年古米(4年産)	0.7	0.7										
大阪	出荷+販売段階	0.8	0.6										
	5年産米												
	1年古米(4年産)	0.8	0.6										
	出荷段階	0.7	0.5										
	5年産米												
	1年古米(4年産)	0.7	0.5										
	販売段階	0.2	0.1										
	5年産米												
	1年古米(4年産)	0.1	0.1										
兵庫	出荷+販売段階	18.2	14.2										
	5年産米		0.0										
	1年古米(4年産)	17.6	13.8										
	出荷段階	14.8	11.3										
	5年産米												
	1年古米(4年産)	14.8	11.3										
	販売段階	3.4	2.9										
	5年産米		0.0										
	1年古米(4年産)	2.9	2.5										
奈良	出荷+販売段階	5.8	4.7										
	5年産米												
	1年古米(4年産)	5.1	4.1										
	出荷段階	4.5	3.7										
	5年産米												
	1年古米(4年産)	3.9	3.2										
	販売段階	1.3	1.0										
	5年産米												
	1年古米(4年産)	1.1	0.9										

※本表の注意点は「在庫-5」の脚注を参照。

(和歌山から山口)

(単位:千玄米トン)

		5年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
和歌山	出荷+販売段階	1.3	1.1										
	5年産米												
	1年古米(4年産)	1.0	0.8										
	出荷段階												
	5年産米												
	1年古米(4年産)												
	販売段階	1.3	1.1										
	5年産米												
	1年古米(4年産)	1.0	0.8										
鳥取	出荷+販売段階	9.6	6.3										
	5年産米		0.1										
	1年古米(4年産)	9.1	6.0										
	出荷段階	8.1	5.2										
	5年産米		0.1										
	1年古米(4年産)	7.8	4.9										
	販売段階	1.5	1.1										
	5年産米												
	1年古米(4年産)	1.3	1.0										
島根	出荷+販売段階	11.6	9.1										
	5年産米		0.4										
	1年古米(4年産)	10.8	8.0										
	出荷段階	9.5	7.0										
	5年産米		0.4										
	1年古米(4年産)	9.0	6.2										
	販売段階	2.1	2.1										
	5年産米		0.0										
	1年古米(4年産)	1.8	1.8										
岡山	出荷+販売段階	18.2	13.1										
	5年産米		0.0										
	1年古米(4年産)	17.9	12.8										
	出荷段階	13.3	9.7										
	5年産米		0.0										
	1年古米(4年産)	13.3	9.6										
	販売段階	4.9	3.4										
	5年産米		0.0										
	1年古米(4年産)	4.6	3.2										
広島	出荷+販売段階	14.2	10.2										
	5年産米		0.2										
	1年古米(4年産)	12.6	9.0										
	出荷段階	9.2	6.6										
	5年産米		0.1										
	1年古米(4年産)	9.2	6.4										
	販売段階	5.0	3.7										
	5年産米		0.0										
	1年古米(4年産)	3.4	2.6										
山口	出荷+販売段階	18.0	14.5										
	5年産米		0.4										
	1年古米(4年産)	14.0	10.7										
	出荷段階	15.5	12.2										
	5年産米		0.3										
	1年古米(4年産)	11.8	8.6										
	販売段階	2.5	2.3										
	5年産米		0.1										
	1年古米(4年産)	2.2	2.0										

※本表の注意点は「在庫-5」の脚注を参照。

(徳島から佐賀)

(単位:千玄米トン)

		5年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	
徳島	出荷+販売段階	1.8	7.8											
	5年産米		6.8											
	1年古米(4年産)	1.6	0.9											
	出荷段階	0.7	6.0											
	5年産米		5.6											
	1年古米(4年産)	0.6	0.3											
	販売段階	1.1	1.8											
	5年産米		1.1											
	1年古米(4年産)	1.0	0.6											
	香川	出荷+販売段階	6.3	4.1										
		5年産米		0.2										
		1年古米(4年産)	6.0	3.8										
出荷段階		5.4	3.1											
5年産米														
1年古米(4年産)		5.3	3.1											
販売段階		0.8	1.0											
5年産米			0.2											
1年古米(4年産)		0.7	0.6											
愛媛		出荷+販売段階	7.2	7.4										
		5年産米		1.6										
		1年古米(4年産)	6.2	5.0										
	出荷段階	6.4	6.6											
	5年産米		1.6											
	1年古米(4年産)	5.5	4.3											
	販売段階	0.8	0.8											
	5年産米		0.1											
	1年古米(4年産)	0.7	0.7											
	高知	出荷+販売段階	3.4	9.6										
		5年産米	0.6	7.4										
		1年古米(4年産)	2.3	1.8										
出荷段階		0.6	3.7											
5年産米		0.4	3.6											
1年古米(4年産)		0.2	0.1											
販売段階		2.8	5.9											
5年産米		0.2	3.8											
1年古米(4年産)		2.1	1.7											
福岡		出荷+販売段階	25.7	17.2										
		5年産米		1.6										
		1年古米(4年産)	24.3	14.7										
	出荷段階	21.9	12.7											
	5年産米		1.1											
	1年古米(4年産)	21.8	11.5											
	販売段階	3.7	4.5											
	5年産米		0.5											
	1年古米(4年産)	2.5	3.2											
	佐賀	出荷+販売段階	15.5	12.2										
		5年産米		0.1										
		1年古米(4年産)	14.6	11.5										
出荷段階		13.4	10.5											
5年産米			0.1											
1年古米(4年産)		13.4	10.5											
販売段階		2.1	1.7											
5年産米			0.1											
1年古米(4年産)		1.2	1.0											

※本表の注意点は「在庫-5」の脚注を参照。

(長崎から沖縄)

(単位:千玄米トン)

		5年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
長崎	出荷+販売段階	3.4	3.0										
	5年産米		0.6										
	1年古米(4年産)	3.0	2.1										
	出荷段階	2.7	2.4										
	5年産米		0.5										
	1年古米(4年産)	2.7	1.9										
	販売段階	0.7	0.6										
	5年産米		0.0										
	1年古米(4年産)	0.3	0.2										
熊本	出荷+販売段階	15.3	12.5										
	5年産米		1.9										
	1年古米(4年産)	13.6	9.2										
	出荷段階	10.3	7.2										
	5年産米		1.0										
	1年古米(4年産)	10.0	5.9										
	販売段階	5.0	5.3										
	5年産米		0.9										
	1年古米(4年産)	3.7	3.3										
大分	出荷+販売段階	7.5	6.0										
	5年産米		0.5										
	1年古米(4年産)	6.8	5.0										
	出荷段階	4.8	3.9										
	5年産米		0.4										
	1年古米(4年産)	4.5	3.3										
	販売段階	2.7	2.1										
	5年産米		0.1										
	1年古米(4年産)	2.2	1.8										
宮崎	出荷+販売段階	8.3	7.4										
	5年産米	5.0	5.2										
	1年古米(4年産)	3.2	2.1										
	出荷段階	5.2	2.7										
	5年産米	3.3	1.8										
	1年古米(4年産)	1.9	0.9										
	販売段階	3.1	4.6										
	5年産米	1.7	3.4										
	1年古米(4年産)	1.3	1.2										
鹿児島	出荷+販売段階	12.6	12.0										
	5年産米	0.8	2.7										
	1年古米(4年産)	7.6	5.7										
	出荷段階	7.3	6.9										
	5年産米	0.1	1.3										
	1年古米(4年産)	5.9	4.5										
	販売段階	5.2	5.1										
	5年産米	0.7	1.4										
	1年古米(4年産)	1.7	1.3										
沖縄	出荷+販売段階	0.6	0.4										
	5年産米	0.6	0.4										
	1年古米(4年産)	0.0	0.0										
	出荷段階	0.3	0.2										
	5年産米	0.3	0.2										
	1年古米(4年産)	0.0											
	販売段階	0.3	0.2										
	5年産米	0.3	0.2										
	1年古米(4年産)	0.0	0.0										

※本表の注意点は「在庫-5」の脚注を参照。

2 米の価格情報

1 相対取引価格・数量

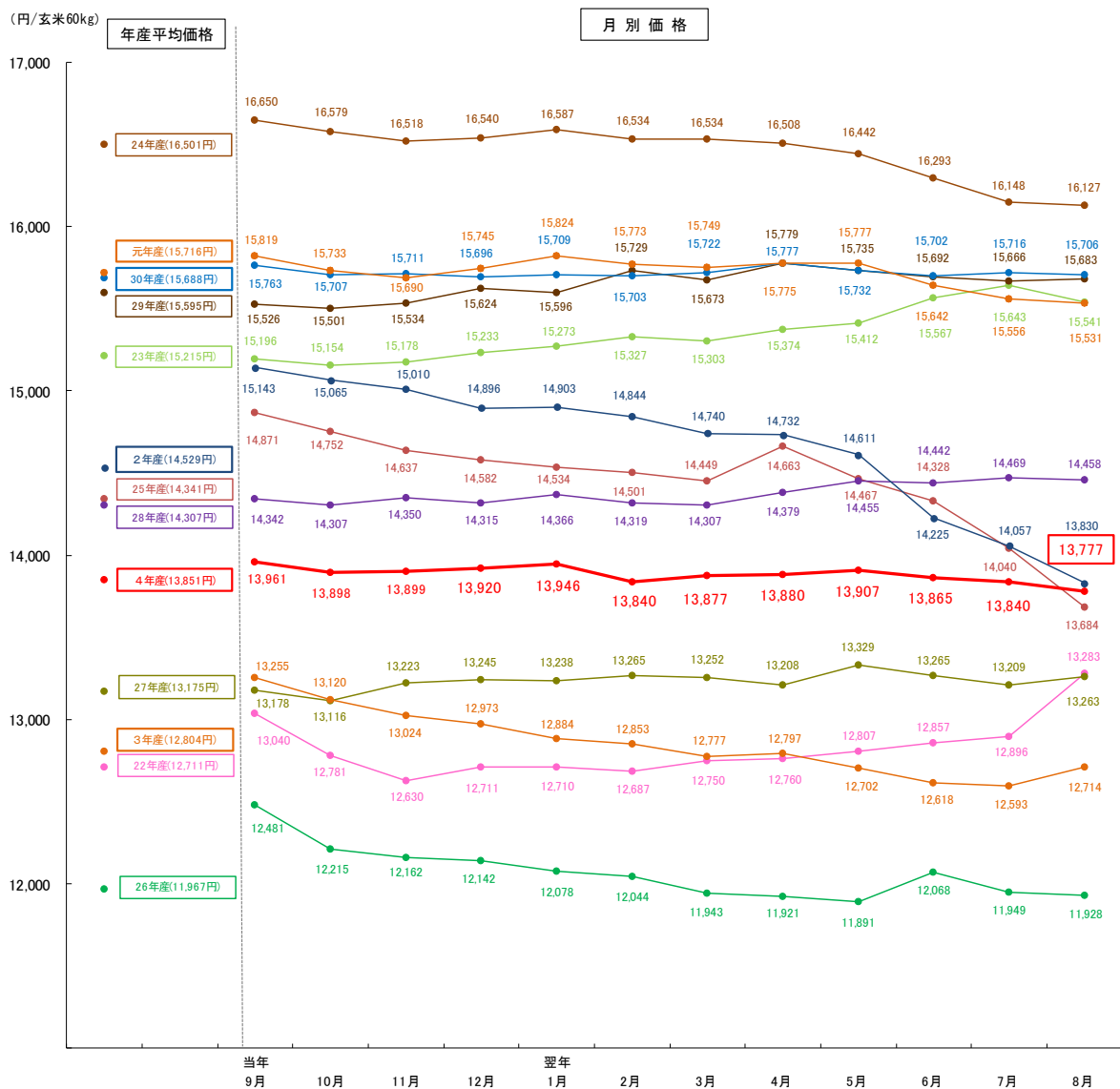
相対取引価格の累年データについては、農林水産省ホームページの「農産」の分野別分類「米(稲)・麦・大豆」、品目別分類「米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等」から御覧いただけます。【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html> 】

(1) 年産別の相対取引価格

- 令和4年産米の令和5年8月の相対取引価格は、全銘柄平均で対前月差▲63円の13,777円/60kgとなり、出回りからの年産平均価格は対前年産+1,047円の13,851円/60kgとなったところ。

産地銘柄ごとの価格は、「価格-3」以降を参照。

相対取引価格の推移（税込）（全銘柄平均価格）



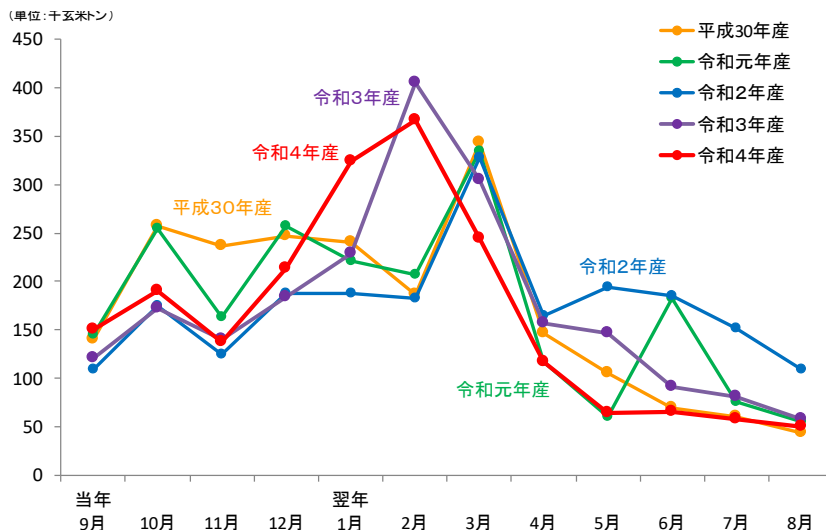
資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。
- 2 価格には、運賃、包装代、消費税が含まれている。なお、消費税は、平成26年3月以前は5%、令和元年9月以前は8%、10月以降は軽減税率の対象である米穀の品代等は8%、運賃等は10%で算定している。
- 3 グラフ左側の年産平均価格は、当該年産の出回りから翌年10月まで（4年産は出回りから令和5年8月までの速報値）の通年平均価格、右側は月別の価格である。

(2) 相対取引契約数量の推移

- 令和4年産米の令和5年8月の相対取引契約数量は、5.0万トンとなり、出回りからの契約数量は対前年同期差▲11.0万トンの200.6万トンとなったところ。

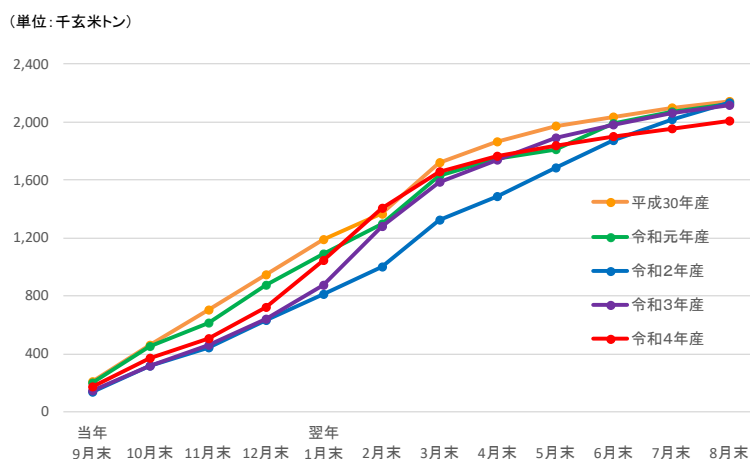
① 相対取引契約の月別数量



(単位:千玄米トン)

年産	当年 9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	年産計
平成30年産	140	258	236	247	240	187	343	147	105	70	61	44	2,193
令和元年産	145	254	164	257	221	207	334	117	61	183	76	55	2,191
令和2年産	110	175	125	188	187	183	328	164	194	185	152	109	2,267
令和3年産	121	172	140	185	228	405	305	157	147	91	81	58	2,207
令和4年産	151	190	137	214	324	366	245	116	64	66	58	50	

② 相対取引契約の累積数量



(単位:千玄米トン)

年産	当年 9月末	10月末	11月末	12月末	翌年 1月末	2月末	3月末	4月末	5月末	6月末	7月末	8月末	年産計
平成30年産	204	461	698	945	1,184	1,372	1,715	1,862	1,967	2,036	2,097	2,141	2,193
令和元年産	195	450	614	870	1,091	1,298	1,631	1,748	1,809	1,991	2,068	2,123	2,191
令和2年産	138	314	438	627	814	997	1,325	1,489	1,683	1,867	2,019	2,128	2,267
令和3年産	147	319	458	643	871	1,276	1,582	1,739	1,885	1,977	2,058	2,116	2,207
令和4年産	175	365	502	716	1,040	1,407	1,651	1,768	1,832	1,898	1,955	2,006	

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。
- 2 相対取引数量は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の数量の合計であり、契約後の契約変更等を含む（4年産は速報値）。
- 3 相対取引数量の年産計欄は、出回りから生産年の翌年10月までの数量であるため、各月の合計と一致しない。

(単位: 円/玄米60kg税込、玄米トン)

Table with columns for production area (産地品種銘柄), year (3年産, 4年産), and price. Rows include various rice varieties like 滋賀 コシヒカリ, 京都 キヌヒカリ, etc., ending with a total average row (全銘柄平均).

資料： 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注： 1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。
2 産地品種銘柄ごとの価格は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格（運賃、包装代、消費税を含む1等米の価格）を加重平均したものである。
3 価格に含む消費税は、軽減税率の対象である米穀の品代等は8%、運賃等は10%で算定している。
4 加重平均に際しては、新潟、長野、静岡以東（東日本）の産地品種銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西（西日本）の産地品種銘柄については受渡地を西日本としているものを対象としている。
5 相対取引価格は、個々の契約内容に応じて設定される大口割引等の割引などが適用された価格であり、実際の引取状況に応じて価格調整（等級及び付加価値等（栽培方法等））が行われることがある。また、算定に当たっては、契約価格に運賃を含めない産地在姿の取引分も対象としている。
6 報告対象産地品種銘柄ごとの年産平均価格は、当該報告対象産地品種銘柄の出回りから当該月までの相対取引数量ウェイトで加重平均により算定している（4年産は速報値）。
7 全銘柄平均価格は、報告対象産地品種銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均により算定している。
8 「-」は、当該月の相対取引契約がなかったもの又は当該月の相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表を行わないもの。また、各年産の年産平均価格について、令和4年産米は、当該月までの相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表を行わないもの。令和3年産米は、当該年産において報告対象としていない産地品種銘柄であり、価格の公表を行わないものである。
9 全銘柄平均価格、合計数量欄には公表していない産地品種銘柄分を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

2 米取引関係者の判断（米穀機構による調査、令和5年9月分）

調査結果は、米穀安定供給確保支援機構の、以下のURLから御覧いただけます。

【 <https://www.komenet.jp/> 】

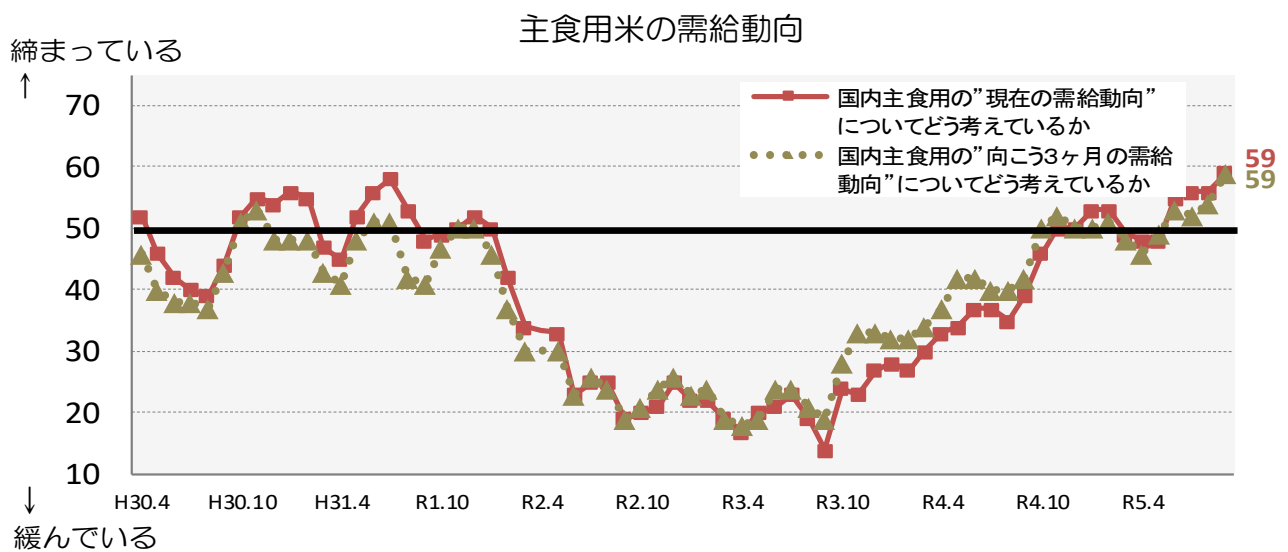
- 米穀機構の米取引関係者の判断に関する調査(令和5年9月分)によると、主食用米の需給動向の現状判断は前回調査と比べて+3ポイントの「やや増加」、見通し(向こう3ヶ月)判断は+5ポイントの「増加」。
- 米価水準の現状判断は前回調査と比べて+6ポイントの「増加」、見通し(向こう3ヶ月)判断は±0ポイントの「横ばい」。

1. 国内の主食用米の需給及び価格動向に関する判断（全体）

① 主食用米の需給動向

(ア) 現状判断D I 前回からの増減 +3 (今月の数値 59)

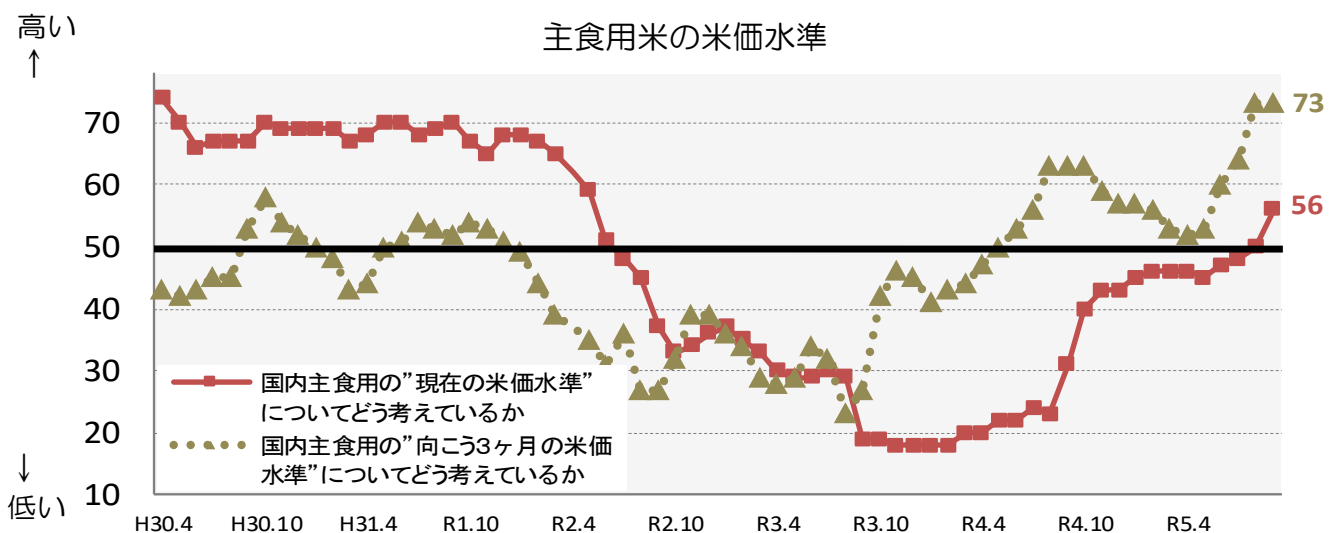
(イ) 見通し判断D I (向こう3ヶ月) 前回からの増減 +5 (今月の数値 59)



② 主食用米の米価水準

(ア) 現状判断D I 前回からの増減 +6 (今月の数値 56)

(イ) 見通し判断D I (向こう3ヶ月) 前回からの増減 ±0 (今月の数値 73)



2. 自社の取引状況に関する判断(業態ごと)

①主食用米の販売数量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「増えた」/「(将来)増える」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「減った」/「(将来)減る」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

(ア) 今月の販売数量に関する現状判断 D I

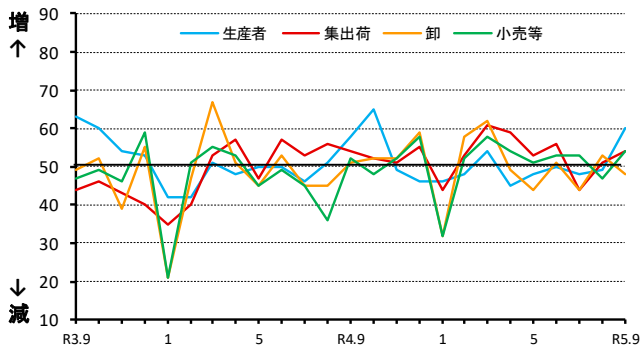
a. 先月との比較

生産者：前回からの増減	+11	(今月の数値	60)
集出荷：前回からの増減	+3	(今月の数値	54)
卸：前回からの増減	▲5	(今月の数値	48)
小売等：前回からの増減	+7	(今月の数値	54)

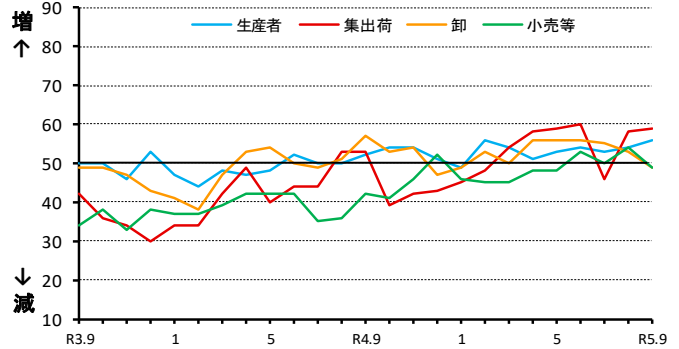
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	+2	(今月の数値	56)
集出荷：前回からの増減	+1	(今月の数値	59)
卸：前回からの増減	▲4	(今月の数値	49)
小売等：前回からの増減	▲5	(今月の数値	49)

①-ア-a 貴社の”今月”の主食用米の”販売数量”について、”先月と比較”するといかがですか。



①-ア-b 貴社の”今月”の主食用米の”販売数量”について、”前年同月と比較”するといかがですか。



(イ) 来月の販売数量に関する見通し D I

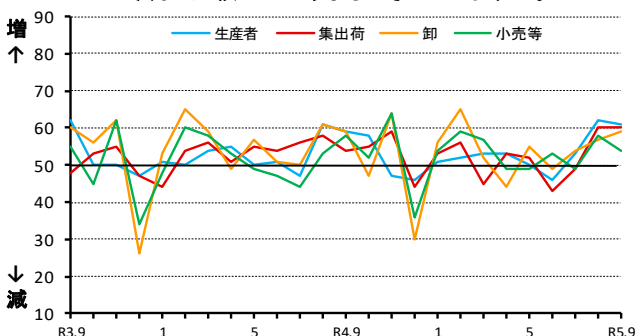
a. 今月との比較

生産者：前回からの増減	▲1	(今月の数値	61)
集出荷：前回からの増減	±0	(今月の数値	60)
卸：前回からの増減	+2	(今月の数値	59)
小売等：前回からの増減	▲4	(今月の数値	54)

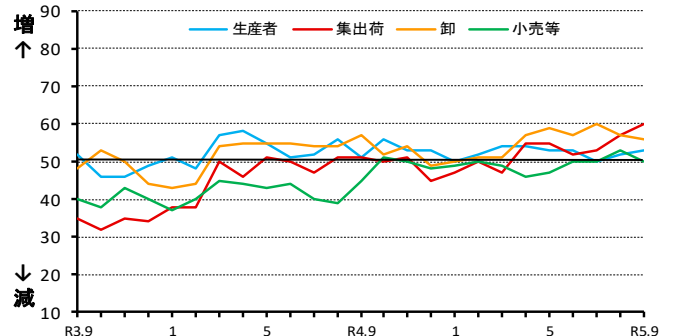
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	+1	(今月の数値	53)
集出荷：前回からの増減	+3	(今月の数値	60)
卸：前回からの増減	▲1	(今月の数値	56)
小売等：前回からの増減	▲3	(今月の数値	50)

①-イ-a 貴社の”来月”の主食用米の”販売数量”について、”今月と比較”してどうなると考えていますか。



①-イ-b 貴社の”来月”の主食用米の”販売数量”について、”前年同月と比較”してどうなると考えていますか。



②主食用米の価格

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「高くなった」/「(将来)高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「低くなった」/「(将来)低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

(ア) 今月の価格に関する現状判断 D I

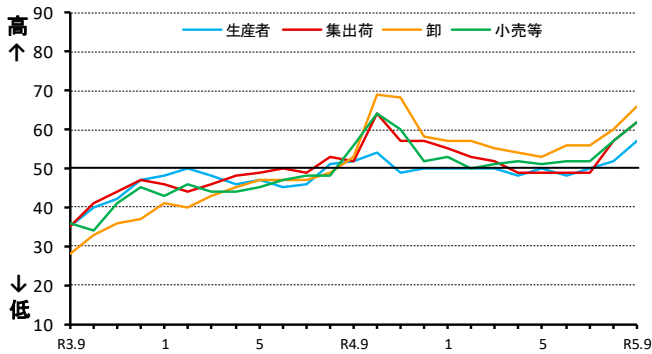
a. 先月との比較

生産者：前回からの増減	+5	(今月の数値	57)
集出荷：前回からの増減	+5	(今月の数値	62)
卸：前回からの増減	+6	(今月の数値	66)
小売等：前回からの増減	+5	(今月の数値	62)

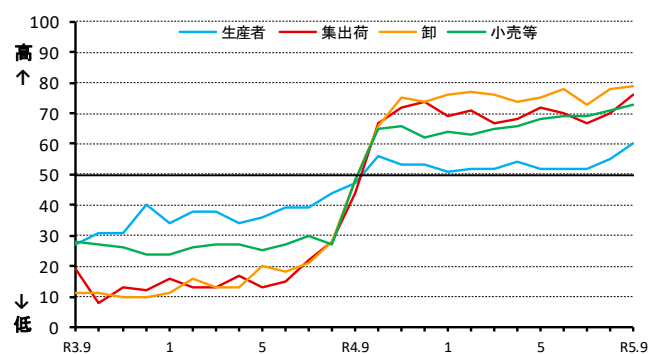
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	+5	(今月の数値	60)
集出荷：前回からの増減	+6	(今月の数値	76)
卸：前回からの増減	+1	(今月の数値	79)
小売等：前回からの増減	+2	(今月の数値	73)

②-ア-a 貴社の"今月"の主食用米の"価格"について、"先月と比較"するといかがですか。



②-ア-b 貴社の"今月"の主食用米の"価格"について、"前年同月と比較"するといかがですか。



(イ) 来月の価格に関する見通し D I

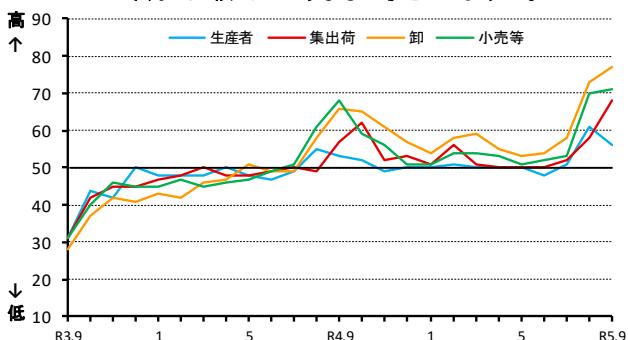
a. 今月との比較

生産者：前回からの増減	▲5	(今月の数値	56)
集出荷：前回からの増減	+10	(今月の数値	68)
卸：前回からの増減	+4	(今月の数値	77)
小売等：前回からの増減	+1	(今月の数値	71)

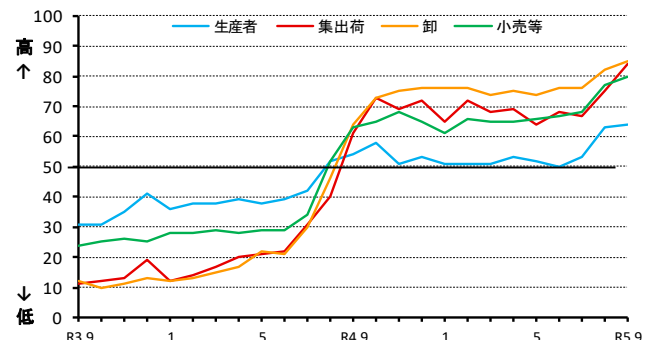
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	+1	(今月の数値	64)
集出荷：前回からの増減	+9	(今月の数値	84)
卸：前回からの増減	+3	(今月の数値	85)
小売等：前回からの増減	+3	(今月の数値	80)

②-イ-a 貴社の"来月"の主食用米の"価格"について、"今月と比較"してどうなると考えていますか。



②-イ-b 貴社の"来月"の主食用米の"価格"について、"前年同月と比較"してどうなると考えていますか。



③主食用米の在庫量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「多くなった」/「(将来)多くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「少なくなった」/「(将来)少なくなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

(ア) 今月の在庫量に関する現状判断 D I

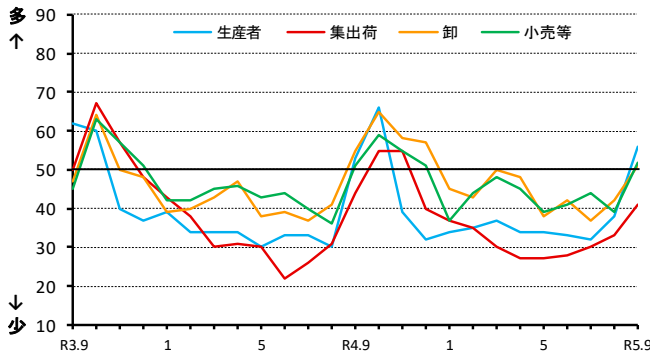
a. 先月との比較

生産者	: 前回からの増減	+18	(今月の数値	56)
集出荷	: 前回からの増減	+8	(今月の数値	41)
卸	: 前回からの増減	+9	(今月の数値	51)
小売等	: 前回からの増減	+13	(今月の数値	52)

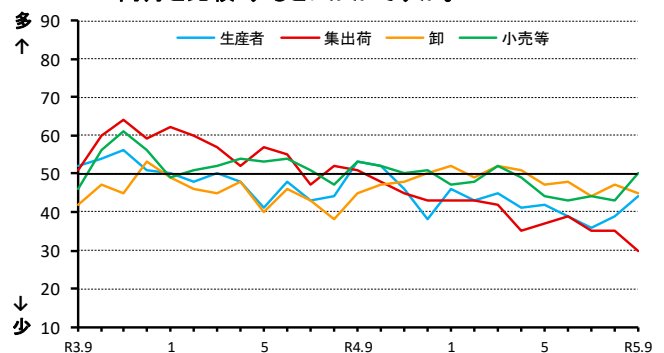
b. 前年同月との比較

生産者	: 前回からの増減	+5	(今月の数値	44)
集出荷	: 前回からの増減	▲5	(今月の数値	30)
卸	: 前回からの増減	▲2	(今月の数値	45)
小売等	: 前回からの増減	+7	(今月の数値	50)

③-ア-a 貴社の"今月"の主食用米の"在庫量"について、"先月と比較"するといかがですか。



③-ア-b 貴社の"今月"の主食用米の"在庫量"は、"前年同月と比較"するといかがですか。



(イ) 来月の在庫量に関する見通し D I

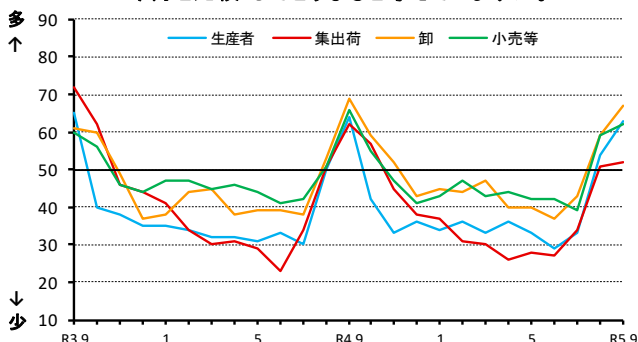
a. 今月との比較

生産者	: 前回からの増減	+9	(今月の数値	63)
集出荷	: 前回からの増減	+1	(今月の数値	52)
卸	: 前回からの増減	+8	(今月の数値	67)
小売等	: 前回からの増減	+3	(今月の数値	62)

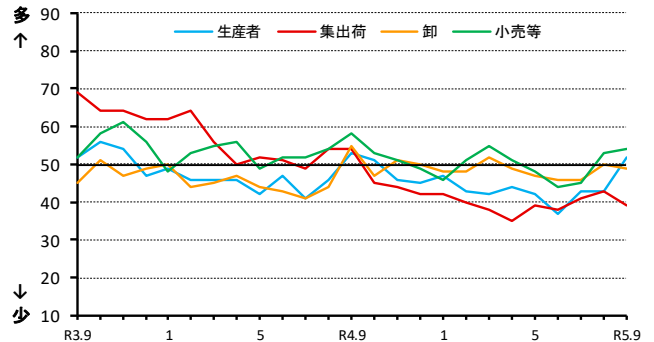
b. 前年同月との比較

生産者	: 前回からの増減	+9	(今月の数値	52)
集出荷	: 前回からの増減	▲4	(今月の数値	39)
卸	: 前回からの増減	▲1	(今月の数値	49)
小売等	: 前回からの増減	+1	(今月の数値	54)

③-イ-a 貴社の"来月"の主食用米の"在庫量"について、"今月と比較"してどうなると考えていますか。



③-イ-b 貴社の"来月"の主食用米の"在庫量"について、"前年同月と比較"してどうなると考えていますか。



取引関係者が1の①及び②の判断を行うに当たり、主に考慮した要因

	作柄	国内の在庫水準	国の政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他
R3.9	5%	41%	3%	38%	7%	5%	1%
R3.10	5%	37%	7%	37%	7%	7%	0%
R3.11	5%	30%	5%	42%	9%	8%	0%
R3.12	2%	36%	2%	37%	15%	7%	0%
R4.1	1%	31%	4%	38%	17%	8%	2%
R4.2	1%	33%	3%	34%	24%	3%	2%
R4.3	1%	35%	3%	35%	21%	5%	1%
R4.4	1%	33%	2%	37%	17%	7%	2%
R4.5	2%	29%	4%	39%	15%	9%	1%
R4.6	1%	34%	9%	36%	12%	6%	2%
R4.7	3%	32%	9%	36%	11%	6%	4%
R4.8	7%	24%	8%	39%	10%	6%	7%
R4.9	8%	23%	8%	42%	10%	6%	3%
R4.10	17%	19%	6%	39%	10%	6%	3%
R4.11	12%	18%	4%	42%	14%	8%	1%
R4.12	12%	23%	3%	44%	11%	6%	1%
R5.1	5%	28%	4%	42%	14%	6%	1%
R5.2	2%	25%	5%	45%	16%	5%	1%
R5.3	1%	29%	3%	41%	16%	8%	1%
R5.4	1%	27%	4%	44%	14%	9%	1%
R5.5	2%	28%	3%	37%	22%	6%	2%
R5.6	1%	30%	3%	45%	12%	8%	1%
R5.7	3%	30%	1%	48%	14%	3%	1%
R5.8	11%	26%	3%	44%	8%	3%	5%
R5.9	20%	18%	1%	44%	9%	5%	2%

《アンケート方法等》

- 調査期間：毎月1日から25日までの取引状況を踏まえて回答
- 調査方法：電子メールを利用したアンケート調査
- 調査対象者：全国の生産者、集出荷業者、卸・小売業者等の180客体

※ 米取引関係者の動向をより適切に反映したものとなるよう、
本年1月にアンケート対象事業者の拡充及び一部入替を行いました。

○有効回答数：150客体

- 生産者・・・・・・・・・・・・・・・・・・31
- 集出荷業者／団体・・・・・・・・・・26
- 卸売業者（主に主食用米）・・・・28
- 小売業者／中食・外食業者・・・・50
- その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・15

※「その他」は以下の業者です。
・米穀の販売の事業を行う者のうち、主に加工原材料の卸売の事業を行う者
・加工原材料米穀を使用し、加工食品（酒類を含む）を製造・販売する者

○結果公表：翌月上旬（公表日時は半期ごとにホームページに掲載）

《利用上の注意》

○表示単位未満の端数は四捨五入したため、合計と内訳が一致しないことがあります。

《D I の算出方法》

米の需給動向・価格水準などに関する現状、または先行きに対する5段階の判断（評価）にそれぞれ点数（評価点）を与え、これらを各回答区分の構成比（%）に乗じてD I を算出します。

ただし、D I の推移は、変化の方向性を示すものであり、その変化の大きさ（量感）を表すものではありません。例えば、大幅であろうが小幅であろうが、上昇するといった見方をする者の構成比が同じであれば、同じD I が観測されることに注意が必要です。

（D I の算出例）

問：国内の主食用米の“向こう3ヶ月の米価水準”について、“現時点と比較”してどうなると考えていますか。

	高くなる	やや高くなる	同程度	やや低くなる	低くなる
評価点(A)	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0
構成比(B)	17.8	20.0	20.0	22.2	20.0
各DI(C=A×B)	17.8	15	10	5.6	0
DI(合計)	48.4				

3 米の契約・販売情報

1 令和4年産米の産地別契約・販売状況

(累計、うるち米、令和5年8月末現在) (速報)

集荷・契約・販売数量(北海道から静岡まで)

(単位:千玄米トン)

	作況 指数	集荷数量 ①	契約数量 ②	契約 比率 ②/①	販売数量 ③	販売 比率 ③/①	参考: 前年同月比 (3年産の同時期との比較)		
							集荷数量	契約数量	販売数量
北海道	106	312.1	307.9	99%	257.1	82%	85%	87%	90%
ななつぼし		143.7	142.4	99%	123.6	86%	82%	82%	81%
ゆめびりか		94.6	92.3	98%	78.3	83%	102%	109%	115%
きらら397		21.5	21.2	99%	12.5	58%	63%	64%	76%
青森	99	112.0	109.0	97%	81.9	73%	91%	93%	84%
まっしぐら		84.9	82.8	97%	58.5	69%	88%	90%	80%
つがるロマン		13.5	12.8	95%	11.6	86%	88%	87%	86%
岩手	99	112.9	109.7	97%	79.0	70%	85%	85%	99%
ひとめぼれ		86.0	83.2	97%	61.7	72%	84%	83%	97%
あきたこまち		11.2	11.2	100%	6.1	54%	78%	78%	108%
銀河のしずく		9.0	8.6	96%	6.5	73%	124%	121%	114%
宮城	100	154.4	151.6	98%	98.7	64%	85%	85%	87%
ひとめぼれ		118.8	117.3	99%	73.0	61%	85%	84%	87%
つや姫		13.6	13.5	99%	10.6	78%	93%	92%	86%
ササニシキ		9.1	9.0	99%	6.5	72%	92%	92%	95%
秋田	95	233.0	232.0	100%	203.9	88%	86%	87%	94%
あきたこまち		196.3	195.3	99%	177.0	90%	88%	88%	94%
めんこいな		6.6	6.5	100%	5.0	76%	59%	60%	81%
ひとめぼれ		17.7	17.7	100%	12.3	69%	84%	84%	116%
山形	99	194.6	185.2	95%	149.5	77%	92%	92%	96%
はえぬき		107.3	102.4	95%	77.3	72%	89%	89%	95%
つや姫		43.2	42.5	98%	38.4	89%	98%	98%	98%
雪若丸		21.3	18.4	86%	14.5	68%	105%	102%	107%
福島	100	117.3	119.0	101%	79.4	68%	91%	93%	94%
コシヒカリ中通り		37.0	36.1	98%	28.9	78%	93%	90%	92%
コシヒカリ会津		29.8	33.5	112%	15.8	53%	96%	102%	116%
コシヒカリ浜通り		4.8	4.9	102%	3.2	66%	96%	93%	94%
ひとめぼれ		21.3	21.9	103%	14.4	68%	88%	90%	87%
天のつぶ		13.2	12.8	97%	8.7	66%	73%	73%	69%
茨城	101	79.6	79.6	100%	67.4	85%	97%	97%	103%
コシヒカリ		58.4	58.4	100%	48.7	83%	98%	98%	110%
あきたこまち		9.5	9.5	100%	8.9	94%	88%	86%	84%
ふくまる		3.4	3.4	100%	2.4	71%
栃木	97	103.8	96.1	93%	71.2	69%	81%	80%	88%
コシヒカリ		83.2	77.9	94%	56.9	68%	88%	87%	98%
とちぎの星		9.7	8.8	91%	6.9	71%	51%	49%	51%
あさひの夢		3.8	3.1	81%	1.7	45%	55%	48%	47%
群馬	101	18.9	18.2	97%	13.3	70%	102%	98%	108%
あさひの夢		13.3	13.1	99%	10.0	75%	108%	106%	120%
ゆめまつり		2.9	2.6	90%	1.3	45%	81%	73%	64%
埼玉	101	20.1	19.6	97%	14.6	73%	86%	86%	97%
彩のかがやき		7.6	7.3	96%	5.6	74%	88%	87%	81%
彩のきずな		6.3	6.1	98%	3.9	61%	86%	85%	105%
コシヒカリ		3.9	3.8	98%	2.9	75%	76%	76%	118%
千葉	100	59.9	60.9	102%	59.6	100%	86%	87%	87%
コシヒカリ		32.5	33.3	103%	32.4	100%	93%	95%	94%
ふさこがね		9.6	9.6	100%	9.4	98%	65%	64%	64%
ふさおとめ		11.0	11.0	100%	11.0	100%	84%	82%	84%
東京	102	0.0	0.0	100%	0.0	100%	100%	100%	100%
神奈川	101	2.7	2.3	86%	2.3	86%	121%	125%	125%
山梨	97	5.5	4.2	76%	4.2	76%	106%	100%	100%
コシヒカリ		4.8	3.6	75%	3.6	75%	107%	99%	99%
長野	98	64.7	64.2	99%	41.6	64%	99%	99%	97%
コシヒカリ		51.7	51.2	99%	32.4	63%	99%	99%	97%
あきたこまち		6.8	6.7	99%	4.6	67%	103%	102%	94%
静岡	98	7.6	7.6	100%	7.6	100%	115%	115%	115%
コシヒカリ		4.2	4.2	100%	4.2	100%	111%	111%	111%
きぬむすめ		1.5	1.5	100%	1.5	100%	120%	120%	120%
あいちのかおり		1.0	1.0	100%	1.0	100%	112%	112%	112%

注: 本表の注意点は次々頁の脚注を参照

集荷・契約・販売数量(新潟から広島まで)

(単位:千玄米ト)

	作況 指数	集荷数量 ①	契約数量 ②	契約 比率 ②/①	販売数量 ③	販売 比率 ③/①	参考: 前年同月比 (3年産の同時期との比較)		
							集荷数量	契約数量	販売数量
新潟	99	270.9	268.2	99%	224.2	83%	99%	99%	94%
コシヒカリ一般		138.6	137.3	99%	109.5	79%	101%	101%	90%
コシヒカリ魚沼		29.9	29.2	98%	26.1	87%	100%	100%	96%
コシヒカリ佐渡		14.7	14.6	100%	11.2	77%	105%	105%	92%
コシヒカリ岩船		10.7	10.7	100%	9.3	88%	97%	97%	98%
こしいぶき		37.8	37.5	99%	33.6	89%	89%	89%	93%
富山	101	85.4	84.9	100%	64.3	75%	98%	98%	96%
コシヒカリ		61.7	61.4	100%	49.6	81%	101%	100%	100%
てんたかく		7.6	7.6	99%	5.5	72%	92%	91%	79%
石川	101	32.9	32.9	100%	23.1	70%	90%	90%	110%
コシヒカリ		17.2	17.2	100%	12.1	71%	94%	94%	121%
ゆめみづほ		4.7	4.7	100%	2.3	49%	59%	59%	56%
福井	99	52.6	52.9	101%	44.6	85%	94%	95%	100%
コシヒカリ		21.2	21.0	99%	17.4	82%	103%	102%	105%
ハナエチゼン		14.8	14.8	100%	14.1	95%	86%	86%	101%
あきさかり		5.2	5.1	97%	4.0	77%	103%	100%	93%
岐阜	100	23.6	23.3	99%	17.5	74%	106%	104%	112%
ハツシモ		11.5	11.3	99%	7.0	61%	108%	102%	118%
コシヒカリ		5.3	5.2	97%	4.3	81%	104%	103%	100%
ほしじるし		3.0	3.0	100%	2.9	96%
愛知	100	37.1	37.1	100%	30.6	82%	100%	100%	104%
あいちのかおり		19.8	19.8	100%	15.4	78%	96%	96%	100%
コシヒカリ		10.6	10.6	100%	9.8	93%	99%	99%	103%
大地の風		1.3	1.3	100%	0.9	65%	102%	102%	97%
三重	102	26.7	28.4	106%	25.0	93%	98%	104%	106%
コシヒカリ一般		13.0	14.7	113%	12.6	97%	98%	111%	110%
コシヒカリ伊賀		6.5	6.5	100%	5.7	89%	105%	105%	110%
キヌヒカリ		1.7	1.7	100%	1.5	88%	79%	79%	73%
滋賀	101	58.9	58.2	99%	50.7	86%	100%	99%	106%
コシヒカリ		20.3	20.3	100%	18.3	90%	101%	102%	110%
キヌヒカリ		10.7	10.5	98%	9.1	84%	98%	97%	102%
みずかがみ		11.5	11.4	99%	11.3	98%	100%	100%	114%
京都	101	9.5	9.0	95%	8.3	88%	105%	100%	103%
コシヒカリ		5.2	4.4	84%	4.8	93%	94%	79%	91%
キヌヒカリ		1.5	1.8	119%	1.4	91%	94%	112%	99%
ヒノヒカリ		1.5	1.5	99%	1.3	83%	156%	154%	164%
大阪	102	-	-	-	-	-
兵庫	102	44.7	43.7	98%	35.1	78%	111%	111%	115%
コシヒカリ		15.2	14.9	98%	13.6	89%	124%	123%	119%
ヒノヒカリ		5.7	4.9	85%	4.0	71%	113%	104%	117%
キヌヒカリ		4.5	4.1	92%	3.3	74%	113%	107%	106%
奈良	102	10.8	7.6	70%	7.6	70%	120%	122%	122%
ヒノヒカリ		9.1	6.4	71%	6.4	71%	118%	121%	121%
和歌山	105	1.8	1.8	100%	1.8	100%	218%	218%	218%
鳥取	100	29.9	30.7	103%	26.6	89%	121%	125%	148%
きぬむすめ		10.2	10.8	105%	8.7	85%	115%	124%	185%
コシヒカリ		8.0	8.1	101%	7.5	93%	129%	131%	152%
ひとめぼれ		4.3	4.3	101%	4.1	95%	96%	97%	105%
島根	101	33.2	32.9	99%	27.1	81%	96%	98%	98%
きぬむすめ		13.6	13.5	99%	10.6	78%	95%	96%	104%
コシヒカリ		12.7	12.7	100%	10.9	85%	97%	100%	92%
つや姫		5.3	5.2	97%	4.1	77%	108%	109%	100%
岡山	99	39.8	37.1	93%	30.3	76%	99%	101%	103%
アケボノ		7.5	7.1	96%	4.5	61%	89%	95%	104%
きぬむすめ		7.4	6.4	86%	5.0	68%	107%	113%	111%
コシヒカリ		7.2	6.9	95%	6.7	92%	108%	105%	103%
広島	101	33.6	39.5	118%	27.4	82%	106%	107%	116%
コシヒカリ		13.3	16.3	123%	11.4	86%	104%	96%	107%
あきさかり		7.3	8.8	121%	5.7	79%	99%	93%	125%
あきろまん		3.1	4.0	130%	2.8	91%	102%	140%	135%

注: 本表の注意点は次頁の脚注を参照

集荷・契約・販売数量(山口から沖縄まで、全国計)

(単位:千玄米トン)

	作況 指数	集荷数量 ①	契約数量 ②	契約 比率 ②/①	販売数量 ③	販売 比率 ③/①	参考:前年同月比 (3年産の同時期との比較)		
							集荷数量	契約数量	販売数量
山口	105	42.0	40.6	97%	33.3	79%	97%	99%	110%
コシヒカリ		11.3	11.1	98%	9.5	84%	110%	112%	114%
ひとめぼれ		9.9	9.4	95%	7.9	79%	103%	101%	121%
ヒノヒカリ		6.0	5.9	98%	4.6	77%	80%	85%	101%
徳島	102	5.7	5.7	100%	5.5	96%	98%	98%	105%
コシヒカリ		2.3	2.3	100%	2.1	91%	103%	103%	103%
あきさかり		2.8	2.8	100%	2.8	99%	94%	94%	107%
香川	103	21.0	23.4	111%	17.8	85%	99%	111%	115%
コシヒカリ		6.1	6.5	106%	5.4	90%	96%	103%	103%
ヒノヒカリ		5.8	6.6	113%	5.1	87%	95%	108%	126%
おいでまい		3.9	4.5	117%	3.3	86%	97%	114%	111%
愛媛	104	12.6	12.5	99%	9.0	71%	115%	113%	112%
コシヒカリ		4.3	4.3	100%	3.8	89%	116%	117%	119%
ヒノヒカリ		2.2	2.2	98%	1.5	67%	100%	98%	121%
あきたこまち		1.5	1.4	98%	1.0	66%	127%	120%	120%
高知	100	9.6	9.5	99%	9.5	99%	97%	85%	99%
コシヒカリ		6.5	6.5	100%	6.5	100%	96%	81%	96%
ヒノヒカリ		1.3	1.3	100%	1.3	100%	93%	105%	105%
福岡	100	51.9	51.3	99%	41.9	81%	104%	105%	116%
夢つくし		17.7	17.6	99%	15.6	88%	115%	115%	123%
ヒノヒカリ		12.7	12.6	100%	9.7	76%	95%	95%	107%
元気つくし		16.7	16.3	98%	13.4	80%	108%	110%	121%
佐賀	98	33.1	32.8	99%	23.3	70%	88%	100%	97%
さがびより		12.9	12.9	100%	7.7	59%	95%	109%	112%
夢しずく		11.4	11.4	100%	8.6	76%	95%	106%	102%
ヒノヒカリ		5.6	5.6	100%	4.0	72%	68%	84%	70%
長崎	95	8.9	9.1	103%	7.1	80%	86%	87%	111%
にこまる		3.4	3.5	103%	2.8	81%	81%	83%	110%
ヒノヒカリ		1.4	1.3	99%	1.1	78%	76%	68%	92%
なつほのか		2.2	2.5	112%	1.7	78%
熊本	96	30.3	26.2	87%	26.2	87%	87%	106%	106%
ヒノヒカリ		11.9	10.3	86%	10.3	86%	86%	107%	107%
森のくまさん		4.4	4.0	91%	4.0	91%	79%	92%	92%
コシヒカリ		5.7	5.0	88%	5.0	88%	90%	111%	111%
大分	99	15.1	16.1	106%	12.0	79%	101%	108%	129%
ヒノヒカリ		6.9	7.1	103%	5.3	76%	82%	84%	106%
ひとめぼれ		2.2	2.2	100%	1.9	87%	106%	106%	138%
つや姫		2.2	2.2	100%	2.0	87%	106%	106%	117%
宮崎	98	12.6	12.3	97%	12.2	96%	102%	99%	115%
コシヒカリ		5.6	5.6	100%	5.6	100%	96%	96%	96%
ヒノヒカリ		5.3	4.9	93%	4.9	93%	94%	88%	124%
鹿児島	98	15.5	15.5	100%	13.6	88%	109%	109%	114%
ヒノヒカリ		6.6	6.6	100%	5.8	88%	133%	133%	153%
あきほなみ		3.3	3.3	100%	2.3	71%	106%	106%	109%
コシヒカリ		2.8	2.8	100%	2.8	100%	84%	84%	84%
沖縄	97	1.2	1.2	100%	1.2	100%	91%	91%	92%
全国①	100	2,733	2,695	99%	2,171	79%	93%	94%	97%
参考	前年同月(3年産)②	2,944	2,874	98%	2,228	76%			
	前年同月差(①-②)	▲211	▲179	+1%	▲57	+3%			

資料: 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注: 1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体(年間の玄米仕入数量が5,000トン以上)、出荷業者(年間の直接販売数量が5,000トン以上)である。

2 報告対象米穀は、水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米(醸造用玄米を含む。)である。

3 集荷数量は、報告対象業者が自ら販売するために集荷した数量である。

4 契約数量は、報告対象業者が自ら販売するために契約を締結(確認書等により数量のみが決定した契約を含む。)した数量である。

5 販売数量は、集荷数量のうち契約のあと実際に卸売業者等に引き取られた数量である。

6 銘柄ごとの集荷数量、契約数量、販売数量は、当該産地の内数として掲載している。

7 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

8 「-」は、集荷数量、契約数量、販売数量に該当がないものである。

9 「参考:前年同月比」で、令和4年産又は令和3年産の同時期に数量がなかった場合は、「…」としている。

2 政府備蓄米の都道府県別買入数量、優先枠及び買入入札の結果（令和5年産）

令和5年産

（単位：トン）

買入対象米穀 の産地	都道府県別 優先枠	買入入札の結果							落札合計数量
		第1回 (R5.1.24)	第2回 (R5.2.14)	第3回 (R5.3.7)	第4回 (R5.3.28)	第5回 (R5.4.18)	第6回 (R5.5.23)	第7回 (R5.6.27)	
北海道	2,162	0	2,162	0					2,162
青森	27,259	27,259	0	0					27,259
岩手	3,488	350	3,138	0					3,488
宮城	11,600	0	11,600	0					11,600
秋田	21,572	21,572	0	0					21,572
山形	21,291	19,999	592	10					20,601
福島	27,050	2,320	19,665	2,788					24,773
茨城	1,103	500	435	0					935
栃木	7,602	6,123	0	0					6,123
群馬	555	0	0	0					0
埼玉	463	0	0	0					0
千葉	3,985	0	514	96					610
東京									
神奈川									
新潟	25,149	886	24,209	14					25,109
富山	12,197	0	12,197	0					12,197
石川	7,849	847	7,002	0					7,849
福井	4,076	2,700	1,200	0					3,900
山梨									
長野	1,446	0	346	263					609
岐阜	435	0	0	435					435
静岡	20	0	20	0					20
愛知	846	0	846	0					846
三重	270	0	270	0					270
滋賀	1,342	400	942	0					1,342
京都									
大阪									
兵庫									
奈良									
和歌山									
鳥取	400	0	0	400					400
島根	130	0	130	0					130
岡山	977	711	135	0					846
広島	20	0	20	0					20
山口									
徳島	1,182	450	480	0					930
香川									
愛媛									
高知	10	0	10	0					10
福岡	264	0	0	54					54
佐賀	220	0	100	120					220
長崎	10	0	0	0					0
熊本	247	0	247	0					247
大分	94	0	94	0					94
宮崎									
鹿児島									
沖縄									
都道府県別枠計	185,314	84,117	86,354	4,180	0	0	0	0	174,651
指定なし	22,686	9,012	8,441	3,433	1,365	2,015	122	2,686	27,074
合 計	208,000	93,129	94,795	7,613	1,365	2,015	122	2,686	201,725
うちCPTPP分									8,000

令和5年産国内産米穀の政府買入れは、農林水産省ホームページの次のURLからご覧いただけます。
<https://www.maff.go.jp/j/seisan/syoryu/kaiire/index.html>

4 消費の動向

1 米の消費動向（米穀機構による調査）

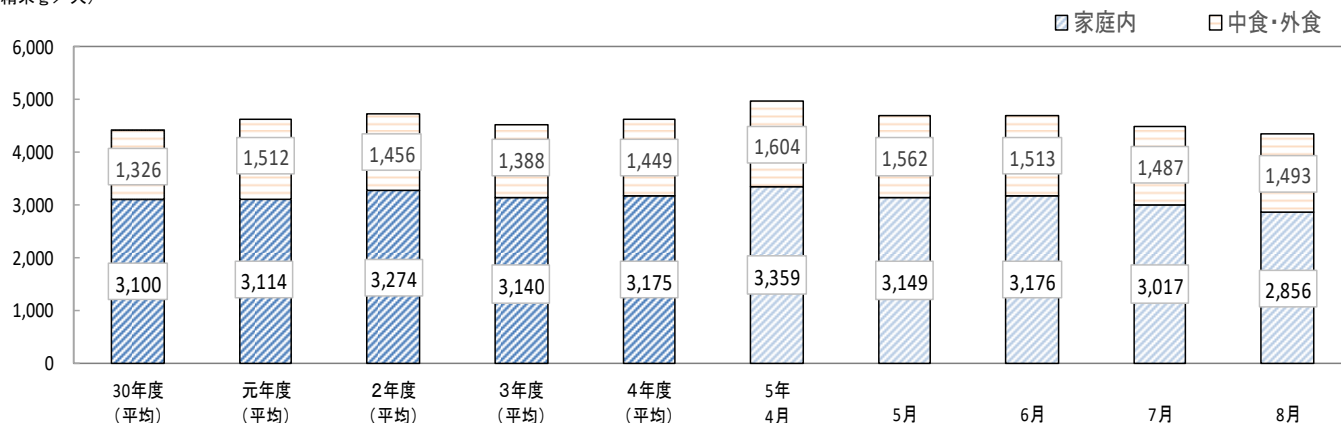
調査結果の概要につきましては、米穀安定供給確保支援機構の、以下のURLから御覧いただけます。
 【 <https://www.komenet.jp/> 】

○ 本調査は、調査実施機関（(株)マクロミル）のモニターの中から、本調査への協力の意向を示した消費世帯を対象としている（インターネット調査）。

- 米穀機構が公表している「米の消費動向調査」（令和5年8月分）によると、1人1ヵ月当たりの精米消費量は、対前年同月比▲2.0%。
- このうち、家庭内での消費量は対前年同月比▲6.5%、中食・外食では+7.7%。

（1）1人1ヵ月当たり精米消費量

（精米g/人）



（精米g/人、%）

	精米消費量 (g)					内訳比率 (%)					前年同月比 (%)				
	合計	家庭内		中・外食		合計	家庭内		中・外食		合計	家庭内		中・外食	
		中食	外食	中食	外食		中食	外食	中食	外食					
平成30年度	4,426	3,100	1,326	782	544	100.0	70.0	30.0	17.7	12.3	▲3.8	▲5.0	▲1.1	0.6	▲3.5
令和元年度	4,626	3,114	1,512	885	627	100.0	67.3	32.7	19.1	13.6	4.5	0.5	14.0	13.1	15.3
2年度	4,730	3,274	1,456	954	502	100.0	69.2	30.8	20.2	10.6	2.2	5.1	▲3.7	7.8	▲19.9
3年度	4,529	3,140	1,388	906	482	100.0	69.3	30.6	20.0	10.6	▲4.2	▲4.1	▲4.7	▲5.0	▲4.0
4年度	4,625	3,175	1,449	918	531	100.0	68.6	31.3	19.8	11.5	2.1	1.1	4.4	1.3	10.2
令和5年 4月	4,962	3,359	1,604	1,013	591	100.0	67.7	32.3	20.4	11.9	1.7	▲0.3	6.4	5.3	8.4
5月	4,710	3,149	1,562	987	575	100.0	66.9	33.2	21.0	12.2	0.9	▲1.8	7.1	6.0	8.9
6月	4,689	3,176	1,513	927	586	100.0	67.7	32.3	19.8	12.5	2.1	0.6	5.3	1.8	11.4
7月	4,504	3,017	1,487	952	535	100.0	67.0	33.0	21.1	11.9	2.2	▲0.5	8.1	6.7	10.5
8月	4,349	2,856	1,493	924	569	100.0	65.7	34.3	21.2	13.1	▲2.0	▲6.5	7.7	5.7	11.1

出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」

注1：令和5年8月分の有効調査世帯数は1,675世帯。

注2：平成30～令和4年度は各年4月から翌年3月までの平均値である。

注3：調査対象世帯の入れ替えや補充による調査結果の補正は行っていないため、調査結果の経年比較等の際には、留意が必要である。

注4：家庭内消費量については、調査当月の月初と月末の精米在庫量及び精米購入数量から把握、中食・外食の消費量については、調査当月の家庭炊飯以外で食べた米飯の数量から推計。

注5：集計に際しては、地域毎に世帯人員構成比が平成30～令和3年度はH27国勢調査、令和4・5年度はR2国勢調査「世帯人員構成比」に沿うよう調整した上で推計。

注6：四捨五入の関係で合計と内訳が合わない場合がある。

- ・ 精米購入時の動向について、入手経路は「スーパーマーケット」が最も多く、次いで「家族・知人などから無償で入手」、「インターネットショップ」の順となっている。
- ・ 精米購入経路別の購入単価は、「デパート」が最も高く、次いで、「米穀専門店」、「インターネットショップ」の順となっている※。
※購入割合が有効調査世帯数の1%に満たない精米購入経路を除いた順である。
- ・ 令和5年8月の家庭内の月末在庫数量は、5.8kgとなっている。

(2) 精米購入時の動向

(ア) 入手経路(複数回答)

(%)

	デパート	スーパーマーケット	ドラッグストア	ディスカウントストア	コンビニエンスストア	生協(店舗・共同購入含む)	農協(店舗・共同購入含む)	米穀専門店	産地直売所	生産者から直接購入	インターネットショップ	家族・知人などから無償で入手	その他	有効調査世帯数
平成30年度	1.4	52.7	4.8	2.8	0.2	6.5	1.2	2.7	2.2	6.0	9.8	14.8	2.3	-
令和元年度	1.0	50.1	5.9	3.2	0.2	5.9	1.3	2.4	1.0	5.9	8.1	17.8	3.4	-
令和2年度	1.5	49.8	5.7	3.9	0.3	7.0	1.1	2.4	1.1	5.0	9.7	15.2	4.1	-
令和3年度	1.6	50.5	6.6	3.9	0.2	6.3	0.8	2.3	1.2	5.5	8.6	15.0	4.3	-
令和4年度	1.2	50.1	5.5	4.8	0.4	6.0	1.0	2.3	1.4	4.6	8.9	15.3	4.4	-
令和5年4月	1.6	50.2	7.1	4.3	0.5	5.8	1.0	2.0	2.3	6.0	7.8	14.4	4.4	1,192
5月	1.9	48.4	7.7	4.3	1.0	5.9	1.5	2.6	1.6	4.8	9.7	14.5	4.8	1,194
6月	1.9	49.9	7.1	4.8	0.5	6.0	0.8	2.5	2.0	4.6	9.1	12.2	5.4	1,145
7月	1.2	50.7	6.0	5.7	0.1	6.3	1.0	2.8	1.3	4.4	8.0	14.5	3.7	1,066
8月	1.3	52.2	6.2	4.6	0.3	5.4	0.7	2.5	1.7	4.5	8.5	14.4	3.0	975

注：平成30～令和4年度は各年4月から翌年3月までの平均値。

(イ) 精米購入経路別の購入単価(複数回答)

(円/kg)

	デパート	スーパーマーケット	ドラッグストア	ディスカウントストア	コンビニエンスストア	生協(店舗・共同購入含む)	農協(店舗・共同購入含む)	米穀専門店	産地直売所	生産者から直接購入	インターネットショップ	有効調査世帯数
令和2年度	533	400	375	347	※547	434	397	477	415	358	492	-
令和3年度	541	373	357	315	※612	412	※417	485	451	358	471	-
令和4年度	505	371	328	313	※466	395	393	468	424	347	437	-
令和5年4月	436	388	340	322	※479	461	377	475	407	301	468	2,139
5月	492	396	324	326	690	399	401	502	384	353	504	1,976
6月	410	388	352	309	※655	413	※375	527	391	338	523	1,851
7月	459	393	330	297	※352	381	334	465	420	333	537	1,748
8月	512	402	327	308	※365	376	※512	509	356	336	482	1,675

- 注：1 デパート、スーパーマーケット、生協は、実店舗の購入単価であり、インターネットを利用した購入は含まない。
 2 購入単価は消費税を除く本体価格である。
 3 表中の※付きの単価は、当該経路での購入割合が有効調査世帯数の1%に満たないため参考値とする。
 4 令和2～4年度は4月から翌年3月までの平均値である。

(ウ) 家庭内の月末在庫数量

(kg/世帯、%)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年比
平成 30年度	月末在庫数量	6.4	6.3	6.0	5.8	6.1	6.5	6.6	6.9	7.2	6.6	6.4	6.4	6.4	0.0
	平均世帯人員	2.32	2.32	2.32	2.33	2.33	2.33	2.32	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	-
令和 元年度	月末在庫数量	6.0	6.2	5.9	5.7	6.0	6.2	6.2	6.5	6.6	6.3	6.3	6.5	6.2	▲3.1
	平均世帯人員	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.33	-
2年度	月末在庫数量	7.1	6.5	6.6	6.2	6.0	6.3	6.4	6.8	6.7	6.6	6.5	6.4	6.5	4.8
	平均世帯人員	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	-
3年度	月末在庫数量	6.2	6.1	5.8	5.8	5.7	6.2	6.9	7.1	6.9	6.8	6.8	6.7	6.4	▲1.5
	平均世帯人員	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.32	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.33	-
4年度	月末在庫数量	6.6	6.6	6.4	6.5	6.4	6.3	6.6	6.8	7.0	6.8	6.5	6.6	6.6	3.1
	平均世帯人員	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	2.22	2.22	2.22	2.22	2.22	2.22	2.22	-
5年度	月末在庫数量	6.0	6.1	6.1	6.0	5.8								6.0	▲9.1
	平均世帯人員	2.21	2.21	2.21	2.21	2.22								2.21	-

注：1 地域ごとの世帯人員構成比が平成30～令和3年度はH27国勢調査、令和4・5年度はR2国勢調査「世帯人員構成比」に沿うようウェイトバック集計を実施した上で集計した。

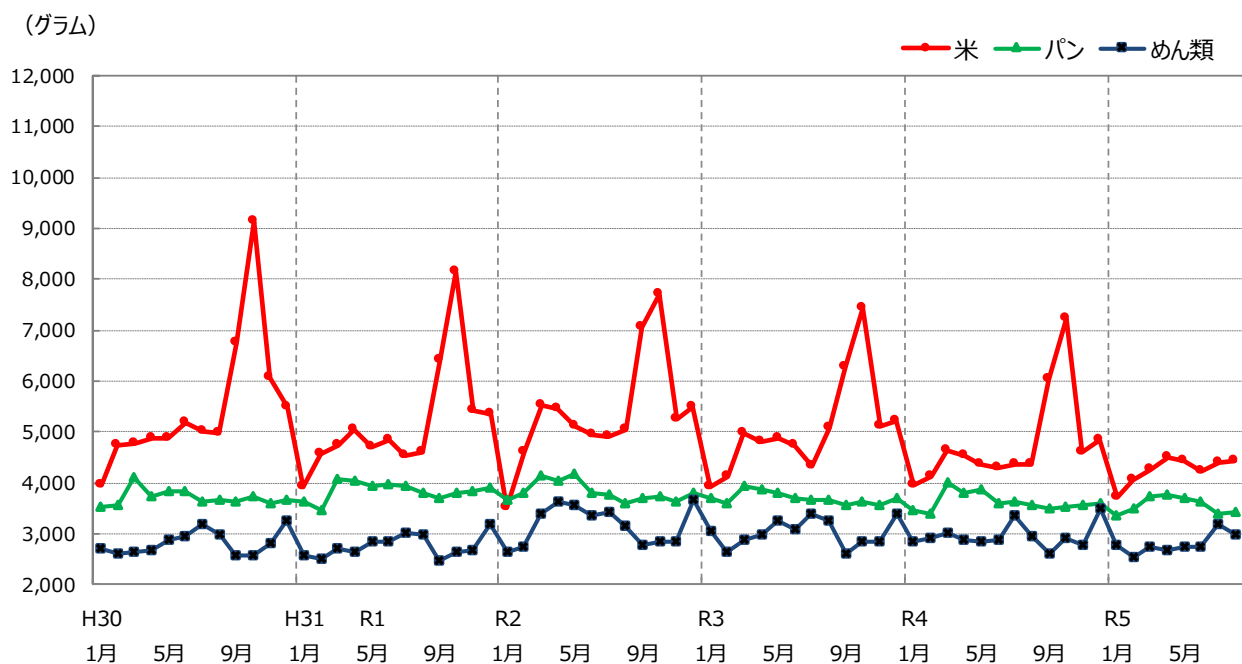
注：2 平均世帯人員は、各月の有効調査世帯の平均人員数である。

2 購入数量・支出金額の推移（家計調査）

家計調査、消費者物価指数、小売物価統計の累年データについては、総務省統計局HPから御覧いただけます。【 <https://www.stat.go.jp/data/index.html> 】

- 総務省が公表している家計調査によると、令和5年8月の米の購入数量は、対前年同月比+2.1%の4.4kg、パンは▲4.3%の3.4kg、めん類は+1.0%の3.0kg。

1 世帯当たり 1 か月間の購入数量の推移



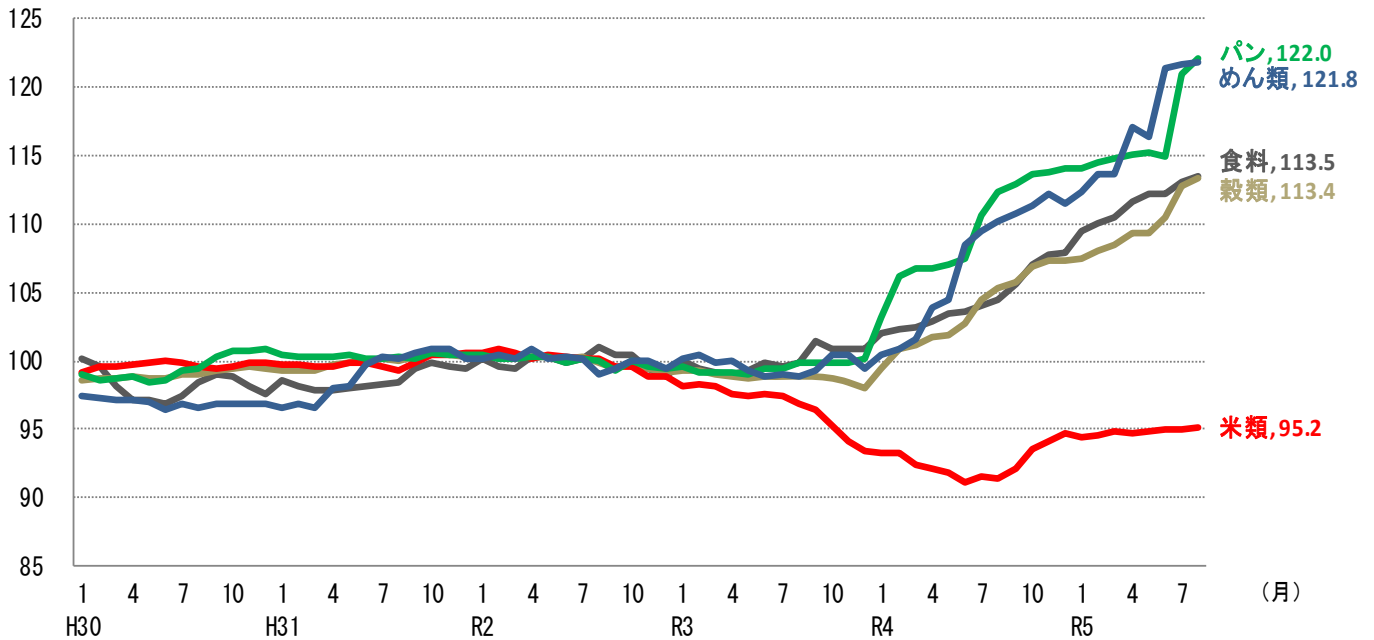
(グラム)

	米		パン		めん類	
	購入数量	前年（同月）比	購入数量	前年（同月）比	購入数量	前年（同月）比
平成30年	65,750	97.7%	44,526	99.3%	33,867	99.8%
令和元年	62,200	94.6%	46,011	103.3%	33,169	97.9%
2年	64,530	103.7%	45,857	99.7%	38,021	114.6%
3年	60,800	94.2%	44,345	96.7%	36,208	95.2%
4年	57,380	94.4%	43,571	98.3%	35,557	98.2%
令和5年 1月	3,720	94.2%	3,370	96.9%	2,795	98.0%
2月	4,060	98.1%	3,504	102.8%	2,554	87.3%
3月	4,250	91.4%	3,745	93.5%	2,733	90.7%
4月	4,510	99.3%	3,760	99.1%	2,674	93.1%
5月	4,450	101.6%	3,695	95.2%	2,740	95.8%
6月	4,230	98.8%	3,622	100.2%	2,751	95.2%
7月	4,390	100.9%	3,381	93.0%	3,175	94.1%
8月	4,440	102.1%	3,416	95.7%	2,997	101.0%

資料：総務省「家計調査」家計収支編 二人以上の世帯
注1：米は精米ベースである。

3 消費者物価指数の推移

- 総務省が公表している消費者物価指数（令和2年基準）によると、令和5年8月の米類の指数は対前年同月比 +4.2%の95.2ポイント。



(令和2年=100、指数)

	食料		穀類		米類		うるち米		パン		めん類	
	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	
平成30年 (平均)	98.2	1.4%	99.0	1.6%	99.7	4.7%	99.2	3.3%	99.5	0.7%	96.9	▲0.5%
令和元年 (平均)	98.7	0.5%	99.9	0.9%	99.9	0.2%	100.1	0.9%	100.3	0.8%	99.1	2.3%
2年 (平均)	100.0	1.3%	100.0	0.1%	100.0	0.1%	100.0	▲0.1%	100.0	▲0.3%	100.0	0.9%
3年 (平均)	100.0	0.0%	98.8	▲1.2%	96.8	▲3.2%	96.7	▲3.3%	99.5	▲0.5%	99.7	▲0.3%
4年 (平均)	104.5	4.5%	103.7	5.0%	92.6	▲4.3%	93.3	▲3.5%	109.6	10.2%	107.1	7.4%
令和5年 1月	109.5	7.4%	107.5	8.0%	94.4	1.2%	95.0	1.3%	114.0	10.5%	112.3	11.9%
2月	110.0	7.5%	108.1	7.1%	94.5	1.3%	95.1	1.7%	114.5	7.8%	113.6	12.6%
3月	110.4	7.7%	108.4	7.1%	94.9	2.7%	95.3	1.5%	114.8	7.5%	113.6	11.8%
4月	111.6	8.5%	109.3	7.5%	94.7	2.7%	95.3	2.4%	115.0	7.7%	117.0	12.6%
5月	112.2	8.5%	109.3	7.3%	94.9	3.4%	94.4	2.1%	115.2	7.6%	116.4	11.5%
6月	112.2	8.3%	110.4	7.5%	95.0	4.3%	95.3	3.1%	114.9	7.0%	121.3	11.8%
7月	113.1	8.7%	112.8	8.0%	95.0	3.8%	94.8	2.8%	120.9	9.3%	121.6	11.1%
8月	113.5	8.6%	113.4	7.7%	95.2	4.2%	95.4	3.2%	122.0	8.6%	121.8	10.5%

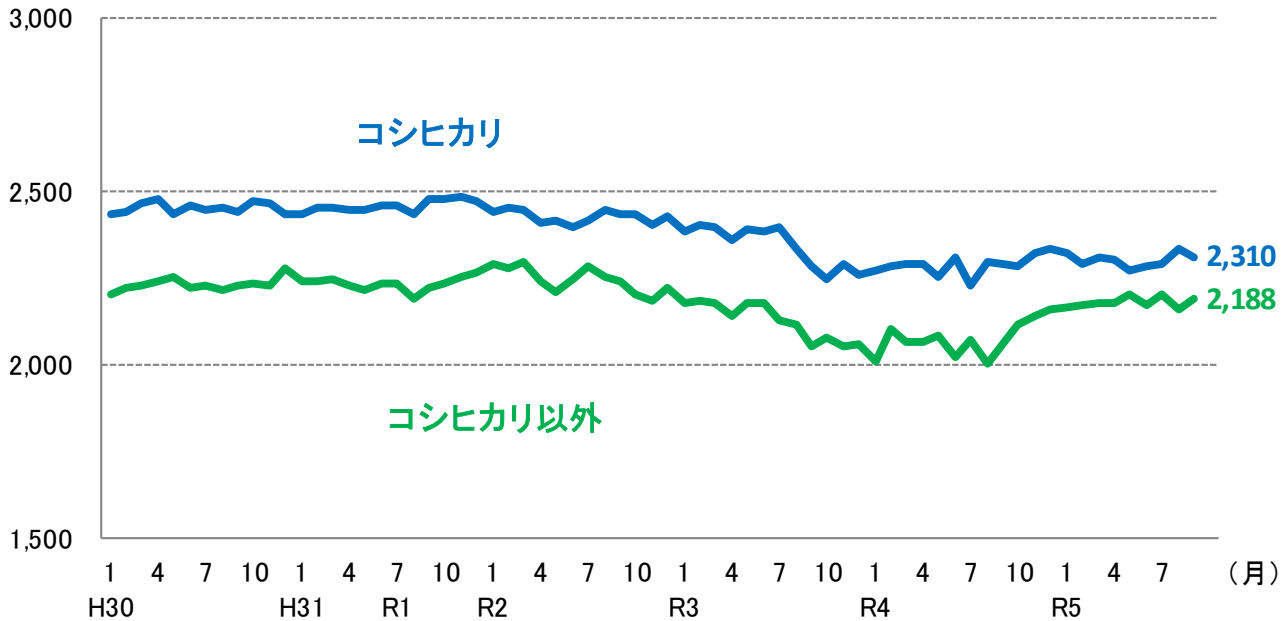
資料：総務省「消費者物価指数」2020年基準、品目別価格指数（全国）

- 注1：食料は、穀類以外にも、魚介類、肉類等を含んでいる。
 注2：穀類は、米類（うるち米、もち米）、パン、めん類、他の穀類からなる。
 注3：平成30年～令和4年のデータは年平均、5年は月次データである。

4 小売物価統計の推移

- 総務省が公表している小売物価統計によると、令和5年9月のうるち米の小売価格（5kg当たり）は、コシヒカリで対前年同月比+0.8%の2,310円。
- コシヒカリ以外の銘柄の平均では、対前年同月比+6.2%の2,188円。

(円/5kg、包装・消費税込み)



(円/5kg、包装・消費税込み)

年平均	H30	R1	R2	R3	R4
コシヒカリ	2,451	2,457	2,426	2,344	2,288
前年比	2.6%	0.2%	▲1.3%	▲3.4%	▲2.4%
コシヒカリ以外	2,232	2,234	2,246	2,127	2,076
前年比	4.7%	0.1%	0.5%	▲5.3%	▲2.4%

月次(令和3年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コシヒカリ	2,382	2,405	2,397	2,358	2,391	2,385	2,398	2,335	2,287	2,248	2,288	2,257
前年同月比	▲2.3%	▲2.0%	▲1.9%	▲2.0%	▲1.0%	▲0.4%	▲0.8%	▲4.6%	▲5.9%	▲7.6%	▲4.9%	▲7.0%
コシヒカリ以外	2,181	2,182	2,176	2,142	2,179	2,175	2,131	2,115	2,055	2,077	2,053	2,059
前年同月比	▲4.7%	▲4.3%	▲5.2%	▲4.4%	▲1.4%	▲3.3%	▲6.7%	▲6.2%	▲8.3%	▲5.8%	▲6.0%	▲7.4%

月次(令和4年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コシヒカリ	2,272	2,287	2,290	2,292	2,253	2,308	2,227	2,294	2,292	2,284	2,323	2,336
前年同月比	▲4.6%	▲4.9%	▲4.5%	▲2.8%	▲5.8%	▲3.2%	▲7.1%	▲1.8%	0.2%	1.6%	1.5%	3.5%
コシヒカリ以外	2,010	2,103	2,068	2,067	2,086	2,020	2,072	2,004	2,061	2,114	2,143	2,161
前年同月比	▲7.8%	▲3.6%	▲5.0%	▲3.5%	▲4.3%	▲7.1%	▲2.8%	▲5.2%	0.3%	1.8%	4.4%	5.0%

月次(令和5年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コシヒカリ	2,319	2,292	2,306	2,303	2,271	2,283	2,289	2,333	2,310			
前年同月比	2.1%	0.2%	0.7%	0.5%	0.8%	▲1.1%	2.8%	1.7%	0.8%			
コシヒカリ以外	2,165	2,169	2,177	2,177	2,201	2,171	2,205	2,162	2,188			
前年同月比	7.7%	3.1%	5.3%	5.3%	5.5%	7.5%	6.4%	7.9%	6.2%			

資料：総務省「小売物価統計」動向編

注：東京都区部における精米価格である（特売分を除く）。

5 米穀販売事業者における販売数量及び販売価格の動向（速報）

- 米穀販売事業者における令和5年8月の販売数量は、対前年同月比で小売事業者向けが104%、中食・外食事業者等向けが106%で、全体としては105%となっている。
- なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、各月ごとの消費動向に大きな変動が生じているが、令和元年8月の販売数量と比較すると102%となる。
- 前年同月を基準にした令和5年8月の販売価格の値動きは、小売事業者向け106.1、中食・外食事業者等向け104.4。

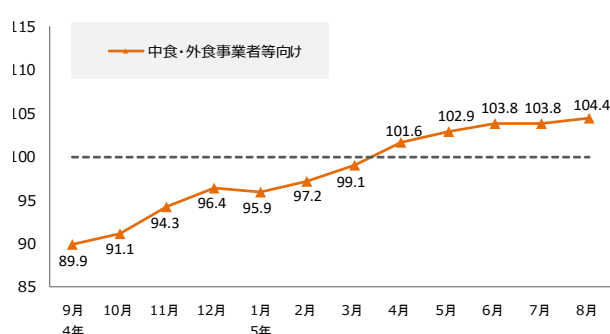
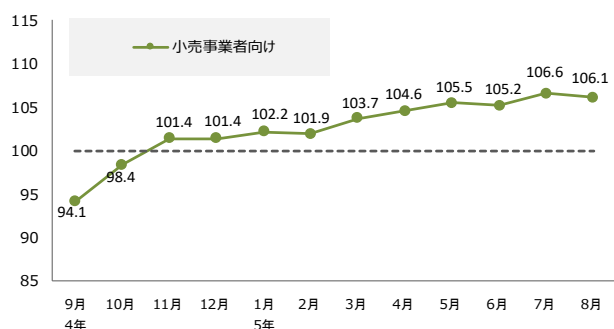
1 販売数量の動向（前年同月比）

	4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	4年1月～12月計
小売事業者向け	97%	95%	99%	99%	97%	100%	96%	98%	97%	98%	100%	102%	98%
(※令和元年との比較)	(105%)	(102%)	(103%)	(100%)	(101%)	(102%)	(98%)	(104%)	(98%)	(97%)	(99%)	(104%)	(101%)
中食・外食事業者等向け	105%	101%	101%	103%	106%	104%	101%	109%	109%	104%	100%	100%	104%
(※令和元年との比較)	(90%)	(88%)	(92%)	(94%)	(93%)	(96%)	(92%)	(93%)	(98%)	(95%)	(94%)	(96%)	(94%)
販売数量計	101%	98%	100%	101%	101%	102%	98%	103%	102%	101%	100%	101%	101%
(※令和元年との比較)	(97%)	(95%)	(98%)	(97%)	(97%)	(99%)	(95%)	(98%)	(98%)	(96%)	(97%)	(100%)	(98%)

	5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	5年1月～12月計
小売事業者向け	100%	101%	98%	101%	107%	100%	102%	104%					
(※令和元年との比較)	(104%)	(103%)	(102%)	(101%)	(108%)	(101%)	(99%)	(107%)					
中食・外食事業者等向け	103%	107%	103%	102%	106%	104%	107%	106%					
(※令和元年との比較)	(93%)	(94%)	(94%)	(95%)	(99%)	(99%)	(97%)	(97%)					
販売数量計	101%	104%	100%	101%	107%	102%	104%	105%					
(※令和元年との比較)	(99%)	(99%)	(98%)	(98%)	(104%)	(101%)	(98%)	(102%)					

※令和2年2月以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、各月ごとの消費動向に大きな変動が生じていることから、参考として令和元年（4月までは平成31年）の同月との比較をした値を記載。

2 販売価格の動向（前年同月の価格を基準にした値動き）



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

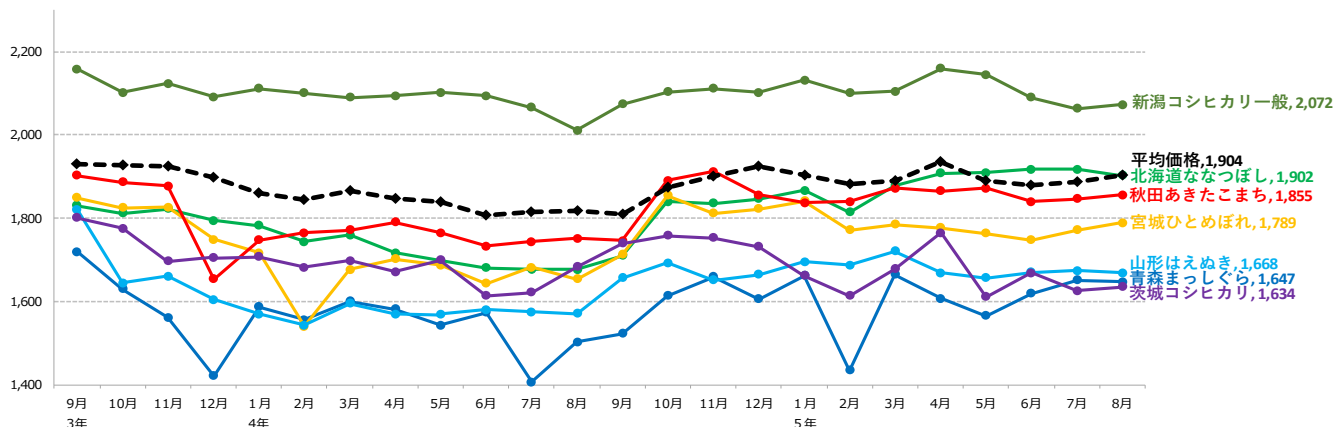
注1：報告対象業者は、年間玄米仕入数量50,000ト以上の販売事業者である。

注2：上記の数値については、報告対象者が販売している精米の全体の価格・数量の動向を指数化したものであり、個別の取引や産地銘柄毎の動向を表すものではない。

注3：速報値であるため、公表後の数値修正が生じる場合がある。

- 令和5年8月の小売価格(POSデータ)の平均価格(5kg当たり)は、対前月差+17円(+0.9%)、対前年同月差+86円(+4.7%)の1,904円。

円/5kg袋販売時換算(税込)



資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

注1：(株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,000店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。

注2：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

注3：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

注4：全POS取引平均価格は、POSデータで把握できる全ての精米の販売について5kg袋販売時に換算した上で加重平均を行った価格である。

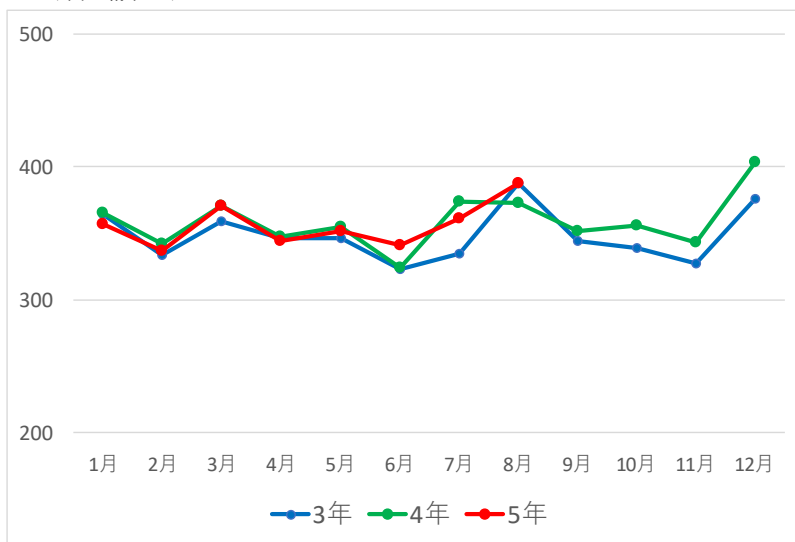
注5：価格に含む消費税は8%である。

【パックご飯の販売数量】

(単位: 精米トン、%)

	3年	4年 ①	5年 ②	対前年 同月比 ②/①
1月	365	366	357	98%
2月	334	342	337	99%
3月	359	371	371	100%
4月	347	348	344	99%
5月	346	355	352	99%
6月	323	324	341	105%
7月	335	374	361	97%
8月	388	373	388	104%
9月	344	352		
10月	339	356		
11月	327	343		
12月	376	404		

(単位: 精米トン)



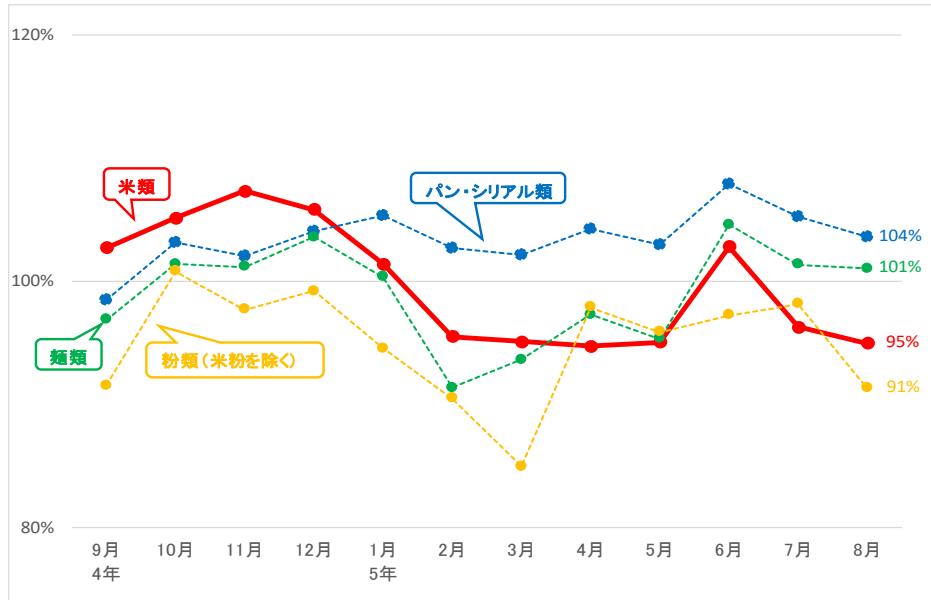
資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

注1：(株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,000店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。

注2：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

注3：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

【 POSデータ 分類別販売個数 対前年同期比 】



分類コード	分類名	主な分類基準	4年9月	10月	11月	12月	5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
米類	米	精米、玄米、もち米	98%	105%	105%	104%	99%	101%	100%	104%	102%	106%	107%	107%
	包装餅	切り餅、板餅	98%	112%	104%	103%	99%	91%	98%	102%	98%	102%	95%	95%
	米飯加工品		112%	112%	118%	125%	111%	103%	97%	99%	107%	98%	94%	94%
	かゆ・雑炊	主にレトルトパウチ等で販売されるおかゆ、雑炊、リゾット	124%	118%	138%	150%	120%	96%	91%	90%	98%	111%	95%	82%
	無菌パック米飯	無菌パック(お米を加熱調理後に無菌包装したもの)で販売される白飯、赤飯、玄米、麦ごはん	109%	111%	111%	118%	107%	108%	102%	107%	103%	113%	104%	105%
	レトルト米飯	レトルト米飯(お米を容器に入れてから炊飯したもの)で販売される白飯、赤飯、玄米、麦ごはん	109%	107%	115%	115%	107%	101%	92%	90%	93%	91%	87%	88%
	冷凍米飯加工品		105%	105%	110%	112%	106%	99%	92%	85%	86%	97%	92%	89%
	冷凍ピラフ、炒飯	炒飯、焼めし、ピラフ、チキンライス、ドライカレー などの米飯群	103%	103%	108%	108%	102%	93%	85%	78%	79%	90%	86%	84%
	冷凍おにぎり	おにぎり、焼きおにぎり	103%	101%	107%	111%	105%	98%	93%	92%	92%	104%	97%	86%
	その他冷凍米飯	白飯、赤飯、おこわ、炊き込みご飯、オムライス、カレーライス	116%	108%	112%	115%	115%	104%	91%	80%	83%	90%	82%	89%
	惣菜		137%	140%	152%	150%	156%	154%	123%	124%	114%	111%	109%	106%
	おにぎり	おにぎり、おにぎりセット、おにぎりとおかずがセットになった弁当	138%	142%	151%	151%	154%	153%	116%	118%	112%	113%	107%	105%
	寿司	にぎり、いなり、ちらし、助六寿司、細巻き、太巻き、巻方巻き	150%	140%	145%	139%	174%	148%	149%	152%	130%	116%	109%	108%
	弁当	幕の内、唐揚げ弁当、のり弁当、駅弁、オムライス、炒飯	121%	134%	162%	149%	147%	181%	125%	124%	113%	106%	118%	109%
パン・シリアル類		99%	103%	102%	104%	105%	103%	102%	104%	103%	108%	105%	104%	
食パン	食パン、クロワッサン、フランスパン	100%	106%	106%	107%	109%	105%	104%	107%	104%	109%	108%	108%	
菓子パン	果物、チョコレート、クリーム・ジャムを使用したパン	100%	104%	101%	103%	103%	101%	99%	103%	103%	106%	103%	102%	
調理パン	サンドウィッチ、カレーパン、ホットドック	93%	98%	99%	102%	106%	103%	107%	103%	103%	112%	105%	100%	
シリアル類	グラノーラ、コーンフレーク	90%	95%	94%	94%	85%	88%	94%	88%	94%	99%	103%	96%	
麺類		97%	101%	104%	100%	91%	94%	94%	97%	95%	105%	101%	101%	
インスタント袋麺	袋入りのインスタントラーメン、そば、うどん	98%	104%	103%	106%	101%	91%	96%	99%	96%	109%	101%	101%	
カップ麺	ラーメン、そば、うどん等の即席麺	98%	99%	99%	102%	98%	87%	92%	99%	97%	110%	103%	103%	
生麺・ゆで麺	生麺、ゆでうどん、中華そば・焼きそば	93%	102%	101%	103%	103%	96%	96%	94%	93%	101%	101%	103%	
スパゲッティ	乾スパゲッティ、ゆでスパゲッティ	94%	99%	104%	108%	98%	90%	88%	103%	98%	103%	105%	100%	
冷凍麺類	冷凍パスタ、そば、うどんなどの麺類	101%	105%	105%	107%	102%	94%	94%	97%	94%	99%	95%	92%	
粉類(米粉を除く)		92%	101%	98%	99%	95%	90%	85%	98%	96%	97%	98%	91%	
小麦粉	強力粉、薄力粉、中力粉	88%	91%	93%	92%	88%	72%	91%	89%	92%	98%	92%	92%	
パン粉	パン粉、生パン粉	92%	97%	98%	99%	98%	96%	92%	101%	98%	96%	94%	88%	
プレミックス	加糖ミックス(ホットケーキなどの素)、お好み焼き粉、たこ焼き粉	93%	111%	101%	104%	96%	90%	90%	101%	99%	102%	101%	93%	
(参考)	味噌	ルータイプの味噌、出し入り味噌	95%	99%	97%	101%	100%	94%	94%	97%	93%	96%	99%	95%
米粉	白玉粉、上新粉、だんご粉	101%	109%	105%	102%	111%	109%	94%	105%	106%	105%	103%	95%	
米菓	煎餅、あられ、おかき	92%	103%	106%	112%	105%	101%	109%	118%	114%	118%	119%	117%	
清酒		99%	101%	97%	101%	98%	95%	93%	96%	94%	97%	97%	94%	
焼酎乙類		103%	98%	96%	100%	96%	94%	93%	93%	90%	92%	93%	93%	

資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

注1：(株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,000店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。

注2：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

注3：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

注4：POSデータの販売個数は、商品容量にかかわらず販売された商品の個数を単純にカウントしたものであることに留意が必要である。

5 輸出入の動向

1 コメ・コメ加工品の輸出実績

(1) コメ・コメ加工品の輸出実績の推移

2022年のコメ・コメ加工品の輸出額は613億円（対前年比+17%）となった。うちコメの輸出実績は対前年比+24%の74億円、米菓は-2%の55億円、日本酒は+18%の475億円、パックご飯は+33%の8億円、米粉及び米粉製品は+76%の1.0億円。

品目名		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年		(参考) 主な輸出先国・地域
						1~8月	対前年比	
コメ・コメ加工品	数量 (原料米換算)	35,531トン	36,569トン	45,959トン	53,931トン	36,395トン	+6%	中国 アメリカ 香港 台湾 シンガポール
	金額	329億円	347億円	524億円	613億円	367億円	-8%	
コメ (援助米を除く)	数量	17,381トン	19,781トン	22,833トン	28,928トン	22,602トン	+28%	香港 アメリカ シンガポール 台湾 オーストラリア
	金額	46億円	53億円	59億円	74億円	57億円	+28%	
米菓 (あられ・せんべい)	数量	4,033トン	4,222トン	5,141トン	4,523トン	2,886トン	+3%	アメリカ 台湾 香港 韓国 シンガポール
	原料米換算	3,428トン	3,589トン	4,370トン	3,845トン	2,453トン	+3%	
	金額	43億円	45億円	56億円	55億円	37億円	+14%	
日本酒 (清酒)	数量	24,928 キロリットル	21,761 キロリットル	32,052 キロリットル	35,894 キロリットル	19,103 キロリットル	-21%	中国 アメリカ 香港 韓国 台湾
	原料米換算	14,041トン	12,257トン	18,054トン	20,218トン	10,760トン	-21%	
	金額	234億円	241億円	402億円	475億円	266億円	-16%	
パックご飯等	数量	1,018トン	1,205トン	1,129トン	1,384トン	971トン	+5%	アメリカ 台湾 香港 韓国 シンガポール
	原料米換算	535トン	634トン	594トン	727トン	510トン	+5%	
	金額	5億円	7億円	6億円	8億円	6億円	+17%	
米粉及び米粉製品 (米粉麺等)	数量	118トン	249トン	88トン	173トン	57トン	-59%	アメリカ タイ ドイツ 台湾 シンガポール
	原料米換算	146トン	308トン	108トン	213トン	70トン	-59%	
	金額	0.3億円	0.7億円	0.6億円	1.0億円	0.5億円	-36%	
コメ・パックご飯・米粉 及び米粉製品	数量 (原料米換算)	18,062トン	20,723トン	23,535トン	29,868トン	23,182トン	+27%	香港 アメリカ シンガポール 台湾 オーストラリア
	金額	52億円	60億円	66億円	83億円	63億円	+26%	

資料：財務省「貿易統計」（政府による食糧援助を除く。）

注1：米粉は2019年より、米粉麺等は2020年より貿易統計にて輸出実績を集計・公表。

注2：米粉及び米粉製品のうち米粉製品の原料米換算は米粉100%として推計。

(2) 商業用の米の輸出数量及び金額の推移

2023年1～8月の商業用の米の輸出は、輸出数量が22,602トン（対前年同期比+28%）、輸出額が57億円（対前年同期比+28%）と、数量及び金額ともに増加。

	2018年		2019年		2020年		2021年		2022年		2023年 1～8月	
	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
輸出合計	13,794 (+16%)	3,756 (+17%)	17,381 (+26%)	4,620 (+23%)	19,781 (+14%)	5,315 (+15%)	22,833 (+15%)	5,933 (+12%)	28,928 (+27%)	7,382 (+24%)	22,602 (+28%)	5,688 (+28%)
香港	4,690	1,160	5,436	1,372	6,978	1,796	8,938	2,118	9,880	2,344	7,063 (+12%)	1,642 (+13%)
シンガポール	3,161	694	3,879	802	3,696	785	4,972	1,025	5,742	1,201	3,458 (-5%)	707 (-6%)
アメリカ	1,282	404	1,980	543	1,989	565	2,244	625	4,459	1,169	4,014 (+66%)	1,031 (+61%)
台湾	1,173	394	1,262	411	2,004	622	1,907	575	2,532	716	1,823 (+19%)	511 (+18%)
オーストラリア	635	197	770	233	1,074	334	893	283	1,245	390	728 (+4%)	228 (+4%)
中国	524	211	1,007	363	1,002	321	575	219	764	262	345 (-22%)	108 (-25%)
タイ	320	81	578	145	555	145	625	162	1,045	256	802 (+28%)	185 (+20%)
イギリス	422	121	450	131	451	131	332	104	526	162	342 (+1%)	108 (+4%)
カナダ	138	43	158	51	205	62	210	69	382	104	866 (+351%)	216 (+276%)
フランス	78	32	93	40	112	49	173	72	237	93	268 (+99%)	90 (+64%)
ドイツ	92	36	140	52	144	58	185	68	239	81	339 (+116%)	110 (+101%)
マレーシア	221	51	234	59	185	46	146	43	227	64	131 (-17%)	40 (-13%)
ロシア	120	43	174	64	199	72	227	79	151	58	172 (+79%)	64 (+77%)
ベトナム	118	37	213	65	159	46	167	48	219	54	130 (-6%)	32 (-6%)
アラブ首長国連邦	37	17	55	23	58	25	96	45	130	49	225 (+213%)	66 (+128%)
フィンランド	47	11	183	40	188	44	216	57	190	45	105 (-16%)	28 (-7%)
モンゴル	336	56	315	53	347	58	115	25	248	44	104 (-34%)	22 (-22%)
マカオ	65	27	62	26	43	21	118	48	69	33	47 (+42%)	20 (+21%)
フィリピン	17	7	11	4	26	8	59	20	84	33	199 (+249%)	57 (+164%)
オランダ	112	30	102	30	110	40	92	33	93	31	213 (+244%)	57 (+192%)
その他	206	105	279	113	256	89	543	217	466	193	1,228	368
(参考)EU ※	800	253	1,050	326	629	219	757	272	957	317	1,495 (+154%)	437 (+117%)

資料：財務省「貿易統計」（政府による食糧援助を除く。）

注：（ ）内は対前年同期増減率である。

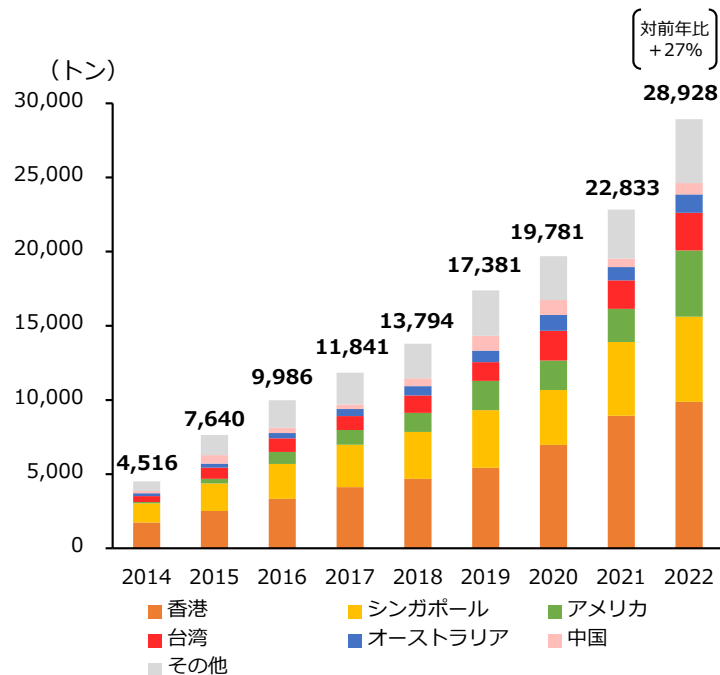
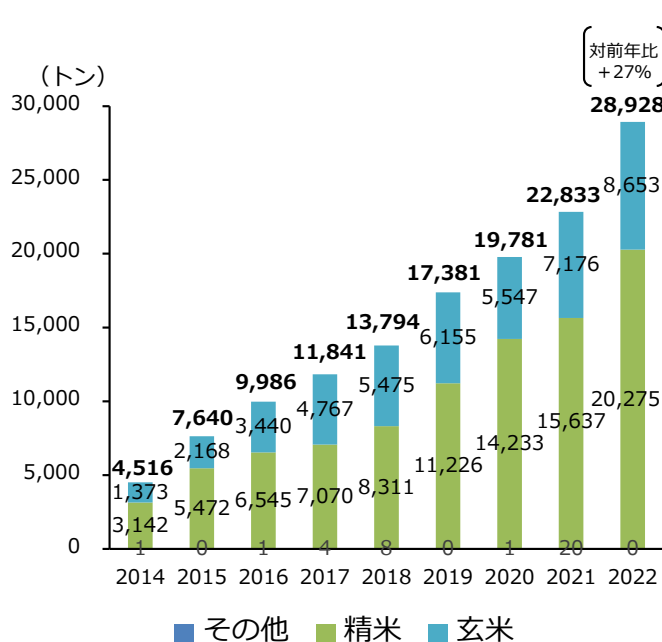
※2020年1月以前はイギリス分が含まれている。

(3) コメの輸出数量の2022年の主な増加要因

- ・ 2022年のコメ（精米・玄米・粳・碎米）の輸出数量は28,928トン（対前年比+27%）、輸出額は74億円（対前年比+24%）に増加。
- ・ 特にアメリカにおいて、干ばつ等によるカリフォルニア産米の価格高騰等により、日本産米のオーダーが増加したことから輸出が増加。

① 商業用の米の玄米・精米別輸出量の推移

② 商業用の米の主な国・地域別輸出量の推移



香港 📈 9,880トン（対前年比+11%） 2,344百万円（対前年比+11%）

- ・ 日本食レストラン等の店舗拡大に伴い、業務用需要が増加したことなどにより輸出が増加した。

シンガポール 📈 5,742トン（対前年比+15%） 1,201百万円（対前年比+17%）

- ・ 日本食レストラン等の店舗拡大に伴い、業務用需要が増加したことなどにより輸出が増加した。

アメリカ 📈 4,459トン（対前年比+99%） 1,169百万円（対前年比+87%）

- ・ 干ばつ等によるカリフォルニア産米の価格高騰等により、日本産米へのオーダーが増加したことから輸出が増加した。

(4) 米菓の輸出数量及び金額の推移

2023年1～8月の米菓の輸出は、輸出数量が2,886トン（対前年同期比+3%）、輸出額が37億円（対前年同期比+14%）と、数量及び金額ともに増加。

	2018年		2019年		2020年		2021年		2022年		2023年 (1～8月)	
	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
輸出合計	4,053 (+5%)	4,425 (+6%)	4,033 (-0%)	4,306 (-3%)	4,222 (+5%)	4,531 (+5%)	5,141 (+22%)	5,637 (+24%)	4,523 (-12%)	5,503 (-2%)	2,886 (+3%)	3,727 (+14%)
アメリカ	1,112	1,134	1,100	1,122	1,134	1,145	1,411	1,459	1,274	1,538	784 (-2%)	965 (+4%)
台湾	830	878	854	894	989	1,057	1,123	1,248	945	1,150	580 (+3%)	717 (+11%)
香港	629	744	603	724	629	749	718	863	548	718	453 (+54%)	629 (+70%)
サウジアラビア	279	176	258	161	335	215	380	252	462	360	160 (-49%)	140 (-41%)
シンガポール	208	268	209	243	227	267	233	281	193	283	99 (-18%)	155 (-7%)
ベトナム	55	112	75	155	90	195	93	210	95	218	52 (-13%)	127 (-10%)
韓国	229	338	119	156	65	77	95	118	141	192	123 (+36%)	178 (+47%)
中国	61	123	87	160	76	139	220	315	112	186	76 (+6%)	140 (+31%)
オーストラリア	121	106	127	111	108	96	135	118	160	132	110 (-2%)	96 (+5%)
タイ	44	60	62	83	80	104	96	121	95	127	63 (+17%)	92 (+27%)
オランダ	81	87	58	61	68	73	93	114	65	94	68 (+46%)	95 (+44%)
マレーシア	25	29	39	41	53	56	89	101	66	76	49 (+25%)	63 (+39%)
カナダ	31	37	35	42	35	41	40	52	38	51	40 (+59%)	61 (+82%)
アラブ首長国連邦	19	28	16	23	9	14	9	13	35	43	9 (-70%)	17 (-51%)
北マリアナ諸島	20	25	19	25	18	25	25	37	19	32	10 (-20%)	18 (-10%)
ブラジル	37	38	40	41	26	27	24	24	28	30	21 (+63%)	24 (+79%)
グアム	19	23	19	24	21	27	22	34	19	30	11 (-1%)	20 (+10%)
フィリピン	23	22	27	27	26	27	33	33	20	26	19 (+102%)	21 (+77%)
ブルガリア	103	31	149	40	102	25	144	33	76	22	60 (+14%)	21 (+36%)
インドネシア	11	14	10	14	15	19	23	31	15	20	10 (+2%)	15 (+18%)
その他	119	152	128	160	117	155	135	179	118	175	88	132
(参考)EU ※	240	189	267	183	209	148	271	199	174	175	149 (+23%)	154 (+32%)

資料：財務省「貿易統計」

注：（ ）内は対前年同期増減率である。

※2020年1月以前はイギリス分が含まれている。

(5) 日本酒（清酒）の輸出数量及び金額の推移

2023年1～8月の日本酒の輸出は、輸出数量が19,103キロリットル（対前年同期比-21%）、輸出額が266億円（対前年同期比-16%）と、数量及び金額ともに減少。

	2018年		2019年		2020年		2021年		2022年		2023年 (1～8月)	
	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円
輸出合計	25,747 (+10%)	22,232 (+19%)	24,928 (-3%)	23,412 (+5%)	21,761 (-13%)	24,141 (+3%)	32,052 (+47%)	40,178 (+66%)	35,894 (+12%)	47,489 (+18%)	19,103 (-21%)	26,647 (-16%)
中国	4,146	3,587	5,145	5,001	4,772	5,792	7,268	10,279	7,388	14,161	4,263 (-10%)	8,314 (-4%)
アメリカ	5,952	6,313	6,452	6,757	5,270	5,070	8,826	9,591	9,084	10,930	4,130 (-39%)	5,680 (-31%)
香港	2,097	3,774	1,926	3,943	2,629	6,178	3,243	9,308	2,717	7,116	1,608 (-13%)	4,154 (-17%)
韓国	5,351	2,212	2,912	1,360	1,535	979	2,418	1,503	4,054	2,523	2,723 (+12%)	1,856 (+22%)
シンガポール	610	837	609	857	688	1,113	919	1,802	917	2,326	466 (-27%)	993 (-38%)
台湾	2,238	1,351	2,246	1,359	2,273	1,430	2,648	1,726	3,076	2,222	1,790 (-9%)	1,643 (+24%)
カナダ	684	529	715	548	549	429	750	676	1,005	1,163	409 (-41%)	442 (-44%)
オーストラリア	502	446	483	439	525	491	747	730	806	932	304 (-40%)	379 (-37%)
ベトナム	462	440	437	376	342	279	328	298	693	706	165 (-47%)	187 (-36%)
マレーシア	283	244	253	242	309	278	334	334	582	626	177 (-51%)	219 (-45%)
イギリス	298	324	352	373	220	215	397	444	484	607	254 (-28%)	353 (-19%)
フランス	274	276	270	285	222	213	438	490	427	524	271 (-15%)	367 (+2%)
タイ	604	300	627	276	498	225	457	212	681	427	391 (-18%)	248 (-10%)
ドイツ	367	203	477	242	402	207	623	318	664	358	346 (-41%)	201 (-29%)
オランダ	223	161	247	142	288	178	460	273	484	341	236 (-28%)	221 (-11%)
マカオ	52	207	39	156	44	179	111	563	93	318	59 (-11%)	223 (-8%)
アラブ首長国連邦	54	59	52	55	41	38	107	175	158	257	23 (-80%)	38 (-79%)
イタリア	312	130	339	129	242	89	391	163	494	198	292 (-23%)	157 (+10%)
インドネシア	65	84	38	46	32	53	54	83	110	181	29 (-39%)	45 (-40%)
ブラジル	207	93	248	119	146	76	272	152	344	178	256 (+19%)	137 (+24%)
その他	965	660	1,059	709	733	629	1,260	1,058	1,631	1,396	913	790
(参考)EU ※	1,809	1,334	2,023	1,421	1,447	915	2,330	1,592	2,712	1,944	1,509 (-26%)	1,258 (-9%)

資料：財務省「貿易統計」
注：()内は対前年同期増減率である。
※2020年1月以前はイギリス分が含まれている。

(6) 包装米飯（パックご飯）等の輸出数量及び金額の推移

2023年1～8月の包装米飯等の輸出は、輸出数量が971トン（対前年同期比+5%）、輸出額が6億円（対前年同期比+17%）と、数量及び金額ともに増加。

	2018年		2019年		2020年		2021年		2022年		2023年 (1～8月)	
	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
輸出合計	923 (+40%)	473 (+38%)	1,018 (+10%)	513 (+8%)	1,205 (+18%)	658 (+28%)	1,129 (-6%)	593 (-10%)	1,384 (+23%)	790 (+33%)	971 (+5%)	595 (+17%)
アメリカ	407	159	442	167	447	169	454	177	545	255	349 (-10%)	175 (+1%)
香港	79	51	130	77	261	170	215	126	312	178	180 (-20%)	108 (-12%)
台湾	58	36	105	56	145	88	123	99	127	115	128 (+58%)	115 (+52%)
韓国	149	72	31	17	20	11	52	25	106	48	70 (+41%)	36 (+59%)
ベトナム	92	73	82	79	66	69	47	36	49	43	18 (-53%)	16 (-53%)
シンガポール	31	24	21	17	43	24	48	26	61	36	54 (+84%)	27 (+75%)
中国	20	14	96	42	68	43	44	27	55	29	9 (-76%)	5 (-73%)
タイ	40	17	63	27	75	34	83	39	57	26	42 (+38%)	19 (+37%)
ミャンマー	—	—	0	0	2	4	—	—	3	9	29 (+4,402%)	23 (+1,295%)
オランダ	5	3	4	3	4	5	1	2	4	7	3 (+100%)	5 (+19%)
フィリピン	1	0	4	4	3	3	2	2	5	7	7 (+160%)	7 (+170%)
インドネシア	4	3	5	4	10	6	12	7	9	6	12 (+74%)	8 (+61%)
カナダ	5	4	6	3	5	2	7	3	10	6	23 (+381%)	19 (+500%)
イギリス	10	4	9	4	10	5	8	4	5	4	7 (+113%)	6 (+171%)
ドイツ	—	—	0	1	0	1	2	3	4	3	1 (-84%)	1 (-65%)
オーストラリア	1	1	3	2	20	9	4	2	5	3	2 (-36%)	2 (-11%)
マレーシア	—	—	1	1	8	5	4	3	5	3	13 (+241%)	6 (+201%)
フランス	3	2	3	2	5	2	7	3	10	2	7 (+6%)	5 (+195%)
カンボジア	1	1	2	1	0	0	1	1	3	2	1 (-58%)	1 (-66%)
マカオ	0	0	3	3	2	2	4	2	2	2	1 (+28%)	1 (+60%)
その他	16	8	7	4	12	7	13	7	5	5	15	12
(参考)EU ※	18	9	17	11	14	9	13	8	21	15	14 (-7%)	15 (+40%)

資料：財務省「貿易統計」（政府による食糧援助を除く。）

注1：包装米飯、その他加工米飯のほか、加熱またはその他の調製をした調製食料品のうち米のものを集計。（2017年1月から単独のコードとして独立。）

注2：（ ）内は対前年同期増減率である。

注3：「—」は貿易統計上、実績が計上されていないことを示す。

注4：数量0.5トン未満の場合は、数量の欄が「0」と表記されている。

注5：金額0.5百万円未満の場合は、金額の欄が「0」と表記されている。

※2020年1月以前はイギリス分が含まれている。

(7) 米粉の輸出数量及び金額の推移

2023年1～8月の米粉の輸出は、輸出数量が40トン（対前年同期比-65%）、輸出額が29.2百万円（対前年同期比-42%）と、数量及び金額ともに減少。

	2019年		2020年		2021年		2022年		2023年 (1～8月)	
	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)
輸出全体	118	32.8	226 (+92%)	48.4 (+48%)	72 (-68%)	36.8 (-24%)	144 (+100%)	67.9 (+85%)	40 (-65%)	29.2 (-42%)
タイ	24	9.5	28	10.6	41	15.9	40	16.6	14 (-46%)	7.4 (-31%)
ドイツ	11	3.4	—	—	6	2.7	42	15.9	14 (-55%)	4.4 (-64%)
アメリカ	68	11.5	184	29.4	0	2.3	34	13.0	0 (-100%)	1.8 (-84%)
台湾	1	2.2	0	1.8	2	4.4	5	8.2	3 (-40%)	5.9 (-16%)
フランス	—	—	0	0.4	0	0.8	1	4.9	0 (-100%)	1.3 (-47%)
シンガポール	1	0.6	0	0.3	0	1.4	2	3.9	4 (注5)	4.5 (+93%)
香港	1	0.8	0	0.3	2	1.1	2	1.7	2 (+0%)	1.2 (-26%)
スウェーデン	—	—	—	—	—	—	8	1.2	— (-100%)	— (-100%)
ロシア	0	0.6	8	3.3	2	1.6	2	1.0	1 (注4)	0.8 (注4)
オランダ	11	3.1	6	2.3	18	6.4	8	0.9	— (-100%)	— (-100%)
アラブ首長国連邦	—	—	—	—	1	0.2	0	0.3	0 (注5)	0.3 (+13%)
カナダ	—	—	—	—	—	—	0	0.2	— (注4)	— (注4)
オーストラリア	—	—	—	—	—	—	0	0.2	— (-100%)	— (-100%)
スペイン	1	0.7	—	—	—	—	—	—	— (注4)	— (注4)
ベトナム	0	0.3	—	—	—	—	—	—	0 (注4)	0.3 (注4)
ナイジェリア	0	—	—	—	—	—	—	—	0 (注4)	0.2 (注4)
マレーシア	0	—	—	—	—	—	—	—	2 (注4)	1.0 (注4)
(参考)EU ※	23	7.2	6	2.7	24	9.9	59	22.9	14 (-71%)	5.8 (-66%)

資料：財務省「貿易統計」

注1：()内は対前年同期増減率である。

注2：「—」は貿易統計上、実績が計上されていないことを示す。

注3：数量1トン未満の場合は、数量の欄が「0」と表記されている。

注4：対前年同期比を記載していないのは、貿易統計上2022年1月～8月の輸出実績が計上されていないため。

注5：対前年同期比を記載していないのは、貿易統計上2022年1月～8月の数量が1トン未満であるため。

※2020年1月以前はイギリス分が含まれている。

(8) 米粉麺等の輸出数量及び金額の推移

2023年1～8月の米粉麺等の輸出は、輸出数量が17トン（対前年同期比-26%）、輸出額が17.4百万円（対前年同期比-21%）と、数量及び金額ともに減少。

	2020年		2021年		2022年		2023年 (1～8月)	
	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)
輸出全体	23.2	24.1	15.8 (-32%)	19.2 (-20%)	28.9 (+83%)	30.3 (+58%)	17.0 (-26%)	17.4 (-21%)
アメリカ	10.6	11.8	5.9	9.1	11.9	14.8	7.6 (-2%)	9.2 (-0%)
ドイツ	—	—	—	—	8.4	5.8	3.8 (-54%)	2.6 (-55%)
イタリア	2.4	2.2	2.7	2.5	3.2	2.9	0.4 (-89%)	0.3 (-89%)
カナダ	0.3	0.3	0.2	0.3	1.0	1.3	0.7 (-11%)	0.8 (-20%)
中国	—	—	0.3	0.6	0.7	1.2	— (注3)	— (注3)
オーストラリア	0.2	0.2	0.3	0.5	0.8	0.9	0.3 (-59%)	0.3 (-61%)
イスラエル	—	—	—	—	0.5	0.7	— (注3)	— (注3)
オランダ	0.8	0.9	2.3	2.3	0.5	0.6	0.3 (-45%)	0.3 (-48%)
香港	5.6	5.3	2.0	2.0	0.7	0.6	1.0 (+47%)	0.6 (-1%)
スペイン	2.1	2.0	1.7	1.5	0.6	0.6	0.4 (-35%)	0.4 (-37%)
ニュージーランド	—	—	—	—	0.2	0.3	— (注3)	— (注3)
台湾	—	—	0.3	0.2	0.2	0.3	— (-100%)	— (-100%)
スイス	—	—	—	—	0.2	0.2	— (-100%)	— (-100%)
タイ	—	—	0.2	0.2	—	—	— (注3)	— (注3)
サウジアラビア	0.7	0.9	—	—	—	—	0.9 (注3)	1.6 (注3)
シンガポール	0.6	0.5	—	—	—	—	0.7 (注3)	0.3 (注3)
ポルトガル	—	—	—	—	—	—	0.4 (注3)	0.5 (注3)
スロベニア	—	—	—	—	—	—	0.6 (注3)	0.6 (注3)

資料：財務省「貿易統計」

注1：()内は対前年同期増減率である。

注2：「—」は貿易統計上、実績が計上されていないことを示す。

注3：対前年同期比を記載していないのは、貿易統計上2022年1月～8月の輸出実績が計上されていないため。

2 コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について

(輸出拡大実行戦略のうちコメ・パックご飯・米粉及び米粉製品の輸出目標等)



1. 国別輸出額目標

国名	2019年実績	2025年目標	国別のニーズ・規制に対応するための課題・方策
合計	52億円	125億円	
香港	15億円	36億円	・大手米卸や輸出事業者が中食・外食を中心に需要を開拓しており、今後もレストランチェーンやおにぎり店等をメインターゲットとした需要開拓を図る
アメリカ	7億円	30億円	・大手米卸や輸出事業者が日系小売店需要を開拓。今後は日本食レストラン等やEC等の小売需要を開拓。またパックご飯や米粉の最大の輸出先国であり、更なる市場開拓を図る
中国	4億円	19億円	・大手米卸等がECやギフトボックス等の贈答用を中心に需要を伸ばしており、更なる開拓を図る ・コスト縮減のためには指定精米工場等の活用に加えて工場等の追加や輸入規制の緩和が不可欠
シンガポール	8億円	16億円	・輸出事業者やJA系統等が中食・外食を中心に需要を開拓。更にレストランチェーンやおにぎり店等をメインターゲットとした需要開拓を図る
その他	18億円	22億円	・UAEや欧州等のコメを主食としない地域では、寿司等の日本食需要拡大に合わせて日本産米の需要開拓を図る ・EUを中心に拡大するグルテンフリー需要の取り込みを通じた米粉・米粉製品の需要開拓を図る

2. 輸出産地の育成・展開

<輸出産地数>

- ・ 30~40産地（先進的なJA等をモデル産地として、千トン超の輸出用米の生産に取り組む産地を育成する）

<今後育成すべき国内産地>

- ・ 国際競争力を有するコメの生産と農家手取り収入の確保の両立を図ることで、大口で輸出用米を生産・供給する産地

<生産基盤の強化やロットの拡大、産地間連携の実現に向けた方策>

- ・ 輸出事業者と産地が連携して取り組む、多収米の導入や作期分散等の生産・流通コスト低減の取組の支援により、輸出用米の生産拡大（主食用米からの作付転換）を推進

3. 加工・流通施設の整備

- ・ パックご飯メーカーや米粉・米粉製品メーカーが輸出に取り組んでいるが、輸出先国の規制等への対応が必要になるケースがあることから、当該規制等対応のための取組や輸出向け生産に必要な機械・設備の導入等を支援

4. 品目別団体を中心とした販路開拓

- ・ 現在、（一社）全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会（全米輸）が品目別のプロモーションを実施。プロモーションの財源には、国庫補助金のほか会費収入も一部活用。
- ・ 今後全米輸は、新興市場（輸出事業者の進出が不十分な国・地域あるいは分野。UAE・北欧や、アメリカのEC市場等を想定）でのプロモーション等を通じた市場開拓を予定。実施に際してはJETRO・JFOODOとも連携

3 MA米の輸入数量（輸入先国別及び輸入方式別）

輸入米の入札情報については、農林水産省ホームページの「農産」の分野別分類「米（稲）・麦・大豆」、品目別分類「輸入米麦入札関連資料」で御覧いただけます。

【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/boueki/nyusatu/index.html> 】

（単位：千玄米トン）

	米 国	タイ	中 国	オーストラリア	その他	合 計	うち	
							一般輸入	SBS輸入※
平成7年度	194	107	32	87	5	426	415	11
平成8年度	233	144	40	87	6	511	488	22
平成9年度	290	151	46	95	13	596	537	55
平成10年度	313	152	78	109	29	681	551	120
平成11年度	339	159	86	115	24	724	591	120
平成12年度	356	168	99	120	24	767	632	120
平成13年度	364	146	136	110	11	767	655	100
平成14年度	361	153	112	96	44	767	710	50
平成15年度	355	153	110	90	51	759	647	100
平成16年度	361	185	98	20	103	767	661	94
平成17年度	362	186	84	19	116	767	655	100
平成18年度	358	179	76	52	102	767	654	100
平成19年度	358	243	82	—	13	696	585	100
平成20年度	430	261	72	—	6	769	658	100
平成21年度	358	332	71	—	5	767	655	100
平成22年度	356	345	19	40	6	767	725	37
平成23年度	358	241	56	71	40	767	658	100
平成24年度	362	281	46	64	13	767	656	100
平成25年度	359	351	1	41	15	767	700	61
平成26年度	359	332	55	14	6	767	754	12
平成27年度	359	344	56	1	6	767	734	29
平成28年度	376	375	3	7	7	767	685	73
平成29年度	365	264	56	74	8	767	655	100
平成30年度	359	316	69	14	8	767	701	59
令和元年度	360	306	83	0	17	767	681	77
令和2年度	360	322	70	—	15	767	699	60
令和3年度	345	314	69	27	12	767	743	21
令和4年度	236	398	81	40	11	767	746	14
令和5年度 (9月末現在)	33	66	—	13	0	111	108	3

資料： 農林水産省「米をめぐる関係資料」

※SBS輸入数量の単位は千実トン。

注：1 各年度の輸入契約数量の推移。

2 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しないことがある。

3 千実トンと千玄米トンのため合計は一致しないことがある。

（参考）MA米以外で、枠外税率を支払って輸入されるコメの数量は、毎年0.1～0.2千トン程度

4 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合せ結果（令和5年度）

（単位：実トン）

令和5年度(うるち)		令和4年度(うるち)	
令和5年4～6月分（長期契約）	12,448	令和4年4～6月分（長期契約）	14,233
4月分（月別契約）	310	4月分（月別契約）	244
5月分（月別契約）	384	5月分（月別契約）	743
6月分（月別契約）	560	6月分（月別契約）	375
令和5年4～6月小計	13,702	令和4年4～6月小計	15,595
7～9月分（長期契約）	16,008	7～9月分（長期契約）	16,305
7月分（月別契約）	161	7月分（月別契約）	239
8月分（月別契約）	339	8月分（月別契約）	436
9月分（月別契約）	978	9月分（月別契約）	478
令和5年7～9月小計	17,486	令和4年7～9月小計	17,458
10～12月分（長期契約）		10～12月分（長期契約）	14,136
10月分（月別契約）		10月分（月別契約）	363
11月分（月別契約）		11月分（月別契約）	285
12月分（月別契約）		12月分（月別契約）	381
令和5年10～12月小計		令和4年10～12月小計	15,165
令和6年1～3月分（長期契約）		令和5年1～3月分（長期契約）	17,812
1月分（月別契約）		1月分（月別契約）	271
2月分（月別契約）		2月分（月別契約）	223
3月分（月別契約）		3月分（月別契約）	327
令和6年1～3月小計		令和5年1～3月小計	18,633
令和5年度うるち合計	31,188	令和4年度うるち合計	66,851

令和5年度(もち)		令和4年度(もち)	
令和5年4～7月分	2,117	令和4年4～7月分	2,223
8～11月分		8～11月分	2,435
令和5年12～令和6年3月分		令和4年12～令和5年3月分	1,960
令和5年度もち合計	2,117	令和4年度もち合計	6,618

資料：農林水産省「加工原材料用に係る政府所有ミニマム・アクセス米の見積合せ結果の概要について」

5 SBS輸入米の見積合せ結果（令和5年度）

（単位：実トン）

		アメリカ		タイ		中国		オーストラリア		その他		合計
		うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	
第1回 (令和5年9月29日)	一般米	280		696						102		1,078
	砕精米	2,400										2,400
	計	2,680		696						102		3,478
令和5年度計	一般米	280	0	696	0	0	0	0	0	102	0	1,078
	砕精米	2,400	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,400
	計	2,680	0	696	0	0	0	0	0	102	0	3,478
令和4年度計 (参考)	一般米	54	1,116	4,111	184	0	0	0	0	3,793	0	9,258
	砕精米	908	300	1,360	316	200	0	0	0	1,400	0	4,484
	計	962	1,416	5,471	500	200	0	0	0	5,193	0	13,742
令和3年度計 (参考)	一般米	1,094	2,492	4,132	222	670	0	0	0	5,202	0	13,812
	砕精米	4,534	300	1,700	0	440	0	0	0	600	0	7,574
	計	5,628	2,792	5,832	222	1,110	0	0	0	5,802	0	21,386
令和2年度計 (参考)	一般米	25,727	1,732	4,384	180	1,620	0	0	0	8,678	0	42,321
	砕精米	14,342	300	2,310	0	500	0	0	0	500	0	17,952
	計	40,069	2,032	6,694	180	2,120	0	0	0	9,178	0	60,273
令和元年度計 (参考)	一般米	32,937	2,596	4,435	126	1,540	0	260	0	10,359	0	52,253
	砕精米	19,210	600	2,360	600	520	0	0	0	1,000	0	24,290
	計	52,147	3,196	6,795	726	2,060	0	260	0	11,359	0	76,543
平成30年度計 (参考)	一般米	16,364	2,392	4,624	90	594	0	13,203	0	2,477	0	39,744
	砕精米	14,240	940	1,700	1,200	620	0	0	0	100	0	18,800
	計	30,604	3,332	6,324	1,290	1,214	0	13,203	0	2,577	0	58,544

資料：農林水産省「輸入米に係るSBSの結果の概要」

6 CPTPP・国別枠の見積合せ結果（令和5年度） （単位：実トン）

		オーストラリア	
		うるち	もち
第1回 （令和5年5月23日）	一般米		
	加工品・調製品		
	砕精米		
	計		
第2回 （令和5年7月25日）	一般米	1,120	
	加工品・調製品		
	砕精米		
	計	1,120	
第3回 （令和5年9月26日）	一般米	600	
	加工品・調製品		
	砕精米		
	計	600	
令和5年度計	一般米	1,720	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	1,720	0
令和4年度計 （参考）	一般米	520	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	520	0
令和3年度計 （参考）	一般米	620	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	620	0
令和2年度計 （参考）	一般米	595	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	595	0
令和元年度計 （参考）	一般米	3,319	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	140	0
	計	3,459	0

資料：農林水産省「輸入米に係るSBSの結果の概要」

6 主食用米以外の情報

1 加工用米及び新規需要米等の生産状況

(1) 加工用米の生産量

(単位:トン)

			合計	(参考)	
	うるち米	もち米		全国流通	地域流通
平成17年産	123,996	4,738	128,734	127,160	1,574
18年産	140,596	7,996	148,592	146,529	2,064
19年産	152,145	10,659	162,804	160,670	2,134
20年産	138,895	10,154	149,048	142,803	6,246
21年産	134,389	6,779	141,168	122,771	18,397
22年産	190,883	21,945	212,829	134,958	77,870
23年産	122,699	31,856	154,555	46,087	108,468
24年産	148,695	32,190	180,885	65,821	115,064
25年産	178,411	29,471	207,882	82,534	125,348
26年産	232,315	34,053	266,368	110,914	155,455
27年産	205,448	47,739	253,186	95,747	160,771
28年産	219,454	58,943	278,397	99,972	178,367
29年産	215,531	63,532	279,063	100,249	183,755
30年産	221,580	52,611	274,191	117,617	165,185
令和元年産	203,740	49,186	252,926	100,798	155,741
2年産	194,452	48,736	243,188	97,543	150,309
3年産	195,333	66,867	262,200	98,608	163,792
4年産	201,345	69,644	270,989	101,576	174,078

資料：農林水産省「加工用米生産量」

注：1 「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」の規定により報告された生産集出荷数量。

注：2 参考の全国流通は、取組主体が全国生産出荷団体であるもの。地域流通は、取組主体が都道府県出荷団体、認定方針作成者及び農業者であるものの合計。

注：3 参考の27年産以降は、認定計画ベースの値。このため、合計（実績値）と一致しない。

注：4 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

(2) 新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移

(単位:トン、ha)

	新規需要米 合計		米粉用米		飼料用米		WCS用稲 (稲発酵飼料用稲)	新市場開拓用米 (輸出用米等)		酒造用米		バイオエタノール 用米		その他 (わら専用稲・ 青刈り用稲)	
	面積	生産量	面積	生産量	面積	生産量	面積	面積	生産量	面積	生産量	面積	生産量	面積	生産量
20年産	12,314	12,386	108	566	1,410	8,020	9,089	74	391	-	-	303	2,426	1,330	982
21年産	18,142	40,654	2,401	13,041	4,123	23,264	10,203	164	926	-	-	295	2,314	956	1,108
22年産	37,072	97,632	4,957	24,639	14,883	68,011	15,939	388	1,959	-	-	397	2,488	508	535
23年産	65,569	202,572	7,324	36,842	33,955	160,900	23,086	287	1,514	-	-	415	2,553	501	763
24年産	68,091	205,150	6,437	32,617	34,525	166,537	25,672	454	2,423	-	-	450	2,783	553	790
25年産	53,744	134,865	3,965	20,444	21,802	108,576	26,600	507	2,665	-	-	414	2,566	457	614
26年産	71,073	218,712	3,401	18,352	33,881	186,564	30,929	1,092	6,003	859	4,255	384	2,458	527	1,080
27年産	125,454	478,562	4,245	22,975	79,766	440,066	38,226	1,547	8,289	1,387	6,857	-	-	283	375
28年産	139,028	540,344	3,428	19,014	91,169	505,998	41,366	1,437	7,903	1,420	7,027	-	-	207	402
29年産	142,738	542,308	5,307	28,408	91,510	499,499	42,893	1,328	7,159	1,448	7,213	-	-	252	30
30年産	131,048	473,359	5,295	27,695	79,535	426,521	42,545	3,578	19,143	-	-	-	-	96	-
元年産	124,498	439,544	5,318	27,964	72,499	389,264	42,453	4,115	22,316	-	-	-	-	114	-
2年産	126,205	446,901	6,346	33,391	70,883	380,502	42,791	6,089	33,008	-	-	-	-	96	-
3年産	174,497	741,209	7,632	41,615	115,744	662,724	44,248	6,748	36,869	-	-	-	-	124	-
4年産	206,203	889,073	8,403	45,903	142,055	803,390	48,404	7,248	39,780	-	-	-	-	92	-

資料：農林水産省「新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移（平成20年産～令和4年産）」

注1：平成20・21年産の生産量は取組計画認定ベース。

注2：「WCS用稲」及び「その他」のうち、わら専用、青刈り用稲については子実を採らない用途であるため生産量を取りまとめていない。

注3：「酒造用米」は、「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」（以下「要領」）に基づき生産数量目標の枠外で生産された玄米であり、平成30年産以降は取りまとめていない。

注4：平成30年産以降の「バイオエタノール用米」は、要領の改正により「新市場開拓用米」に含まれている。

注5：「-」は、事実がない又は認定及び取りまとめを行っていないことを表す。また、ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

(3) 令和4年産 都道府県別の生産状況

(単位:トン)

産地	加工用米			新規需要米				政府備蓄米	合計
	うるち米	もち米		飼料用米	新市場開拓用米	米粉用米			
全国	270,989	201,345	69,644	889,073	803,390	39,780	45,903	207,000	1,367,061
北海道	37,424	25,679	11,745	55,680	47,476	7,657	547	2,162	95,266
青森	5,834	5,453	381	59,548	57,757	1,749	42	27,259	92,641
岩手	7,477	6,108	1,369	34,563	32,287	1,871	405	3,488	45,528
宮城	3,589	2,600	990	62,761	57,842	4,079	839	11,600	77,950
秋田	48,972	27,688	21,284	35,205	30,478	2,158	2,569	21,572	105,749
山形	28,049	24,907	3,142	35,506	32,586	2,203	716	21,291	84,845
福島	2,170	1,697	473	72,657	72,117	476	65	27,050	101,877
茨城	5,223	4,870	353	87,321	84,587	2,402	333	1,103	93,647
栃木	9,609	9,539	70	96,697	88,432	230	8,035	7,602	113,908
群馬	7,249	7,249		9,989	8,155	1	1,834	555	17,793
埼玉	836	833	3	24,139	19,530	214	4,395	463	25,438
千葉	8,029	3,306	4,723	62,681	61,887	68	726	3,985	74,695
東京									
神奈川				55	55				55
新潟	42,311	25,063	17,248	46,698	25,765	8,202	12,731	25,149	114,158
富山	6,200	4,830	1,370	15,442	12,053	2,032	1,356	12,197	33,839
石川	2,363	1,752	611	11,850	9,448	226	2,176	7,849	22,062
福井	1,423	1,004	419	13,216	11,413	757	1,046	4,076	18,715
山梨	359	359		255	106		149		614
長野	3,778	3,524	254	4,552	3,313	1,085	154	1,446	9,776
岐阜	2,330	2,325	5	18,709	18,345	90	275	435	21,474
静岡	415	415		6,186	6,157	4	25	20	6,621
愛知	1,599	1,425	174	12,892	12,446	184	262	846	15,337
三重	844	787	57	12,291	11,800	169	322	270	13,405
滋賀	3,520	3,106	413	12,545	11,201	1,046	299	1,342	17,406
京都	2,917	2,906	11	810	664	107	39		3,727
大阪	1	1		57	32		25		58
兵庫	3,553	3,299	254	4,972	3,868	943	161		8,525
奈良	61	60	0	563	331		232		624
和歌山				18	15		4		18
鳥取	114	114		4,383	4,278	102	3	400	4,897
島根	1,541	1,442	100	4,363	4,323	12	28	130	6,034
岡山	1,635	1,587	48	12,370	10,926	761	682	977	14,981
広島	1,852	1,785	67	3,638	2,793	134	711	20	5,510
山口	4,789	4,734	55	6,150	5,648	289	213		10,939
徳島	97	95	2	5,009	4,766	190	53	1,182	6,289
香川	221	221		832	767	26	39		1,053
愛媛	164	164		1,709	1,680		30		1,874
高知	385	385		4,337	4,215	22	100	10	4,732
福岡	1,104	786	318	14,253	12,384	44	1,825	71	15,428
佐賀	2,147	218	1,929	4,697	4,495	25	177	220	7,064
長崎	32	32		612	573	16	23		644
熊本	3,501	1,913	1,588	11,365	9,194	100	2,070	247	15,113
大分	556	556		9,780	9,699		81	94	10,430
宮崎	9,829	9,829		3,465	3,314	101	51		13,294
鹿児島	6,790	6,601	189	4,252	4,189	6	57		11,042
沖縄	95	95		0	0		0		95

資料： 農林水産省「加工用米生産量（年産別、都道府県別）」、「令和4年産新規需要米生産集出荷数量」、「令和4年産備蓄米の政府買入入札の結果」

注：1 政府備蓄米の合計は、買入対象米穀の産地の指定無し分21,889トンを含んでいる。

注：2 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

(4) 加工用米及び新規需要米における多収性品種

① 需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領に定める品種

品種名
いわいだわら、えみゆたか、オオナリ、きたげんき、北瑞穂、クサホナミ、たちじょうぶ、ふくのこ、ふくひびき、べこあおば、べこごのみ、北陸193号、ホシアオバ、ミズホチカラ、みなちから、モグモグあおば、もちだわら、モミロマン、夢あおば、笑たわわ、亜細亜のかおり

② 都道府県知事の申請に基づき地方農政局長等が特に認める品種（特認品種）

都道府県	品種名	都道府県	品種名
北海道	そらゆたか	三重県	タチアオバ、あきだわら、やまだわら
青森県	ゆたかまる	滋賀県	吟おうみ
岩手県	つぶゆたか、つぶみのり、たわわっこ	京都府	あきだわら
宮城県	東北211号	兵庫県	あきだわら、兵庫牛若丸
秋田県	秋田63号、たわわっこ	鳥取県	日本晴、コガネヒカリ
山形県	山形22号、山形糯110号	島根県	みほひかり
福島県	たちすがた、アキヒカリ	岡山県	中生新千本、とよめき、やまだわら
茨城県	月の光、あきだわら、ちほみのり	広島県	中生新千本、ハウレイ
栃木県	月の光	山口県	あきだわら
群馬県	月の光	徳島県	あきだわら
埼玉県	むさしの26号	愛媛県	媛育71号
千葉県	アキヒカリ、初星	高知県	とよめき、ちはるか
長野県	ふくおこし	福岡県	ツクシホマレ、夢一献、タチアオバ
静岡県	どんとこい、あきだわら	佐賀県	レイホウ、さがうらら
新潟県	新潟次郎、アキヒカリ、ゆきみのり、亀の蔵、いただき、ゆきみらい	長崎県	夢十色
富山県	やまだわら	熊本県	タチアオバ、越のかおり
石川県	アキヒカリ、とよめき、やまだわら	大分県	タチアオバ
福井県	あきだわら、シャインパール	宮崎県	タチアオバ、み系358、宮崎52号
岐阜県	あきだわら、アキヒカリ	鹿児島県	タチアオバ、ルリアオバ、ミナミユタカ、夢十色、夢はやと、くいつき
愛知県	タチアオバ、もみゆたか		

(5) 新規需要米における米粉用向け専用品種

① 需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領に定める品種

品種名
北瑞穂、ふくのこ、ミズホチカラ、笑たわわ、亜細亜のかおり、ほしのこ、こなだもん、越のかおり、あみちゃんまい

② 都道府県知事の申請に基づき地方農政局長等が特に認める品種（特認品種）

都道府県	品種名
青森県	あおもりっこ

2 米加工品の状況

(1) 主な米加工品の生産状況

(トン、kℓ)

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年 (1~7月)	対前年 同期比
加工米飯	349,424	346,708	373,142	390,170	398,750	404,707	409,034	428,950	259,879	104%
レトルト米飯	30,685	27,856	27,807	28,163	27,474	27,245	27,885	32,435	25,199	133%
無菌包装米飯	136,886	145,326	161,068	170,218	182,797	197,185	206,179	213,376	125,141	100%
冷凍米飯	171,501	163,017	174,025	181,559	178,068	171,307	166,099	174,158	104,699	103%
チルド米飯	4,765	4,916	4,832	4,845	4,520	3,894	3,624	3,245	1,676	88%
缶詰米飯	1,094	543	526	553	526	422	422	451	245	87%
乾燥米飯	4,493	5,050	4,884	4,832	5,365	4,654	4,825	5,285	2,919	94%
米菓	220,350	217,687	222,868	221,481	221,796	219,437	214,587	212,519	122,954	100%
あられ	94,995	92,310	92,200	93,504	92,259	93,506	93,836	93,674	54,023	102%
せんべい	125,355	125,377	130,668	127,977	129,537	125,931	120,751	118,845	68,931	99%
味噌	461,652	476,057	482,045	478,068	481,574	474,700	462,083	468,027	257,261	98%
米みそ	393,554	408,695	413,492	408,093	412,038	404,717	394,187	399,840	219,674	98%
調合みそ	26,308	25,675	26,285	28,483	27,950	28,805	28,687	31,263	17,907	100%
(麦みそ)	18,060	18,574	17,399	16,166	15,555	16,466	15,653	13,275	7,527	99%
(豆みそ)	23,730	23,113	24,869	25,326	26,031	24,712	23,556	23,649	12,153	93%
米穀粉	94,651	92,693	94,860	93,956	91,179	91,076	84,964	92,470	55,276	104%
上新粉	46,260	46,377	47,257	45,643	43,345	40,559	35,918	42,676	24,471	97%
もち粉	11,583	10,755	9,592	9,663	9,406	8,280	8,812	9,683	5,575	101%
白玉粉	4,974	4,992	5,246	4,821	4,742	4,851	4,062	4,068	2,403	112%
寒梅粉	1,468	1,606	1,535	1,534	1,560	1,485	1,492	1,507	885	102%
らくがん粉・みじん粉	1,007	971	945	984	1,120	1,013	993	1,008	426	64%
だんご粉	962	1,543	1,166	1,310	1,159	1,114	1,016	1,042	584	90%
菓子種	2,448	1,756	2,419	2,506	2,508	2,528	2,183	1,885	1,139	99%
新規米粉	25,949	24,693	26,700	27,495	27,339	31,246	30,488	30,601	19,793	117%
包装もち	58,950	63,096	58,653	59,536	60,894	66,181	65,570	67,696	33,085	115%
日本酒	555,063	539,676	532,862	495,052	466,872	418,507	404,299	404,486	201,377	98%
特定名称酒	173,327	177,735	179,491	170,642	164,641	142,121	138,084	145,394	74,221	103%
吟醸酒	25,213	24,499	24,395	23,126	22,240	19,682	19,464	19,736	8,914	96%
純米吟醸酒	37,124	41,960	45,300	45,377	45,491	40,362	41,611	45,582	24,855	107%
純米酒	61,793	65,379	67,060	63,998	61,799	54,729	52,669	55,250	28,560	102%
本醸造酒	49,198	45,897	42,736	38,141	35,111	27,349	24,339	24,826	11,893	102%
一般酒	381,736	361,941	353,371	324,410	302,231	276,386	266,215	259,092	127,156	96%
単式蒸留焼酎	483,216	479,866	471,512	441,824	424,569	411,894	389,556	392,344	204,173	93%
いも焼酎	206,904	208,262	205,336	189,979	182,169	176,801	164,226	165,211	85,133	91%
米焼酎	41,804	40,560	38,549	36,362	34,531	31,507	29,552	29,838	16,623	101%
(麦焼酎)	188,896	186,998	183,903	176,608	171,222	168,352	162,420	163,439	86,698	95%

資料：加工米飯、米菓、味噌、米穀粉及び包装もちは、食品産業動態調査（農林水産省）。日本酒及び単式蒸留焼酎は、日本酒造組合中央会調べ。

注1：日本酒及び単式蒸留焼酎は、課税移出数量。令和5年は概算値。

注2：日本酒の一般酒は、日本酒全体から特定名称酒の数量を差し引いて算出。

(2) 令和2米穀年度における加工原材料用米穀の使用状況（推計）

- 日本酒、米菓、米穀粉などの原料として使用される米穀の令和2米穀年度における使用量は、日本酒の出荷量の減少等により、対前年▲3万トンの約92万トン（推計）。
- 種類別には、うるち米が約72万トン、もち米が約19万トン。制度別には、主食用米、加工用米及び特定米穀などの国産米が約76%。残りの約24%はMA米及び輸入米粉調製品の外国産米。
- 米菓を中心に加工用米の使用量が減少し、特定米穀の使用量が増加。

<うるち米>

（単位：万玄米トン）

制度 用途	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	うるち米計
日本酒用	9 (8)	8		3			21 (8)
米菓用	1	1		6	3	2	13
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	4	6					10
味噌用		1		3	5		10
焼酎用 (泡盛含む)		1		4	2		7
米穀粉用		1	3	1	2	1	9
その他用	1	2		1	1		4
合計	15	20	3	18	13	3	72

<もち米>

（単位：万玄米トン）

制度 用途	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	もち米計
包装もち用	4	3				1	8
米菓用	1	2		1	1	1	6
米穀粉用	1	1				1	3
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	1						1
その他用						1	2
合計	6	5		2	1	4	19

注1： 日本酒用の（ ）書きは、酒造好適米で内数。

2： 加工米飯用は、レトルト米飯用、冷凍米飯用などとして使用される原料米の使用量であり、無菌包装米飯用として使用される原料米約10万トンを含んでいない。

3： 焼酎は単式蒸留しようちゅう（穀類又はいも類、これらの麴等及び水を原料として発酵させたアルコール含有物を単式蒸留機により蒸留したアルコール度数が45度以下のもの（酒税法第3条第10号））であり、泡盛用として使用される原料米を含んでいる。

4： その他用には、玄米茶用、みりん用、朝食シリアル用などがある。

5： 特定米穀とは、水稻収穫量調査で使用するふるい目1.7mmと農家が出荷の際に使用する1.75～1.9mmの間の「ふるい下米」と、1.7mm未満の小さな粒の米（一般的に「くず米」と呼ばれているもの）の総称。

6： ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

【推計根拠】

- 用途別の原料米使用量合計は、加工団体等からの聞き取りのほか、以下のデータにより推計。
日本酒用・・・「清酒の製造状況等について」（国税庁）
焼酎用・・・「課税移出数量」（国税庁）
米菓用、米穀粉用、加工米飯用、味噌用、包装もち用、その他用・・・「食品産業動態調査」（農林水産省）による生産量等
- 制度別の使用状況は、加工団体等からの聞き取りのほか、以下のデータにより推計。
主食用米・・・全国出荷団体等からの聞き取り。
なお、酒造好適米は「酒造好適米の需要量調査」（農林水産省）等に基づく推計
加工用米・・・「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」（農林水産省）に基づく報告
新規需要米（米粉用米）・・・「米粉をめぐる状況について」（農林水産省）による利用量
MA米（SBS含む）・・・「販売実績」（農林水産省）
輸入米粉調製品・・・「貿易統計」（財務省）
特定米穀・・・1で推計した用途別原料米使用量から主食用米、加工用米、新規需要米（米粉用米）、MA米及び輸入米粉調製品を差し引いた数量

(3) 加工原材料用米穀の使用状況（推計）の推移

<うるち米>

(単位: 万玄米トン)

用途	米穀年度	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	うるち米計
日本酒用	28	13 (10)	9		3			25 (10)
	29	12 (10)	9		3			24 (10)
	30	11 (9)	9		4			24 (9)
	元	11 (9)	9		3			23 (9)
	2	9 (8)	8		3			21 (8)
米菓用	28	1	2		6	3	1	12
	29	1	2		4	5	1	13
	30	1	1		5	5	2	13
	元	1	2		5	3	2	13
	2	1	1		6	3	2	13
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	28	5	5					10
	29	5	5					11
	30	5	6					11
	元	4	7					11
	2	4	6					10
味噌用	28		1		6	2		9
	29		1		2	7		10
	30		1		2	7		10
	元		1		3	5		10
	2		1		3	5		10
焼酎用 (泡盛含む)	28		2		4	2		8
	29		2		3	2		8
	30		2		3	2		7
	元		1		4	2		7
	2		1		4	2		7
米穀粉用	28		1	2	1	3	1	8
	29		1	2	1	2	1	8
	30		1	3	1	2	1	8
	元		1	3	1	2	1	9
	2		1	3	1	2	1	9
その他用	28	1	1		2	1		4
	29	1	1		1	1		4
	30	1	2		1	1		4
	元	1	1		1	1		4
	2	1	2		1	1		4
合計	28	20	21	2	21	11	1	77
	29	19	22	2	15	18	2	78
	30	18	21	3	16	16	3	77
	元	16	22	3	18	13	3	76
	2	15	20	3	18	13	3	72

<もち米>

(単位: 万玄米トン)

用途	米穀年度	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	もち米計
包装もち用	28	3	2				2	8
	29	3	3				1	8
	30	2	3				1	7
	元	3	3				1	8
	2	4	3				1	8
米菓用	28	1	2		1	1	1	6
	29	1	2		1	1	1	6
	30	1	2		1	1	1	6
	元	1	2		1	1	1	6
	2	1	2		1	1	1	6
米穀粉用	28	1	1				1	3
	29	1	1				1	3
	30	1	1				1	3
	元	1	1				1	3
	2	1	1				1	3
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	28	1						1
	29	1						1
	30	1						1
	元	1						1
	2	1						1
その他用	28						1	2
	29						1	2
	30						1	2
	元						1	2
	2						1	2
合計	28	6	5		1	2	5	19
	29	6	6		1	2	5	19
	30	6	6		1	1	5	19
	元	6	5		1	2	5	19
	2	6	5		2	1	4	19

- 注1: 日本酒用の()書きは、酒造好適米で内数。
 2: 加工米飯用は、レトルト米飯用、冷凍米飯用などとして使用される原料米の使用量であり、無菌包装米飯用として使用される原料米を含んでいない。
 3: 焼酎は単式蒸留しようちゅう(穀類又はいも類、これらの麴等及び水を原料として発酵させたアルコール含有物を単式蒸留機により蒸留したアルコール度数が45度以下のもの(酒税法第3条第10号))であり、泡盛用として使用される原料米を含んでいる。
 4: その他用には、玄米茶用、みりん用、朝食シリアル用などがある。
 5: 特定米穀とは、水稻収穫量調査で使用するふるい目1.7mmと農家が出荷の際に使用する1.75~1.9mmの間の「ふるい下米」と、1.7mm未満の小さな粒の米(一般的に「くず米」と呼ばれているもの)の総称。
 6: ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

3 酒造好適米の需給状況

(1) 日本酒の出荷状況

- 日本酒の国内出荷量は、ピーク時（昭和48年）には170万klを超えていたが、他のアルコール飲料との競合などにより、近年は50万klを下回る水準まで減少。
- 消費者の志向が量から質へと変化していることから、国内出荷量全体に占める特定名称酒（吟醸酒、純米酒等）の割合は増加傾向で推移。
- 令和2年以降については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により日本酒の国内出荷量が大幅に減少。
- また、輸出については、日本食ブーム等を背景に近年増加傾向で推移。

日本酒の国内出荷量の推移

(千kl)

	平成	15年	20年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和	2年	3年	4年	5年	対前年同期比
	10年									元年				(1~7月)	
日本酒国内出荷量	1,133	871	659	580	566	555	540	533	495	467	419	404	404	201	98%
特定名称酒	291	221	174	164	167	173	178	179	171	165	142	138	145	74	103%
吟醸酒	34	30	20	21	24	25	24	24	23	22	20	19	20	9	96%
純米吟醸酒	25	26	24	29	32	37	42	45	45	45	40	42	46	25	107%
純米酒	62	54	57	58	59	62	65	67	64	62	55	53	55	29	102%
本醸造酒	169	111	73	56	52	49	46	43	38	35	27	24	25	12	102%
一般酒	842	650	485	416	399	382	362	353	324	302	276	266	259	127	96%

資料：日本酒造組合中央会調べ。年は暦年。令和5年は概算値。

注1：日本酒は、一般酒のほか、原料米及び製造方法などの諸条件（原料、精米歩留）により、吟醸酒、純米酒、本醸造酒等に分類され、これらを総称して「特定名称酒」という。一般酒は日本酒国内出荷量から特定名称酒の数量を差し引いて算出。

2：国内出荷量には輸出量は含まれていない。

日本酒の輸出量の推移

(千kl)

	平成	15年	20年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和	2年	3年	4年	5年	対前年同期比
	10年									元年				(1~7月)	
日本酒輸出量	8	8	12	16	16	18	20	23	26	25	22	32	36	17.2	82%
アメリカ合衆国	1	2	4	4	4	5	5	6	6	6	5	9	9	3.7	64%
中華人民共和国	0	0	0	1	1	2	2	3	4	5	5	7	7	3.9	97%
香港	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	1.5	90%
台湾	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	1.6	92%
大韓民国	0	0	2	4	3	3	4	5	5	3	2	2	4	2.6	119%
その他	2	2	3	4	4	5	5	6	6	6	5	8	10	4.0	72%

資料：「貿易統計」（財務省）。年は暦年。

(2) 日本酒原料米の使用状況

- 日本酒の原料米は、一般的に主食用としても流通している品種のほか、醸造用に適した品種である山田錦、五百万石などの「酒造好適米」が使用されている。
- 日本酒原料米の使用量は、近年、製品当たりの米の使用量が多い特定名称酒の出荷が増加していたため、24~25万トン程度で推移していたが、平成30年産以降、特定名称酒も減少に転じたこと等から、令和3年産には約18万トン（対前年比+2%）まで減少。

日本酒原料米の使用状況

(千トン)

	平成	15年産	20年産	25年産	26年産	27年産	28年産	29年産	30年産	令和	2年産	3年産	対前年比 3/2年
	10年産									元年産			
日本酒原料米	405	315	261	243	248	251	241	240	227	206	180	184	102%
酒造好適米	99	75	77	76	90	99	97	94	88	83	70	67	96%
加工用米	86	89	74	95	105	94	93	88	90	85	63	67	106%
その他	220	151	110	72	53	58	51	58	49	38	47	50	106%

資料：農林水産省による推計値。

(3) 酒造好適米の生産量

- 酒造好適米の生産量（農産物検査数量）については、作付面積が増加し、作柄が良かった平成27年産をピークに減少傾向で推移。
- 令和2年産及び令和3年産は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、日本酒の国内出荷量が急減したことから、生産抑制が行われ、生産量についても大幅に減少。

酒造好適米の生産量（農産物検査数量）の推移

(トン)

	平成					令和					対前年産比			
	10年産	15年産	20年産	25年産	26年産	27年産	28年産	29年産	30年産	元年産		2年産	3年産	4年産
酒造好適米	99,448	74,854	76,788	75,813	90,185	108,797	106,618	102,400	95,856	96,454	85,179	74,756	79,791	106.7%
山田錦	24,639	22,853	21,399	23,081	29,812	39,549	37,257	38,431	33,916	34,644	28,342	27,609	27,948	101.2%
五百万石	33,282	23,169	24,186	20,602	22,596	27,078	26,030	20,564	21,203	19,767	17,561	13,612	15,271	112.2%
美山錦	11,304	7,487	7,016	6,426	7,786	7,838	7,513	7,018	6,408	6,475	5,710	3,816	3,742	98.1%
雄町	2,502	1,827	1,780	1,700	2,312	2,886	2,481	2,873	2,723	2,932	1,987	2,289	2,677	116.9%
その他	27,721	19,518	22,407	24,004	27,679	31,446	33,337	33,514	31,607	32,636	31,578	27,429	30,153	109.9%

資料：「農産物検査結果」（農林水産省）

注：令和4年産は、令和5年3月31日現在の速報値を直近3カ年の3月31日現在の農産物検査の進捗率により確定値見合いに推計したもの。

(4) 酒造好適米の需要量

- 酒造好適米の需要量は、令和5年7月に実施した需要量調査の結果により推計したところ、令和5年産が82～83千トン程度、令和6年産が82～84千トン程度と見込まれる。

酒造好適米等の需要量調査結果

(トン)

	令和3年産	4年産		5年産		6年産	
			対3年産比		対3年産比		対3年産比
酒造好適米の需要量調査結果(実数)	57,208	62,826	109.8%	70,672	123.5%	71,277	124.6%
山田錦	23,771	25,500	107.3%	29,647	124.7%	29,776	125.3%
五百万石	10,666	12,030	112.8%	13,346	125.1%	13,316	124.9%
美山錦	3,345	3,450	103.1%	3,996	119.5%	4,093	122.4%
雄町	1,189	1,407	118.3%	1,445	121.5%	1,436	120.7%
その他	18,237	20,439	112.1%	22,238	121.9%	22,657	124.2%
酒造好適米の全体需要量(推計)	66～68千トン	73～74千トン		82～83千トン		82～84千トン	

資料：「令和5年度 酒造好適米等の需要量調査結果」（農林水産省）

注1：「酒造好適米の需要量調査結果(実数)」は、令和5年度酒造好適米等の需要量調査において回答のあった酒造メーカーの需要量の積み上げの実数。

2：「酒造好適米の全体需要量(推計)」は、令和5年度酒造好適米等の需要量調査において回答のあった酒造メーカーの需要量が全体需要量の約85～86%と推計されるため、各年産の需要量を当該割合で除することにより推計。

産地銘柄毎の需要量等の酒造好適米に関する詳細な情報は、以下URLの「日本酒をめぐる状況」及び「酒造好適米等の需要量調査結果等」を参照ください。
URL : https://www.maff.go.jp/j/seisaku_tokatu/kikaku/sake.html

別冊「資料編」では、より詳細な情報をご覧ください。

－ 別冊「資料編」の目次 －

1 米の需給

主食用米等の需給見通し(米の基本指針(令和5年7月31日))

需給-1

2 米の在庫情報

令和3・4年産の産地別民間在庫の推移(うるち米)

在庫-1

Excel

3 米の価格情報

- 1 米の相対取引価格の推移(通年平均価格)(平成20年産～令和3年産)
- 2 スポット価格の状況(株式会社クリスタルライス)
- 3 米の現物市場の状況

価格-1

Excel

価格-4

価格-5

4 米の契約・販売情報

- 1 令和3年産米の産地別契約・販売状況(累計、うるち米)
- 2 政府備蓄米の買入入札の結果(落札実績)(平成23年産～令和5年産)

契約-1

Excel

契約-7

5 支援事業等

- (1) 水田活用の直接支払交付金等
- (2) 国産小麦・大豆供給力強化総合対策
- (3) 畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策)
- (4) 米・畑作物の収入減少影響緩和交付金(ナラシ対策)
- (5) 収入保険
- (6) 主食用米の需給安定の考え方、米穀周年供給・需要拡大支援事業
- (7) コロナ影響緩和特別対策
- (8) コメ海外市場拡大戦略プロジェクト

支援-1

支援-3

支援-4

支援-6

支援-9

支援-11

支援-13

支援-14

6 その他

- (1) 水稻うるち玄米の農産物検査結果
- (2) 国産飼料用米の需要情報
- (3) 麦・大豆の需要情報
 - ① 令和5年産麦の産地別銘柄別入札結果
 - ② 令和4年産大豆の産地品種銘柄別入札結果
- (4) 野菜等の需給情報
- (5) 令和4年産水稻の収穫量
- (6) 年産・都道府県別の主食用米作付面積及び収穫量等の推移

その他-1

その他-2

その他-4

その他-6

その他-11

その他-15

その他-21

農業者と農林水産省をつなぐ
新たなコミュニケーションツール

MAFFアプリ

農業に役立つ情報が直接届く。
現場の情報を直接届ける。







Android



iOS

○米に関する各種情報は「米に関するメールマガジン」でも毎月発信中です。登録方法は下記URLを参照ください。
<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>